

松戸市障害者計画中間評価のための 市民アンケート調査

概 要 版

平成 29 年 3 月

松 戸 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の対象者	1
3 実施期間	1
4 回収結果	1
5 概要版の見方	2
第2章 障害者調査及び障害児調査結果の概要	3
1 回答者の属性	3
2 日常生活の状況について	18
3 障害福祉サービスの利用について	27
4 現在や将来の生活について	36
5 日中の過ごし方（就労）について	39
6 外出について	55
7 地域活動や文化・スポーツ活動、交流などについて	60
8 障害のある人への差別や偏見について	64
9 災害時の対応について	70
10 相談、情報提供や今後望まれる施策などについて	76
第3章 障害者手帳を所持していない方調査結果の概要	83
1 回答者の属性	83
2 障害のある人との交流などについて	84
3 地域での福祉活動について	87

第1章 調査の概要

1 調査の目的

第2次松戸市障害者計画（平成25年度～32年度）の中間年にあたり、計画の達成目標や事業の進捗状況を確認するため、市民の意見やニーズをあらためてうかがい、より実効性のある計画として施策を進めていくための基礎資料とすることを目的とします。

2 調査の対象者

調査の種類	調査対象者	調査方法
1 障害者調査	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している18歳以上80歳未満の障害者1,500人	郵送による配付・回収
2 障害児調査	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している18歳未満の障害児500人	郵送による配付・回収
3 障害者手帳を所持していない方調査	80歳未満の障害者手帳を所持していない方1,000人	郵送による配付・回収

3 実施期間

平成28年11月25日（金）～12月26日（月）

4 回収結果

調査の種類	配付数	回収数	回収率
1 障害者調査	1,500件	915件	61.0%
2 障害児調査	500件	279件	55.8%
3 障害者手帳を所持していない方調査	1,000件	492件	49.2%
合計	3,000件	1,686件	56.2%

5 概要版の見方

- 図表中の「n」は各設問に該当する回答者の総数（人）であり、回答率（%）の母数をあらわしています。
- 回答率は、小数点第2位を四捨五入して掲載しているため、合計が100%にならないことがあります。また、回答者が2つ以上回答することができる質問（複数回答）の場合、その回答率の合計は、100%を超えることがあります。
- クロス集計については、分析の柱となる項目の「無回答」は掲載を省略している場合があります。ただし、「全体」は集計対象の全数を表示しているため、分析の柱となる選択肢の回答者数を合計しても全体の数値とは一致しない場合があります。
- 設問及び選択肢の一部を省略・編集している場合があります。
- 本文中の障害者の区分は、以下のように定義しています。
 - 身体障害者：身体障害者手帳の等級を尋ねる質問「1級～6級」のいずれかに回答し、かつ療育手帳の等級を尋ねる質問及び精神障害者保健福祉手帳の等級を尋ねる質問で、いずれも「持っていない」と回答した人
 - 知的障害者：療育手帳の等級を尋ねる質問で「Aの1～Bの2」のいずれかに回答し、かつ身体障害者手帳の等級を尋ねる質問及び精神障害者保健福祉手帳の等級を尋ねる質問で、いずれも「持っていない」と回答した人
 - 精神障害者：精神障害者保健福祉手帳の等級を尋ねる質問で「1級～3級」のいずれかに回答し、かつ身体障害者手帳の等級を尋ねる質問及び療育手帳の等級を尋ねる質問で、いずれも「持っていない」と回答した人
 - 重複障害者：身体障害者手帳の等級を尋ねる質問で「1級～6級」、療育手帳の等級を尋ねる質問で「Aの1～Bの2」、精神障害者保健福祉手帳の等級を尋ねる質問で「1級～3級」に、2問以上回答した人

第2章 障害者調査及び障害児調査結果の概要

1 回答者の属性

【障害者調査】 【障害児調査】

問 このアンケートにご記入いただく方はどなたですか。

障害者では、「本人」が70.8%で最も高く、次いで「家族」が17.6%となっています。

障害児では、「家族」が82.8%で最も高く、次いで「本人（代筆等を含む）」が13.3%となっています。

図表 1.1 調査票の記入者（障害者）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
本人（代筆等を含む）	648 70.8	436 77.3	24 27.3	95 81.9	78 64.5	15 57.7
家族	161 17.6	67 11.9	53 60.2	13 11.2	22 18.2	6 23.1
その他	13 1.4	3 0.5	3 3.4	2 1.7	3 2.5	2 7.7
無回答	93 10.2	58 10.3	8 9.1	6 5.2	18 14.9	3 11.5

図表 1.2 調査票の記入者（障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
本人（代筆等を含む）	37 13.3	9 14.3	19 12.1	4 33.3	4 10.5	1 11.1
家族	231 82.8	53 84.1	131 83.4	8 66.7	31 81.6	8 88.9
その他	1 0.4	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	10 3.6	1 1.6	6 3.8	0 0.0	3 7.9	0 0.0

【障害者調査】 【障害児調査】

問 あなたの年齢（あなたとは、障害のある方ご自身のことをいいます。）

※平成28年10月17日現在の満年齢

障害者では、全体で「70歳以上」が31.9%で最も高く、次いで「60歳代」が24.8%となっています。また、身体障害者では、「70歳代」が44.0%、知的障害者では「20歳代」が31.8%、精神障害者では「30歳代」が30.2%で、それぞれ最も高くなっています。

障害児では、全体で「7歳以上15歳未満」が46.2%で最も高く、次いで「15歳以上」が30.1%となっています。

図表 2.1 年齢（障害者）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
20歳未満	13 1.4	3 0.5	7 8.0	0 0.0	2 1.7	1 3.8
20歳代	66 7.2	16 2.8	28 31.8	11 9.5	10 8.3	1 3.8
30歳代	79 8.6	15 2.7	19 21.6	35 30.2	9 7.4	1 3.8
40歳代	111 12.1	44 7.8	19 21.6	26 22.4	19 15.7	3 11.5
50歳代	108 11.8	64 11.3	8 9.1	20 17.2	12 9.9	4 15.4
60歳代	227 24.8	166 29.4	3 3.4	18 15.5	35 28.9	5 19.2
70歳以上	292 31.9	248 44.0	2 2.3	4 3.4	31 25.6	7 26.9
無回答	19 2.1	8 1.4	2 2.3	2 1.7	3 2.5	4 15.4

図表 2.2 年齢（障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
1歳未満	2 0.7	2 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
1歳以上2歳未満	2 0.7	1 1.6	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
2歳以上3歳未満	5 1.8	2 3.2	1 0.6	0 0.0	2 5.3	0 0.0
3歳以上7歳未満	56 20.1	18 28.6	26 16.6	2 16.7	4 10.5	6 66.7
7歳以上15歳未満	129 46.2	23 36.5	78 49.7	5 41.7	20 52.6	3 33.3
15歳以上	84 30.1	17 27.0	50 31.8	5 41.7	12 31.6	0 0.0
無回答	1 0.4	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0

【障害者調査】 【障害児調査】

問 あなたの性別

障害者では、全体で「男性」が55.0%、「女性」が42.8%となっています。
 障害児では、全体で「男性」が63.4%、「女性」が35.8%となっています。

図表 3.1 性別（障害者）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
男性	503	300	55	61	73	14
	55.0	53.2	62.5	52.6	60.3	53.8
女性	392	253	31	54	46	8
	42.8	44.9	35.2	46.6	38.0	30.8
無回答	20	11	2	1	2	4
	2.2	2.0	2.3	0.9	1.7	15.4

図表 3.2 性別（障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
男性	177	30	112	9	18	8
	63.4	47.6	71.3	75.0	47.4	88.9
女性	100	33	45	3	18	1
	35.8	52.4	28.7	25.0	47.4	11.1
無回答	2	0	0	0	2	0
	0.7	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0

【障害者調査】 【障害児調査】

問 あなたの身体障害者手帳の等級は、次のどれですか。

障害者について、身体障害者では「1級」が36.2%で最も高く、次いで「4級」が25.4%となっています。重複障害者では、「2級」が38.0%で最も高く、次いで「1級」が29.8%となっています。また、「持っていない」が全体で12.9%となっています。

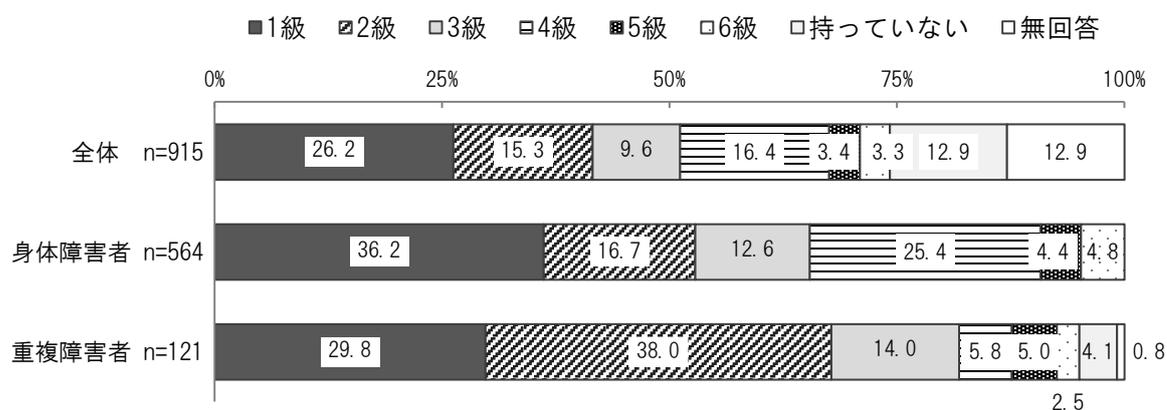
障害児について、身体障害者では「1級」が44.4%で最も高く、次いで「2級」が28.6%となっています。重複障害者では、「1級」が39.5%で最も高く、次いで「2級」が26.3%となっています。また、「持っていない」が全体で48.7%となっています。

図表 4.1 身体障害者手帳（障害者）（総合等級）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	重複障害者
対象者（人）	915	564	121
1級	240 26.2	204 36.2	36 29.8
2級	140 15.3	94 16.7	46 38.0
3級	88 9.6	71 12.6	17 14.0
4級	150 16.4	143 25.4	7 5.8
5級	31 3.4	25 4.4	6 5.0
6級	30 3.3	27 4.8	3 2.5
持っていない	118 12.9	0 0.0	5 4.1
無回答	118 12.9	0 0.0	1 0.8

図表 4.1-1 身体障害者手帳（障害者）（総合等級）

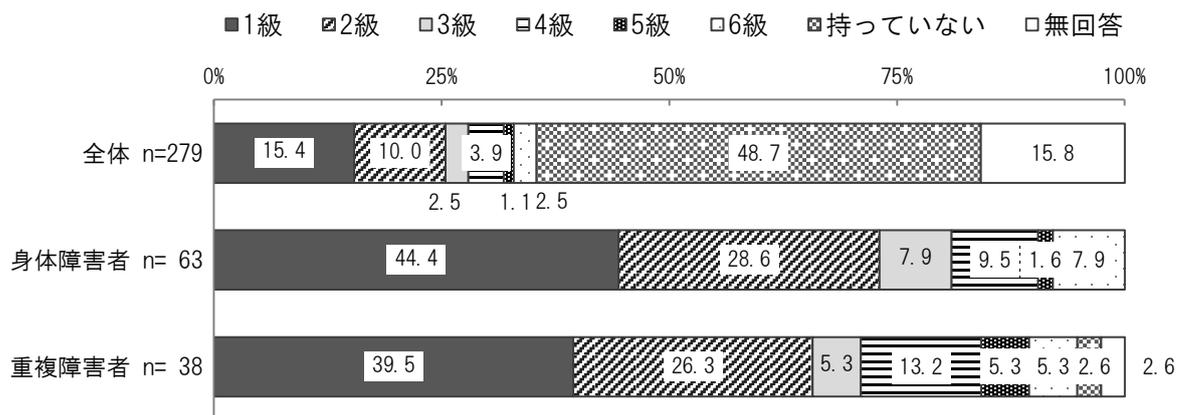


図表 4.2-1 身体障害者手帳（障害児）（総合等級）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	重複障害者
対象者（人）	279	63	38
1級	43 15.4	28 44.4	15 39.5
2級	28 10.0	18 28.6	10 26.3
3級	7 2.5	5 7.9	2 5.3
4級	11 3.9	6 9.5	5 13.2
5級	3 1.1	1 1.6	2 5.3
6級	7 2.5	5 7.9	2 5.3
持っていない	136 48.7	0 0.0	1 2.6
無回答	44 15.8	0 0.0	1 2.6

図表 4.2-2 身体障害者手帳の等級（障害児）（総合等級）



【障害者調査】 【障害児調査】

問 あなたの療育手帳の程度は次のどれですか。

障害者について、知的障害者では、「Bの1」が36.4%で最も高く、次いで「Bの2」が30.7%となっています。重複障害者では、「Aの1」「Bの2」がそれぞれ11.6%で最も高くなっています。また、「持っていない」が全体で40.8%となっています。

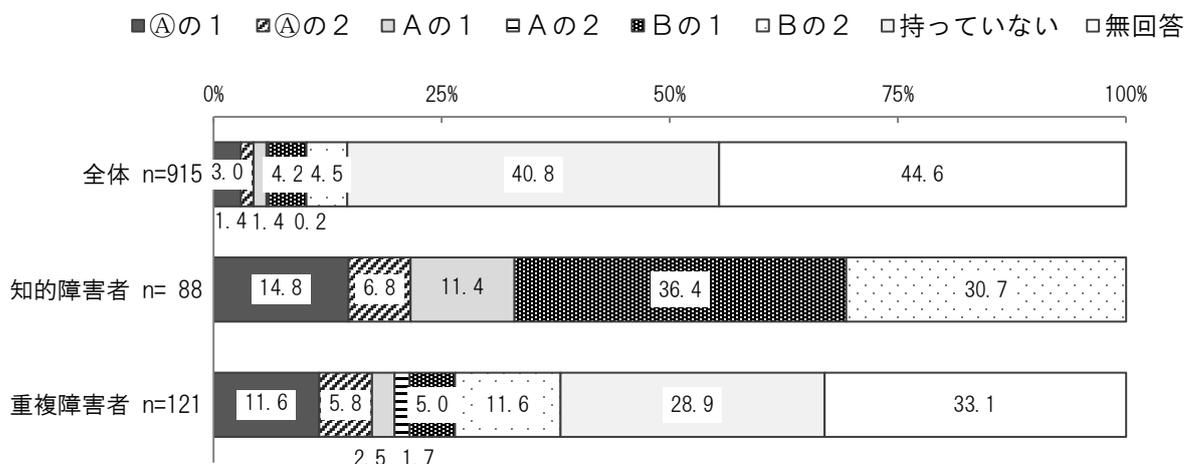
障害児について、療育手帳の等級については、知的障害者では、「Bの2」が56.1%で最も高く、次いで「Bの1」が17.2%となっています。重複障害者では、「A」が47.4%で最も高く、次いで「Bの2」が18.4%となっています。また、「持っていない」が全体で21.5%となっています。

図表 5.1-1 療育手帳の等級（障害者）

上段：人/下段：%

	全体	知的障害者	重複障害者
対象者（人）	915	88	121
①の1	27 3.0	13 14.8	14 11.6
①の2	13 1.4	6 6.8	7 5.8
Aの1	13 1.4	10 11.4	3 2.5
Aの2	2 0.2	0 0.0	2 1.7
Bの1	38 4.2	32 36.4	6 5.0
Bの2	41 4.5	27 30.7	14 11.6
持っていない	373 40.8	0 0.0	35 28.9
無回答	408 44.6	0 0.0	40 33.1

図表 5.1-2 療育手帳の等級（障害者）

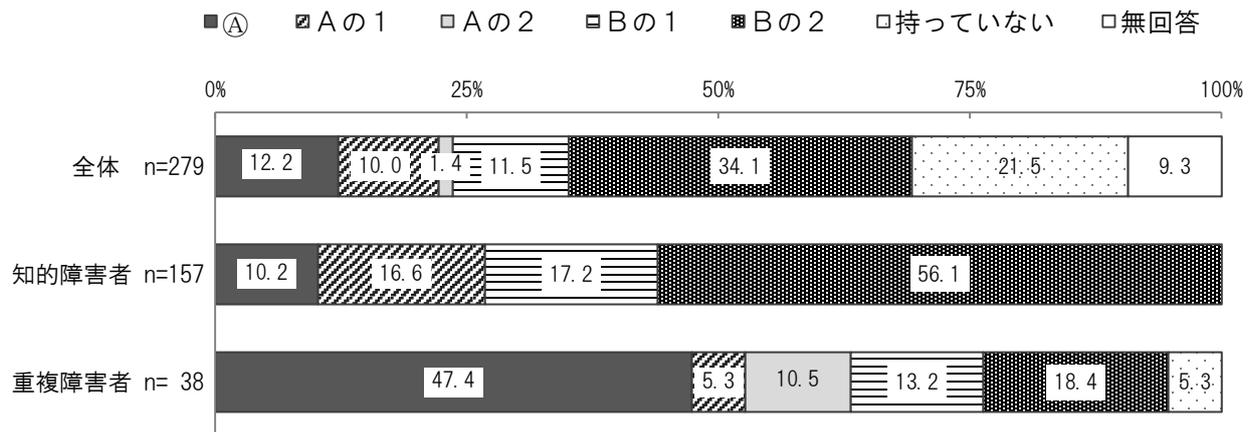


図表 5.2-1 療育手帳の等級（障害児）

上段：人/下段：%

	全体	知的障害者	重複障害者
対象者（人）	279	157	38
①	34 12.2	16 10.2	18 47.4
Aの1	28 10.0	26 16.6	2 5.3
Aの2	4 1.4	0 0.0	4 10.5
Bの1	32 11.5	27 17.2	5 13.2
Bの2	95 34.1	88 56.1	7 18.4
持っていない	60 21.5	0 0.0	2 5.3
無回答	26 9.3	0 0.0	0 0.0

図表 5.2-2 療育手帳の等級（障害児）



【障害者調査】 【障害児調査】

問 あなたの精神障害者保健福祉手帳の等級は、次のどれですか。

障害者について、精神障害者では、「2級」が68.1%で最も高く、次いで「3級」が25.0%となっています。重複障害者では、「2級」が39.7%で最も高く、「1級」が28.1%となっています。また、「持っていない」が全体で36.8%となっています。

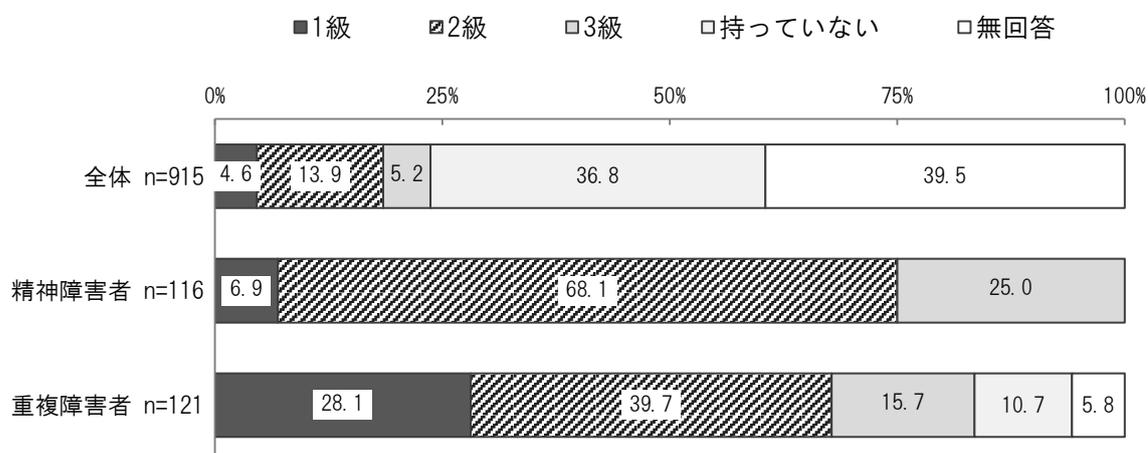
障害児について、精神障害者では、「2級」が66.7%で最も高く、次いで「3級」が25.0%となっています。重複障害者では、「2級」が10.5%で最も高く、次いで「1級」が5.3%となっています。また、「持っていない」が全体で71.3%となっています。

図表 6.1-1 精神障害者保健福祉手帳の等級（障害者）

上段：人/下段：%

	全体	精神障害者	重複障害者
対象者（人）	915	116	121
1級	42 4.6	8 6.9	34 28.1
2級	127 13.9	79 68.1	48 39.7
3級	48 5.2	29 25.0	19 15.7
持っていない	337 36.8	0 0.0	13 10.7
無回答	361 39.5	0 0.0	7 5.8

図表 6.1-2 精神障害者保健福祉手帳の等級（障害者）

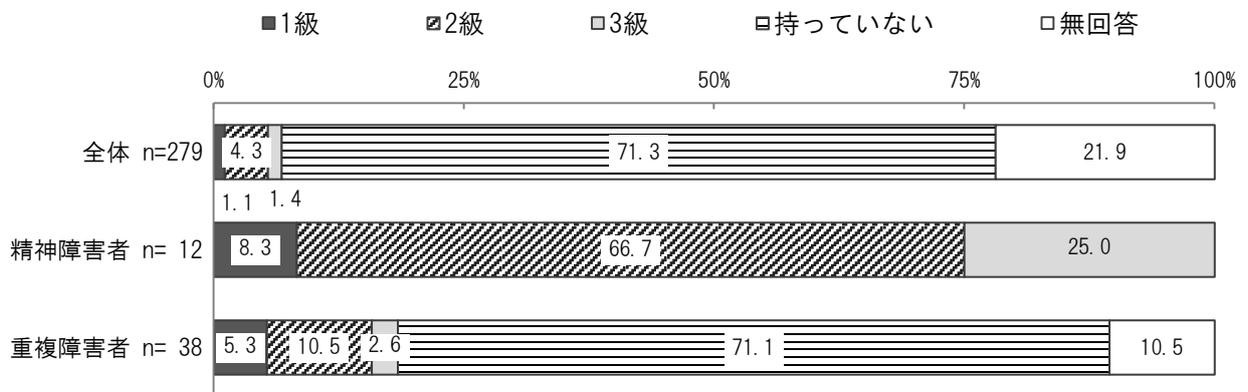


図表 6.2-1 精神障害者保健福祉手帳の等級（障害児）

上段：人/下段：%

	全体	精神障害者	重複障害者
対象者（人）	279	12	38
1級	3	1	2
	1.1	8.3	5.3
2級	12	8	4
	4.3	66.7	10.5
3級	4	3	1
	1.4	25.0	2.6
持っていない	199	0	27
	71.3	0.0	71.1
無回答	61	0	4
	21.9	0.0	10.5

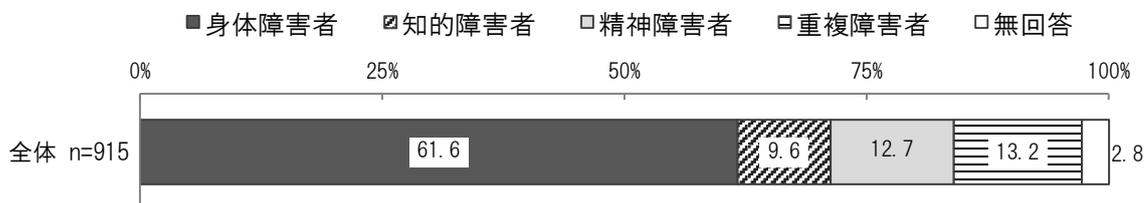
図表 6.2-2 精神障害者保健福祉手帳の等級（障害児）



図表 6.3-1.1 障害者手帳種類別（障害者） 上段：人/下段：%

	全体
対象者（人）	915
身体障害者	564 61.6
知的障害者	88 9.6
精神障害者	116 12.7
重複障害者	121 13.2
無回答	26 2.8

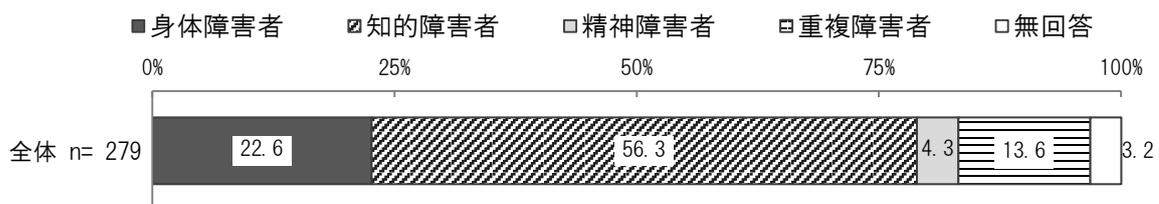
図表 6.3-1.2 障害者の区分（障害者）



図表 6.3-2.1 障害者手帳種類別（障害児） 上段：人/下段：%

	全体
対象者（人）	279
身体障害者	63 22.6
知的障害者	157 56.3
精神障害者	12 4.3
重複障害者	38 13.6
無回答	9 3.2

図表 6.3-2.2 障害者の区分（障害児）



【障害者調査】 【障害児調査】

問 あなたの障害や病気の種類は、次のどれですか。

障害者では、全体で「肢体不自由（上肢、下肢、体幹、運動機能障害）」が37.2%で最も高く、次いで「内部障害（心臓、呼吸器、じん臓、肝臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫など）」が24.5%となっています。また、身体障害者では、「肢体不自由（上肢、下肢、体幹、運動機能障害）」（52.5%）に次いで「内部障害（心臓、呼吸器、じん臓、肝臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫など）」（33.5%）、知的障害者では、「知的障害」（89.8%）に次いで「発達障害（自閉症、学習障害、注意欠陥多動性障害など）」（22.7%）、精神障害者では、「精神障害」（90.5%）に次いで「発達障害（自閉症、学習障害、注意欠陥多動性障害など）」（7.8%）が、それぞれ高くなっています。

障害児では、全体で「知的障害」が61.3%で最も高く、次いで「発達障害（自閉症、学習障害、注意欠陥多動性障害など）」が39.4%となっています。また、身体障害者では、「肢体不自由（上肢、下肢、体幹、運動機能障害）」が54.0%、知的障害者では、「知的障害」が82.8%、「発達障害（自閉症、学習障害、注意欠陥多動性障害など）」が52.2%、精神障害者では「発達障害（自閉症、学習障害、注意欠陥多動性障害など）」が83.3%で、いずれも50%を超えています。

図表 7.1 障害や病気の種類（障害者）（複数回答）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
視覚障害	48 5.2	39 6.9	0 0.0	1 0.9	7 5.8	1 3.8
聴覚・平衡機能障害	46 5.0	35 6.2	0 0.0	1 0.9	10 8.3	0 0.0
音声・言語・そしゃく機能障害	33 3.6	26 4.6	1 1.1	1 0.9	4 3.3	1 3.8
肢体不自由（上肢、下肢、体幹、運動機能障害）	340 37.2	296 52.5	1 1.1	3 2.6	33 27.3	7 26.9
内部障害（心臓、呼吸器、じん臓、肝臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫など）	224 24.5	189 33.5	1 1.1	4 3.4	29 24.0	1 3.8
知的障害	120 13.1	10 1.8	79 89.8	1 0.9	26 21.5	4 15.4
精神障害	166 18.1	14 2.5	2 2.3	105 90.5	42 34.7	3 11.5
発達障害（自閉症、学習障害、注意欠陥多動性障害など）	36 3.9	1 0.2	20 22.7	9 7.8	5 4.1	1 3.8
高次脳機能障害	28 3.1	14 2.5	1 1.1	6 5.2	7 5.8	0 0.0
その他	25 2.7	13 2.3	3 3.4	3 2.6	4 3.3	2 7.7
無回答	38 4.2	22 3.9	1 1.1	0 0.0	5 4.1	10 38.5

図表 7.2 障害や病気の種類（障害児）（複数回答）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
視覚障害	6 2.2	3 4.8	1 0.6	0 0.0	2 5.3	0 0.0
聴覚・平衡機能障害	20 7.2	14 22.2	2 1.3	0 0.0	4 10.5	0 0.0
音声・言語・そしゃく機能障害	7 2.5	2 3.2	2 1.3	0 0.0	2 5.3	1 11.1
肢体不自由（上肢、下肢、体幹、運動機能障害）	59 21.1	34 54.0	1 0.6	0 0.0	23 60.5	1 11.1
内部障害（心臓、呼吸器、じん臓、肝臓、ぼうこう、直腸、小腸、免疫など）	21 7.5	15 23.8	1 0.6	1 8.3	4 10.5	0 0.0
知的障害	171 61.3	6 9.5	130 82.8	1 8.3	30 78.9	4 44.4
精神障害	8 2.9	0 0.0	2 1.3	4 33.3	2 5.3	0 0.0
発達障害（自閉症、学習障害、注意欠陥多動性障害など）	110 39.4	2 3.2	82 52.2	10 83.3	10 26.3	6 66.7
高次脳機能障害	1 0.4	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	12 4.3	3 4.8	5 3.2	1 8.3	3 7.9	0 0.0
無回答	3 1.1	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	2 22.2

【障害者調査】 【障害児調査】

問 あなたに障害があるとわかったのはいつごろですか。

障害者では、全体で「出生前または出生時以外」が74.9%、「出生前または出生時」が4.8%となっています。具体的な年齢については、身体障害者で「60歳代」が25.2%、「50歳代」が21.9%、知的障害者で「3歳以上7歳未満」が49.2%、「7歳以上15歳未満」が19.7%、精神障害者で「20歳代」が36.6%、「15歳以上20歳未満」が20.8%となっています。

障害児では、全体で「出生前または出生時以外」が68.8%、「出生前または出生時」が24.7%となっています。具体的な年齢については、身体障害者で「1歳以上2歳未満」が40.5%、「3歳以上7歳未満」が13.5%、知的障害者で「3歳以上7歳未満」が43.4%、「2歳以上3歳未満」が32.8%、精神障害者で「3歳以上7歳未満」「7歳以上15歳未満」がそれぞれ36.4%、「2歳以上3歳未満」が18.2%となっています。

図表 8.1 障害があるとわかった時期（障害者）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
出生前または出生時	44 4.8	23 4.1	10 11.4	0 0.0	10 8.3	1 3.8
出生前または出生時以外	685 74.9	429 76.1	61 69.3	101 87.1	83 68.6	11 42.3
わからない	94 10.3	45 8.0	14 15.9	13 11.2	19 15.7	3 11.5
無回答	92 10.1	67 11.9	3 3.4	2 1.7	9 7.4	11 42.3

図表 8.2 障害がわかった時期（障害児）

上段：人/下段：%

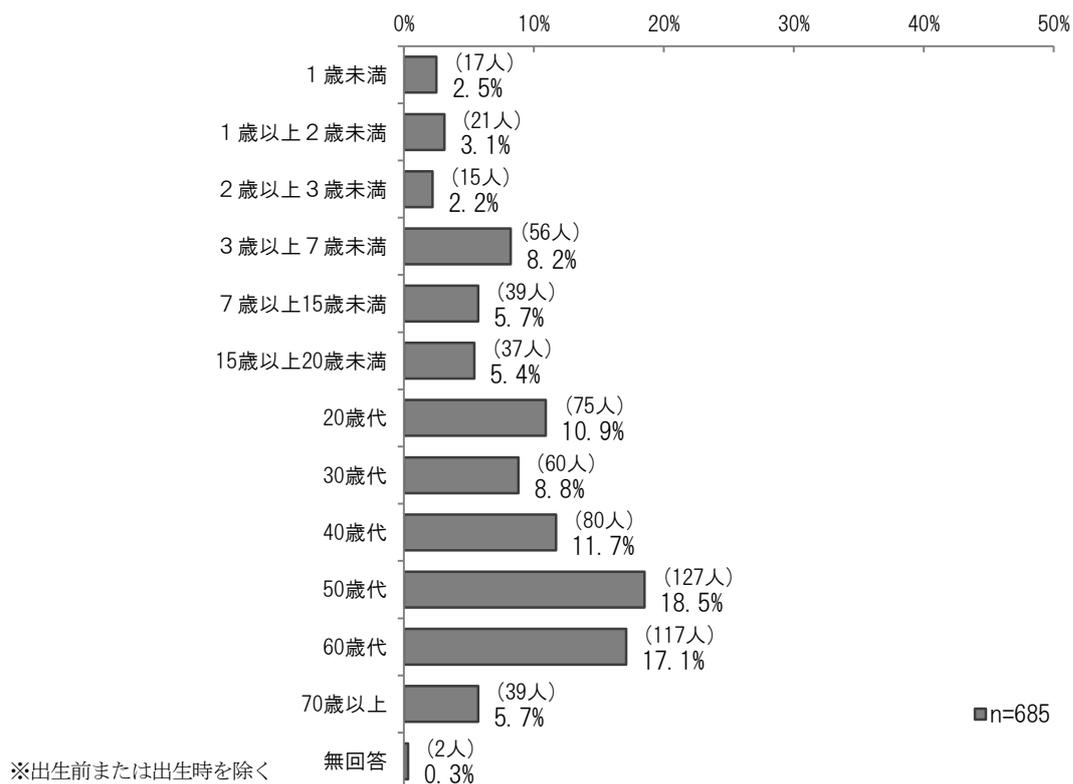
	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
出生前または出生時	69 24.7	25 39.7	25 15.9	1 8.3	16 42.1	2 22.2
出生前または出生時以外	192 68.8	37 58.7	122 77.7	11 91.7	17 44.7	5 55.6
わからない	13 4.7	0 0.0	10 6.4	0 0.0	3 7.9	0 0.0
無回答	5 1.8	1 1.6	0 0.0	0 0.0	2 5.3	2 22.2

図表 8.3-1 障害があるとわかった時期（障害者）（年齢別）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	685	429	61	101	83	11
1歳未満	17 2.5	10 2.3	3 4.9	0 0.0	4 4.8	0 0.0
1歳以上2歳未満	21 3.1	12 2.8	7 11.5	0 0.0	2 2.4	0 0.0
2歳以上3歳未満	15 2.2	6 1.4	6 9.8	0 0.0	3 3.6	0 0.0
3歳以上7歳未満	56 8.2	18 4.2	30 49.2	2 2.0	4 4.8	2 18.2
7歳以上15歳未満	39 5.7	15 3.5	12 19.7	5 5.0	7 8.4	0 0.0
15歳以上20歳未満	37 5.4	10 2.3	1 1.6	21 20.8	4 4.8	1 9.1
20歳代	75 10.9	28 6.5	1 1.6	37 36.6	8 9.6	1 9.1
30歳代	60 8.8	37 8.6	1 1.6	17 16.8	5 6.0	0 0.0
40歳代	80 11.7	61 14.2	0 0.0	9 8.9	9 10.8	1 9.1
50歳代	127 18.5	94 21.9	0 0.0	7 6.9	23 27.7	3 27.3
60歳代	117 17.1	108 25.2	0 0.0	1 1.0	6 7.2	2 18.2
70歳以上	39 5.7	29 6.8	0 0.0	1 1.0	8 9.6	1 9.1
無回答	2 0.3	1 0.2	0 0.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0

図表 8.3-2 障害があるとわかった時期（障害者；全体）（年齢別）



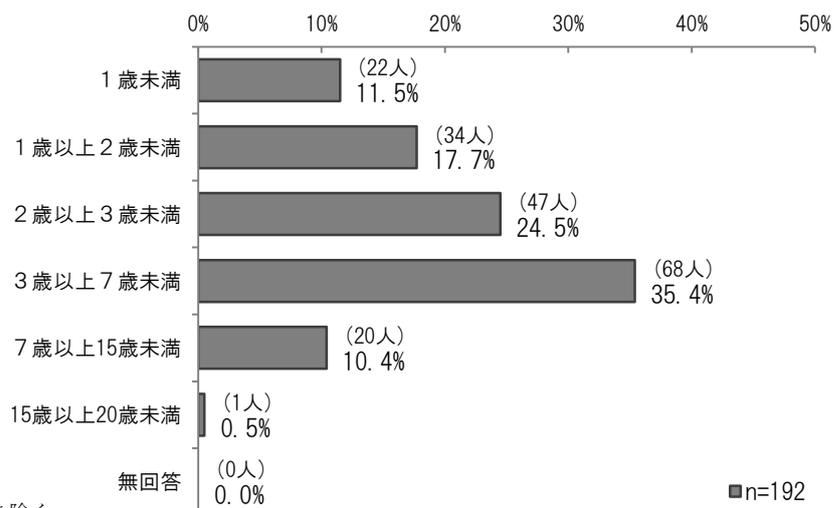
図表 8.4-1 障害があるとわかった時期（障害児）（年齢別）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	192	37	122	11	17	5
1歳未満	22 11.5	13 35.1	1 0.8	1 9.1	7 41.2	0 0.0
1歳以上2歳未満	34 17.7	15 40.5	14 11.5	0 0.0	5 29.4	0 0.0
2歳以上3歳未満	47 24.5	2 5.4	40 32.8	2 18.2	2 11.8	1 20.0
3歳以上7歳未満	68 35.4	5 13.5	53 43.4	4 36.4	2 11.8	4 80.0
7歳以上15歳未満	20 10.4	2 5.4	13 10.7	4 36.4	1 5.9	0 0.0
15歳以上20歳未満	1 0.5	0 0.0	1 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※出生前または出生時を除く

図表 8.4-2 障害があるとわかった時期（障害児；全体）（年齢別）



※出生前または出生時を除く

2 日常生活の状況について

【障害者調査】 【障害児調査】

問 ふだん主にあなたの介助（手助け）をしている方はどなたですか。介助時間の長い方から順に、2人まで選んでください。

①介助時間が最も長い介助者

障害者については、全体で「配偶者（妻・夫）」が32.6%で最も高く、次に「母」が26.1%となっています。また、知的障害者では、「母」が76.9%で最も高く、精神障害者では、「母」（33.8%）と「配偶者（妻・夫）」（31.0%）がほぼ同じ割合となっています。

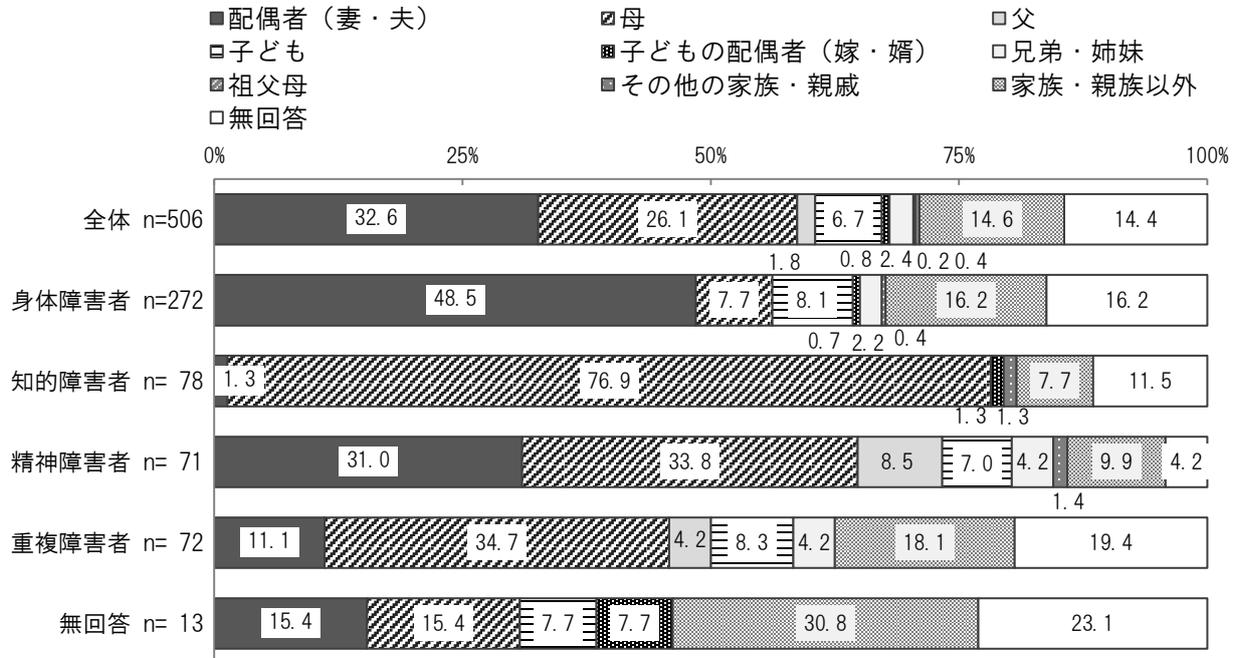
障害児については、全体で「母」が86.3%で最も高く、次いで「祖父母」が2.3%となっています。

図表 9.1-1 介助時間が最も長い介助者（障害者）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	506	272	78	71	72	13
1. 配偶者（妻・夫）	165 32.6	132 48.5	1 1.3	22 31.0	8 11.1	2 15.4
2. 母	132 26.1	21 7.7	60 76.9	24 33.8	25 34.7	2 15.4
3. 父	9 1.8	0 0.0	0 0.0	6 8.5	3 4.2	0 0.0
4. 子ども	34 6.7	22 8.1	0 0.0	5 7.0	6 8.3	1 7.7
5. 子どもの配偶者 （嫁・婿）	4 0.8	2 0.7	1 1.3	0 0.0	0 0.0	1 7.7
6. 兄弟・姉妹	12 2.4	6 2.2	0 0.0	3 4.2	3 4.2	0 0.0
7. 祖父母	1 0.2	1 0.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
8. その他の家族・ 親戚	2 0.4	0 0.0	1 1.3	1 1.4	0 0.0	0 0.0
9. 家族・親戚以外	74 14.6	44 16.2	6 7.7	7 9.9	13 18.1	4 30.8
無回答	73 14.4	44 16.2	9 11.5	3 4.2	14 19.4	3 23.1

図表 9.1-2 介助時間が最も長い介助者（障害者）

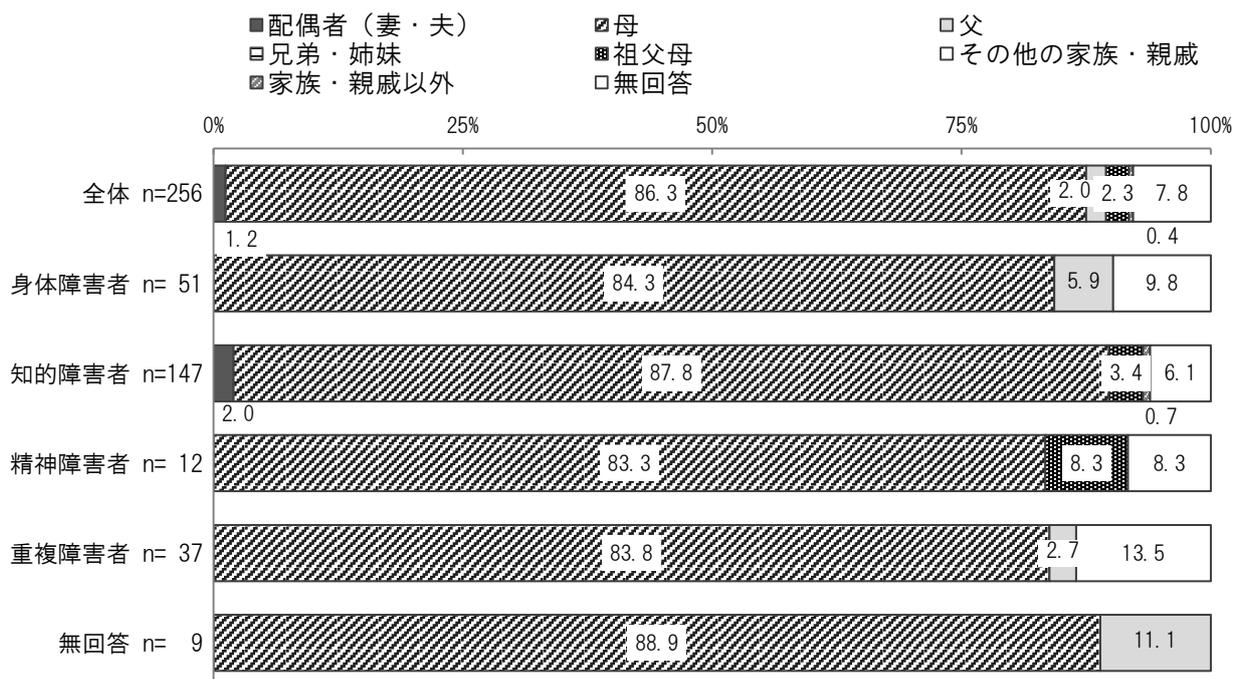


図表 9.2-1 介助時間が最も長い介助者（障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	256	51	147	12	37	9
1. 配偶者（妻・夫）	3 1.2	0 0.0	3 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
2. 母	221 86.3	43 84.3	129 87.8	10 83.3	31 83.8	8 88.9
3. 父	5 2.0	3 5.9	0 0.0	0 0.0	1 2.7	1 11.1
4. 兄弟・姉妹	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
5. 祖父母	6 2.3	0 0.0	5 3.4	1 8.3	0 0.0	0 0.0
6. その他の家族・ 親戚	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
7. 家族・親戚以外	1 0.4	0 0.0	1 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	20 7.8	5 9.8	9 6.1	1 8.3	5 13.5	0 0.0

図表 9.2-2 介助時間が最も長い介助者（障害児）



② 介助時間が2番目に長い介助者

障害者については、全体で「子ども」が13.8%で最も高く、次いで「父」が13.0%となっています。また、知的障害者については「父」が39.7%、精神障害者については「家族・親戚以外」が18.3%となっています。

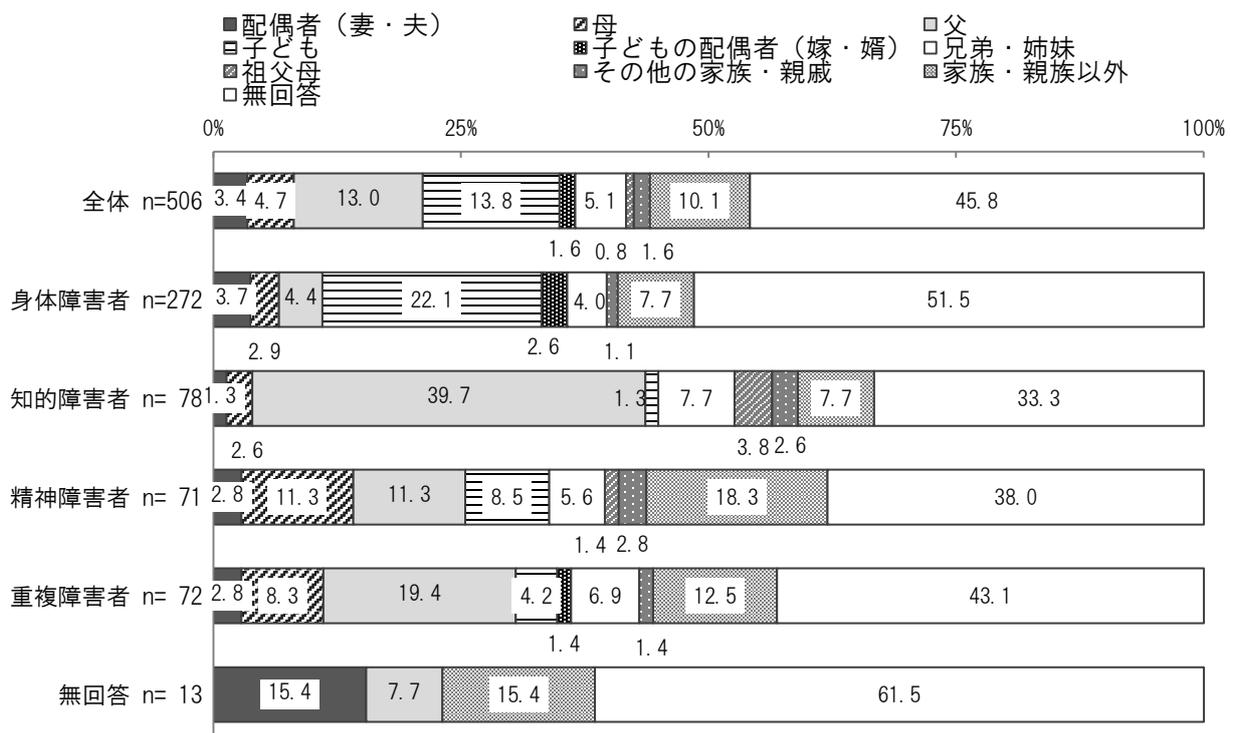
障害児については、全体で「父」が56.3%で最も高く、次いで「祖父母」が9.8%となっています。

図表 9.3-1 介助時間が2番目に長い介助者（障害者）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	506	272	78	71	72	13
1. 配偶者（妻・夫）	17 3.4	10 3.7	1 1.3	2 2.8	2 2.8	2 15.4
2. 母	24 4.7	8 2.9	2 2.6	8 11.3	6 8.3	0 0.0
3. 父	66 13.0	12 4.4	31 39.7	8 11.3	14 19.4	1 7.7
4. 子ども	70 13.8	60 22.1	1 1.3	6 8.5	3 4.2	0 0.0
5. 子どもの配偶者（嫁・婿）	8 1.6	7 2.6	0 0.0	0 0.0	1 1.4	0 0.0
6. 兄弟・姉妹	26 5.1	11 4.0	6 7.7	4 5.6	5 6.9	0 0.0
7. 祖父母	4 0.8	0 0.0	3 3.8	1 1.4	0 0.0	0 0.0
8. その他の家族・親戚	8 1.6	3 1.1	2 2.6	2 2.8	1 1.4	0 0.0
9. 家族・親戚以外	51 10.1	21 7.7	6 7.7	13 18.3	9 12.5	2 15.4
無回答	232 45.8	140 51.5	26 33.3	27 38.0	31 43.1	8 61.5

図表 9.3-2 介助時間が2番目に長い介助者（障害者）

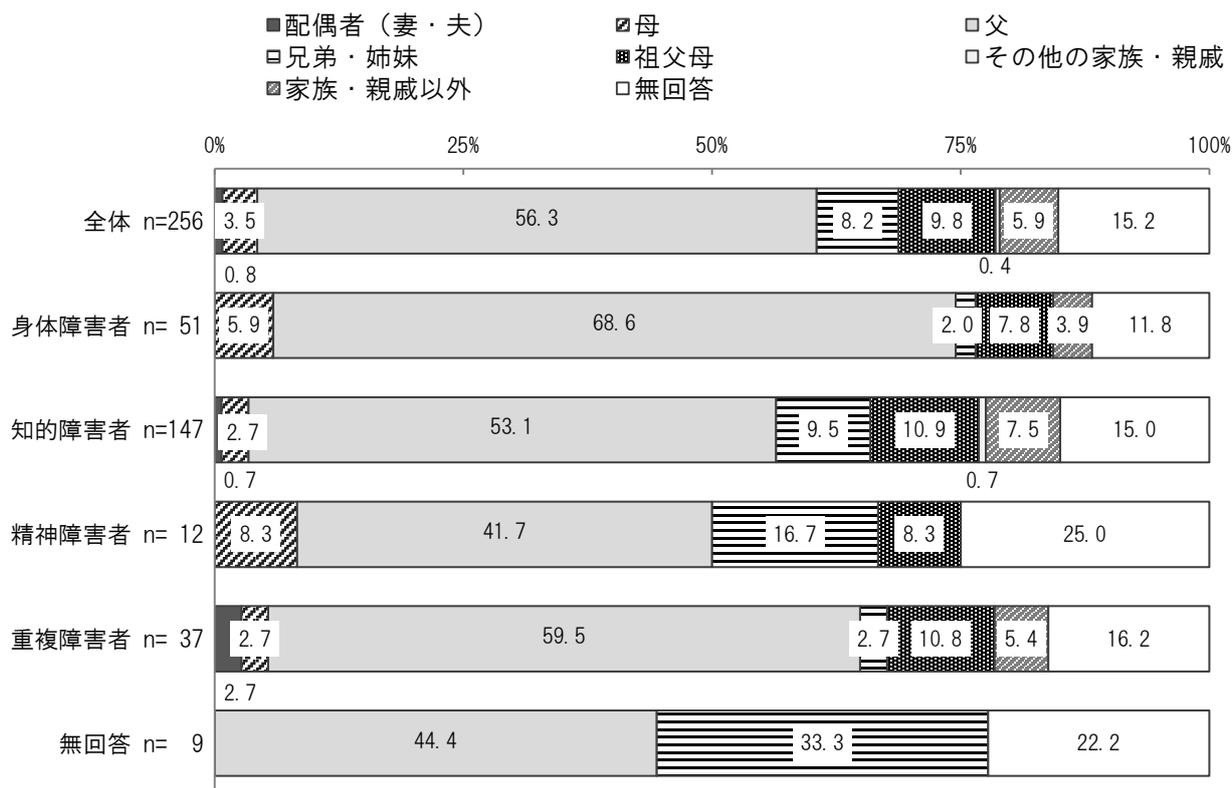


図表 9.4-1 介助時間が2番目に長い介助者（障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	256	51	147	12	37	9
1. 配偶者（妻・夫）	2 0.8	0 0.0	1 0.7	0 0.0	1 2.7	0 0.0
2. 母	9 3.5	3 5.9	4 2.7	1 8.3	1 2.7	0 0.0
3. 父	144 56.3	35 68.6	78 53.1	5 41.7	22 59.5	4 44.4
4. 兄弟・姉妹	21 8.2	1 2.0	14 9.5	2 16.7	1 2.7	3 33.3
5. 祖父母	25 9.8	4 7.8	16 10.9	1 8.3	4 10.8	0 0.0
6. その他の家族・ 親戚	1 0.4	0 0.0	1 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
7. 家族・親戚以外	15 5.9	2 3.9	11 7.5	0 0.0	2 5.4	0 0.0
無回答	39 15.2	6 11.8	22 15.0	3 25.0	6 16.2	2 22.2

図表 9.4-2 介助時間が2番目に長い介助者（障害児）



【障害者調査】 【障害児調査】

問 ヘルパーなど介助を受けるうえで、困難や苦労があるのはどのようなことですか。

障害者では、全体で「特に問題ない」が32.0%で最も高く、次いで「介助してもらうことに気をつかう」が22.2%、「経済的な負担が大きい」が20.8%、「やってもらえることに制限がある」が13.0%となっています。

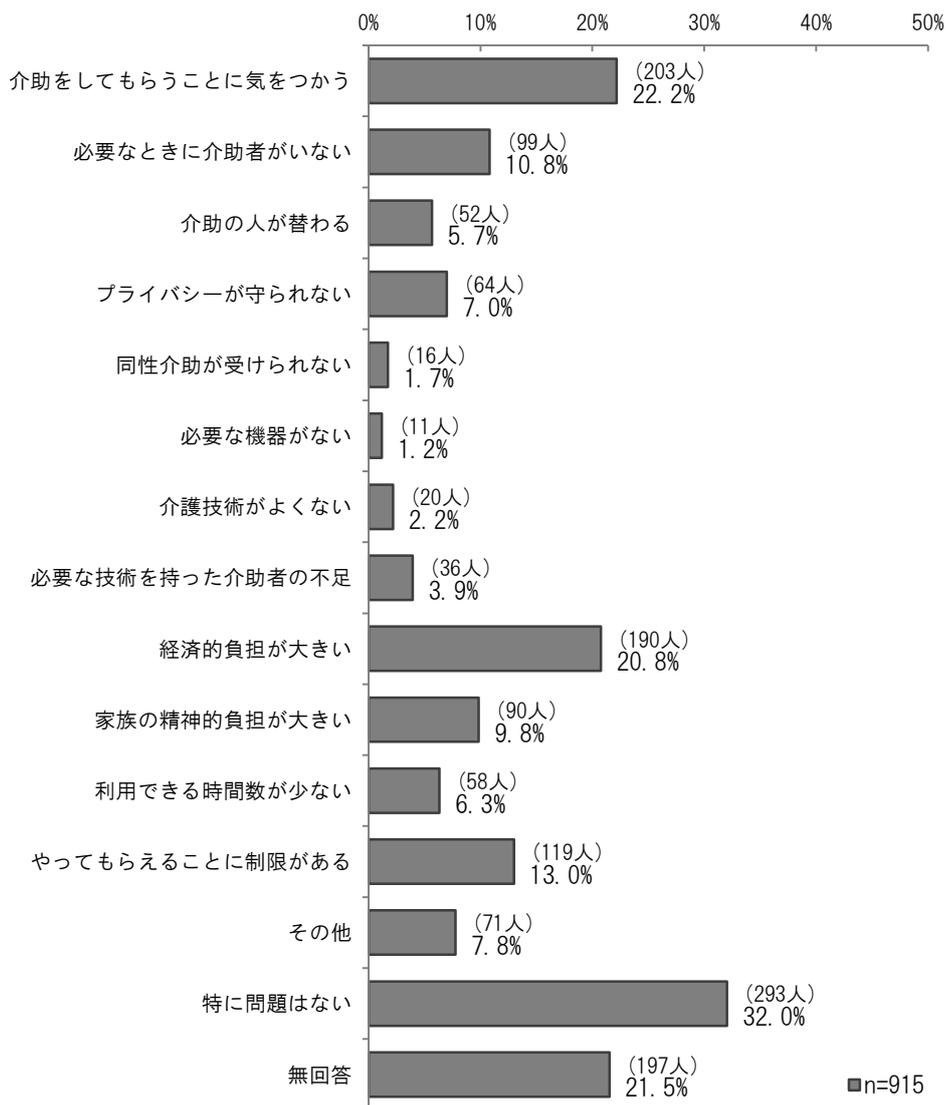
障害児では、全体で「特に問題ない」が32.3%で最も高く、次いで「経済的負担が大きい」が22.9%、「介助してもらうことに気をつかう」が18.3%、「必要なときに介助者がいない」「家族の精神的負担が大きい」がそれぞれ12.5%となっています。

図表 10.1-1 介助を受けるうえでの困難や苦労（障害者）（複数回答）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
介助してもらうことに気をつかう	203 22.2	122 21.6	15 17.0	35 30.2	24 19.8	7 26.9
必要なときに介助者がいない	99 10.8	52 9.2	14 15.9	21 18.1	10 8.3	2 7.7
介助の人が替わる	52 5.7	28 5.0	6 6.8	11 9.5	6 5.0	1 3.8
プライバシーが守られない	64 7.0	33 5.9	2 2.3	17 14.7	12 9.9	0 0.0
同性介助が受けられない	16 1.7	7 1.2	2 2.3	4 3.4	3 2.5	0 0.0
必要な機器がない	11 1.2	5 0.9	0 0.0	3 2.6	3 2.5	0 0.0
介護技術がよくない	20 2.2	11 2.0	0 0.0	4 3.4	5 4.1	0 0.0
必要な技術を持った介助者の不足	36 3.9	22 3.9	6 6.8	2 1.7	5 4.1	1 3.8
経済的負担が大きい	190 20.8	108 19.1	20 22.7	32 27.6	23 19.0	7 26.9
家族の精神的負担が大きい	90 9.8	45 8.0	6 6.8	16 13.8	20 16.5	3 11.5
利用できる時間数が少ない	58 6.3	32 5.7	8 9.1	9 7.8	7 5.8	2 7.7
やってもらえることに制限がある	119 13.0	68 12.1	15 17.0	20 17.2	14 11.6	2 7.7
その他	71 7.8	36 6.4	3 3.4	17 14.7	13 10.7	2 7.7
特に問題はない	293 32.0	198 35.1	28 31.8	28 24.1	33 27.3	6 23.1
無回答	197 21.5	130 23.0	16 18.2	15 12.9	29 24.0	7 26.9

図表 10.1-2 介助を受けるうえでの困難や苦勞（障害者；全体）（複数回答）

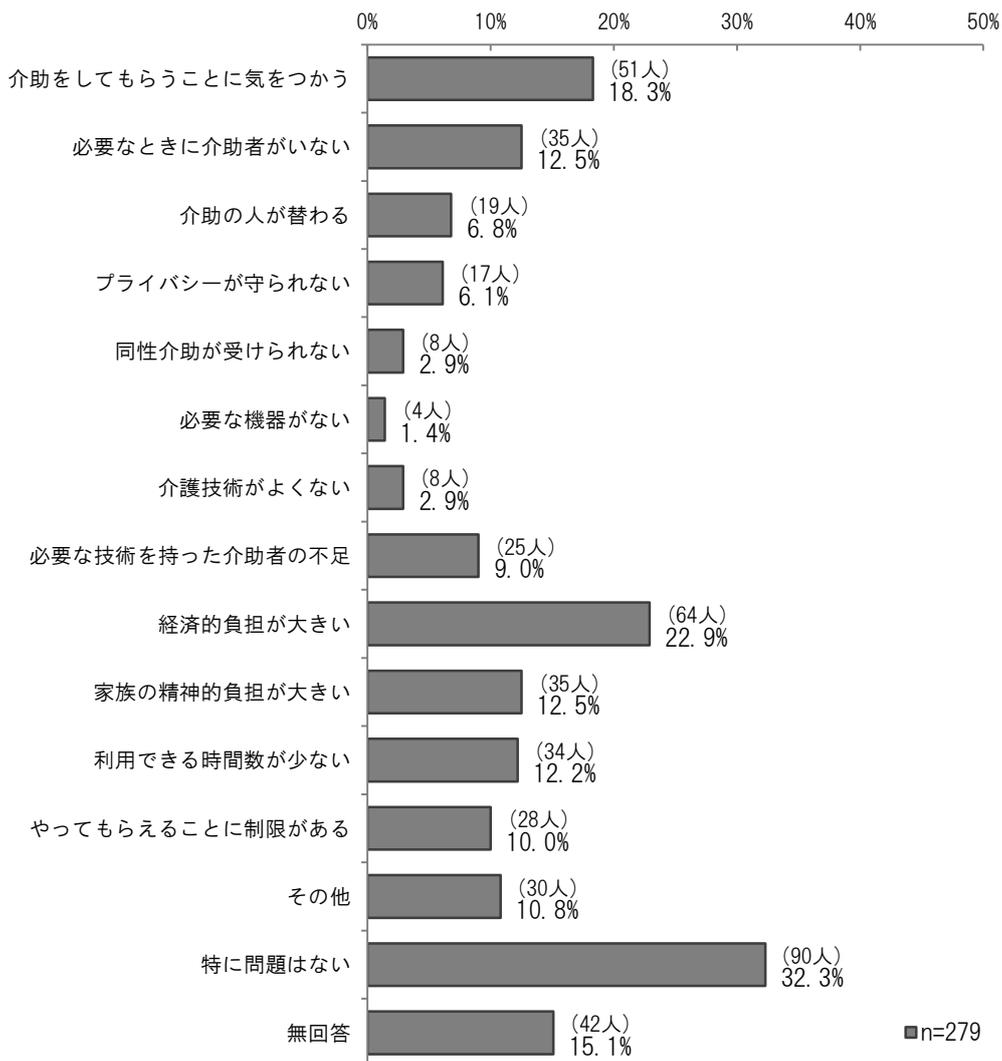


図表 10.2-1 介助を受けるうえでの困難や苦勞（障害児）（複数回答）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
介助をしてもらうことに気がつかう	51 18.3	10 15.9	29 18.5	2 16.7	9 23.7	1 11.1
必要なときに介助者がいない	35 12.5	5 7.9	23 14.6	1 8.3	5 13.2	1 11.1
介助の人が替わる	19 6.8	5 7.9	13 8.3	0 0.0	1 2.6	0 0.0
プライバシーが守られない	17 6.1	2 3.2	12 7.6	1 8.3	1 2.6	1 11.1
同性介助が受けられない	8 2.9	2 3.2	4 2.5	0 0.0	2 5.3	0 0.0
必要な機器がない	4 1.4	1 1.6	2 1.3	0 0.0	0 0.0	1 11.1
介護技術がよくない	8 2.9	3 4.8	5 3.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0
必要な技術を持った介助者の不足	25 9.0	6 9.5	15 9.6	0 0.0	4 10.5	0 0.0
経済的負担が大きい	64 22.9	12 19.0	38 24.2	1 8.3	10 26.3	3 33.3
家族の精神的負担が大きい	35 12.5	8 12.7	19 12.1	3 25.0	3 7.9	2 22.2
利用できる時間数が少ない	34 12.2	7 11.1	21 13.4	1 8.3	5 13.2	0 0.0
やってもらえることに制限がある	28 10.0	5 7.9	17 10.8	1 8.3	5 13.2	0 0.0
その他	30 10.8	5 7.9	19 12.1	2 16.7	2 5.3	2 22.2
特に問題はない	90 32.3	25 39.7	49 31.2	4 33.3	9 23.7	3 33.3
無回答	42 15.1	10 15.9	23 14.6	1 8.3	7 18.4	1 11.1

図表 10.2-2 介助を受けるうえでの困難や苦勞（障害児；全体）（複数回答）



3 障害福祉サービスの利用について

【障害者調査】 【障害児調査】

問 障害福祉サービスに関して、現在の利用状況と今後の利用意向について教えてください。

○ 成年後見制度

障害者では、利用状況について、全体では「利用したことがある、利用している」が1.9%、「知っているが利用したことはない」が46.7%、「制度を知らない」が26.2%となっています。利用意向について、全体では「今後利用したい」が10.2%、「利用するつもりはない」が26.7%、「わからない、何ともいえない」が36.8%となっています。

障害児では、全体では「知っているが利用したことはない」が53.4%、「制度を知らない」が37.3%となっています。利用意向について、全体では「今後利用したい」が35.1%、「利用したくない、利用資格がない」が11.8%、「わからない、何ともいえない」が41.6%となっています。

図表 11.1 成年後見制度の利用状況（障害者）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
利用したことがある、 利用している	17 1.9	6 1.1	4 4.5	2 1.7	5 4.1	0 0.0
知っているが利用し たことはない	427 46.7	263 46.6	53 60.2	61 52.6	40 33.1	10 38.5
制度を知らない	240 26.2	144 25.5	17 19.3	39 33.6	35 28.9	5 19.2
無回答	231 25.2	151 26.8	14 15.9	14 12.1	41 33.9	11 42.3

図表 11.2 成年後見制度の利用意向（障害者）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
今後利用したい	93 10.2	30 5.3	28 31.8	19 16.4	14 11.6	2 7.7
利用するつもりはな い	244 26.7	176 31.2	8 9.1	37 31.9	15 12.4	8 30.8
わからない、何ともい えない	337 36.8	203 36.0	34 38.6	43 37.1	50 41.3	7 26.9
無回答	241 26.3	155 27.5	18 20.5	17 14.7	42 34.7	9 34.6

図表 11.3 成年後見制度の利用状況（障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
利用したことがある、 利用している	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
知っているが利用し たことはない	149 53.4	27 42.9	93 59.2	7 58.3	19 50.0	3 33.3
制度を知らない	104 37.3	28 44.4	51 32.5	5 41.7	14 36.8	6 66.7
無回答	26 9.3	8 12.7	13 8.3	0 0.0	5 13.2	0 0.0

図表 11.4 成年後見制度の利用意向（障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
今後利用したい	98 35.1	10 15.9	65 41.4	6 50.0	16 42.1	1 11.1
利用したくない、 利用資格がない	33 11.8	15 23.8	14 8.9	0 0.0	1 2.6	3 33.3
わからない、何とも いえない	116 41.6	28 44.4	62 39.5	6 50.0	16 42.1	4 44.4
無回答	32 11.5	10 15.9	16 10.2	0 0.0	5 13.2	1 11.1

【障害者調査】 【障害児調査】

問 松戸市では、保健・医療・福祉のサービスを総合的に提供する松戸市健康福祉会館『ふれあい22』を設置し、市民への積極的なサービスに努めています。あなたは、その中の「こども発達センター」「障害者福祉センター」「ふれあい相談室」について知っていますか。

①こども発達支援センター

障害者では、全体では「知っており、利用している（利用したことがある）」が6.6%、「知っているが、利用したことはない」が23.2%、「今まで知らなかった」が52.7%となっています。また、身体障害者では「今まで知らなかった」が55.9%、知的障害者では、「知っているが、利用したことはない」が43.2%、精神障害者では「今まで知らなかった」が69.0%で、それぞれ最も高くなっています。

障害児では、全体では「知っており、利用している（利用したことがある）」が79.6%、「知っているが、利用したことはない」が11.8%、「今まで知らなかった」が6.5%となっています。

図表 12.1 こども発達支援センターの認知度（障害者）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
知っており、利用している（利用したことがある）	60 6.6	17 3.0	22 25.0	6 5.2	14 11.6	1 3.8
知っているが、利用したことはない	212 23.2	116 20.6	38 43.2	20 17.2	34 28.1	4 15.4
今まで知らなかった	482 52.7	315 55.9	17 19.3	80 69.0	55 45.5	15 57.7
無回答	161 17.6	116 20.6	11 12.5	10 8.6	18 14.9	6 23.1

図表 12.2 こども発達支援センターの認知度（障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
知っており、利用している（利用したことがある）	222 79.6	34 54.0	139 88.5	9 75.0	31 81.6	9 100.0
知っているが、利用したことはない	33 11.8	16 25.4	13 8.3	1 8.3	3 7.9	0 0.0
今まで知らなかった	18 6.5	11 17.5	3 1.9	2 16.7	2 5.3	0 0.0
無回答	6 2.2	2 3.2	2 1.3	0 0.0	2 5.3	0 0.0

②障害者福祉センター

障害者では、全体では「知っており、利用している（利用したことがある）」が 9.2%、「知っているが、利用したことはない」が 37.8%「今まで知らなかった」が 43.0%となっています。また、身体障害者では「今まで知らなかった」が 44.1%、知的障害者では、「知っているが、利用したことはない」が 48.9%、精神障害者では「今まで知らなかった」が 53.4%で、それぞれ最も高くなっています。

障害児では、全体では「知っており、利用している（利用したことがある）」が 11.5%、「知っているが、利用したことはない」が 57.0%、「今まで知らなかった」が 29.0%となっています。

図表 13.1 障害者福祉センターの認知度（障害者）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
知っており、利用している（利用したことがある）	84 9.2	38 6.7	14 15.9	18 15.5	13 10.7	1 3.8
知っているが、利用したことはない	346 37.8	216 38.3	43 48.9	32 27.6	46 38.0	9 34.6
今まで知らなかった	393 43.0	249 44.1	24 27.3	62 53.4	46 38.0	12 46.2
無回答	92 10.1	61 10.8	7 8.0	4 3.4	16 13.2	4 15.4

図表 13.2 障害者福祉センターの認知度（障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
知っており、利用している（利用したことがある）	32 11.5	8 12.7	15 9.6	1 8.3	4 10.5	4 44.4
知っているが、利用したことはない	159 57.0	30 47.6	94 59.9	7 58.3	25 65.8	3 33.3
今まで知らなかった	81 29.0	23 36.5	45 28.7	4 33.3	7 18.4	2 22.2
無回答	7 2.5	2 3.2	3 1.9	0 0.0	2 5.3	0 0.0

③ふれあい相談室

障害者では、全体では「知っており、利用している（利用したことがある）」が 5.6%、「知っているが、利用したことはない」が 30.4%、「今まで知らなかった」が 52.5%となっています。また、身体障害者では「今まで知らなかった」が 54.3%、知的障害者では、「知っているが、利用したことはない」が 48.9%、精神障害者では「今まで知らなかった」が 65.5%で、それぞれ最も高くなっています。

障害児では、全体では「知っており、利用している（利用したことがある）」が 22.2%、「知っているが、利用したことはない」が 48.4%、「今まで知らなかった」が 26.9%となっています。また、身体障害者では「今まで知らなかった」が 42.9%、知的障害者では、「知っているが、利用したことはない」が 50.3%、精神障害者では「今まで知らなかった」が 58.3%で、それぞれ最も高くなっています。

図表 14.1 ふれあい相談室の認知度（障害者）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
知っており、利用している（利用したことがある）	51 5.6	16 2.8	15 17.0	12 10.3	8 6.6	0 0.0
知っているが、利用したことはない	278 30.4	167 29.6	43 48.9	23 19.8	40 33.1	5 19.2
今まで知らなかった	480 52.5	306 54.3	23 26.1	76 65.5	58 47.9	17 65.4
無回答	106 11.6	75 13.3	7 8.0	5 4.3	15 12.4	4 15.4

図表 14.2 ふれあい相談室の認知度（障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
知っており、利用している（利用したことがある）	62 22.2	8 12.7	42 26.8	2 16.7	6 15.8	4 44.4
知っているが、利用したことはない	135 48.4	26 41.3	79 50.3	3 25.0	23 60.5	4 44.4
今まで知らなかった	75 26.9	27 42.9	33 21.0	7 58.3	7 18.4	1 11.1
無回答	7 2.5	2 3.2	3 1.9	0 0.0	2 5.3	0 0.0

【障害者調査】 【障害児調査】

問 松戸市では、平成24年度から、障害に関する地域の相談支援の拠点として「基幹相談支援センターCoCo」を設置しています。あなたは「基幹相談支援センターCoCo」を知っていますか。

障害者では、全体で「知っており、利用している（利用したことがある）」が2.0%、知っているが、利用したことはないが9.8%、「今まで知らなかった」が81.3%となっています。

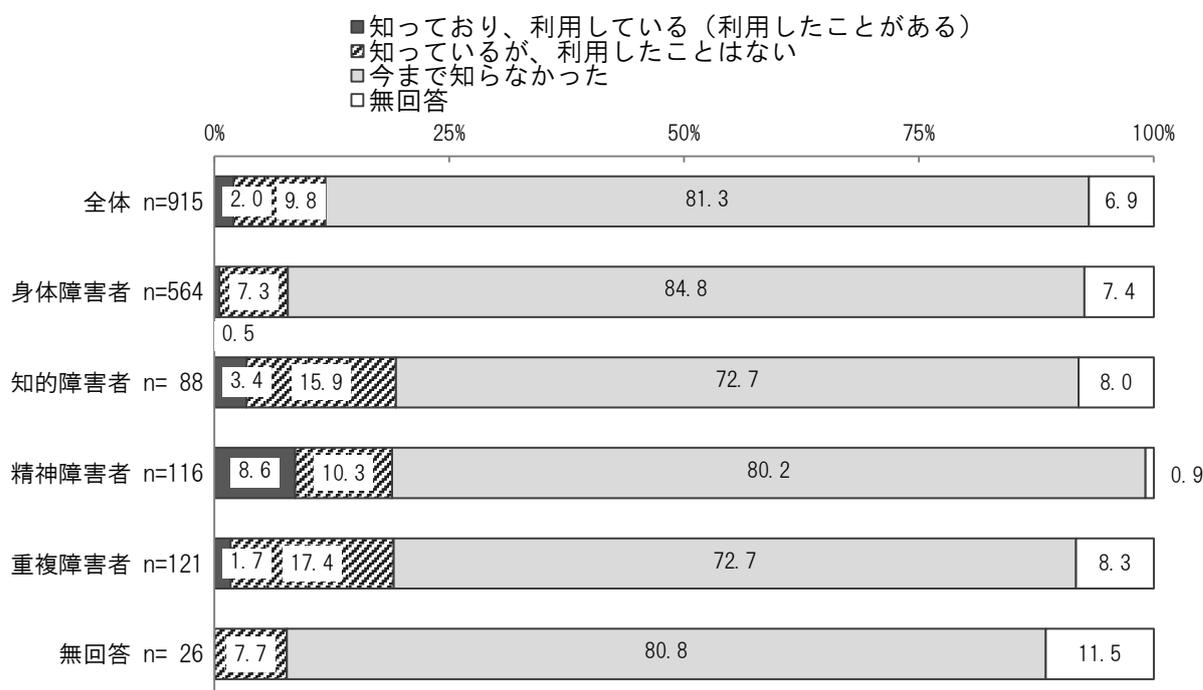
障害児では、全体で「今まで知らなかった」が73.1%で最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が17.6%となっています。

図表 15.1-1 基幹相談支援センターCoCoの認知度（障害者）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
知っており、利用している（利用したことがある）	18 2.0	3 0.5	3 3.4	10 8.6	2 1.7	0 0.0
知っているが、利用したことはない	90 9.8	41 7.3	14 15.9	12 10.3	21 17.4	2 7.7
今まで知らなかった	744 81.3	478 84.8	64 72.7	93 80.2	88 72.7	21 80.8
無回答	63 6.9	42 7.4	7 8.0	1 0.9	10 8.3	3 11.5

図表 15.1-2 基幹相談支援センターCoCoの認知度（障害者）

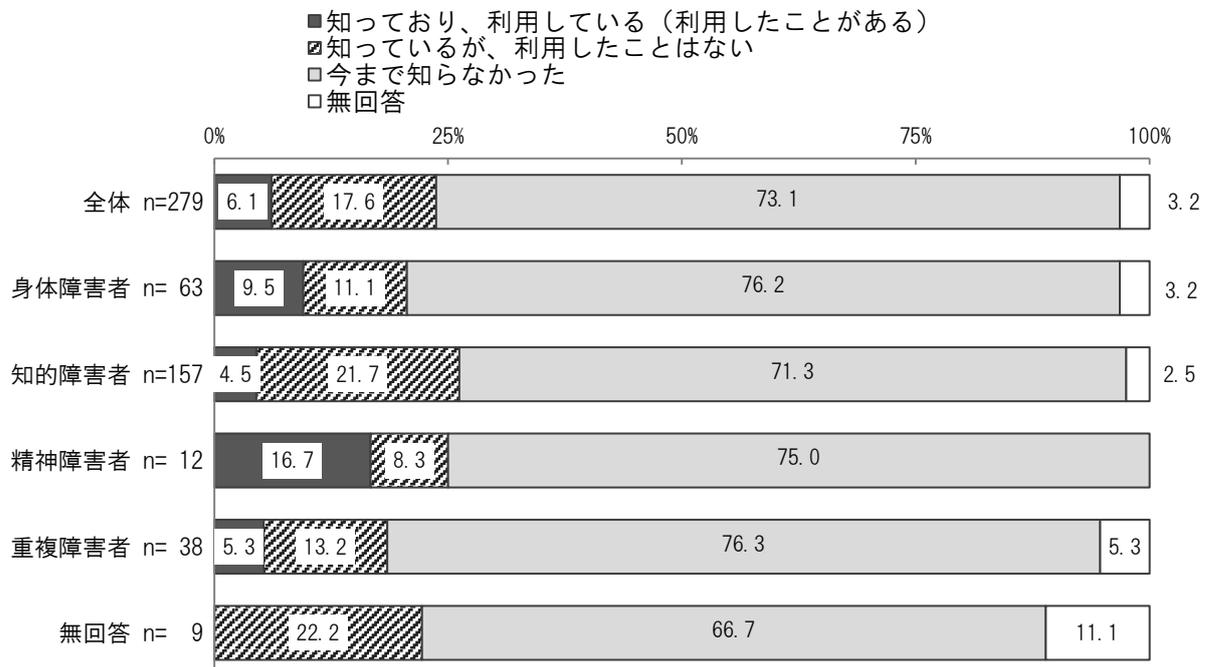


図表 15.2-1 基幹相談支援センターCoCoの認知度（障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
知っており、利用している（利用したことがある）	17 6.1	6 9.5	7 4.5	2 16.7	2 5.3	0 0.0
知っているが、利用したことはない	49 17.6	7 11.1	34 21.7	1 8.3	5 13.2	2 22.2
今まで知らなかった	204 73.1	48 76.2	112 71.3	9 75.0	29 76.3	6 66.7
無回答	9 3.2	2 3.2	4 2.5	0 0.0	2 5.3	1 11.1

図表 15.2-2 基幹相談支援センターCoCoの認知度（障害児）



【障害者調査】 【障害児調査】

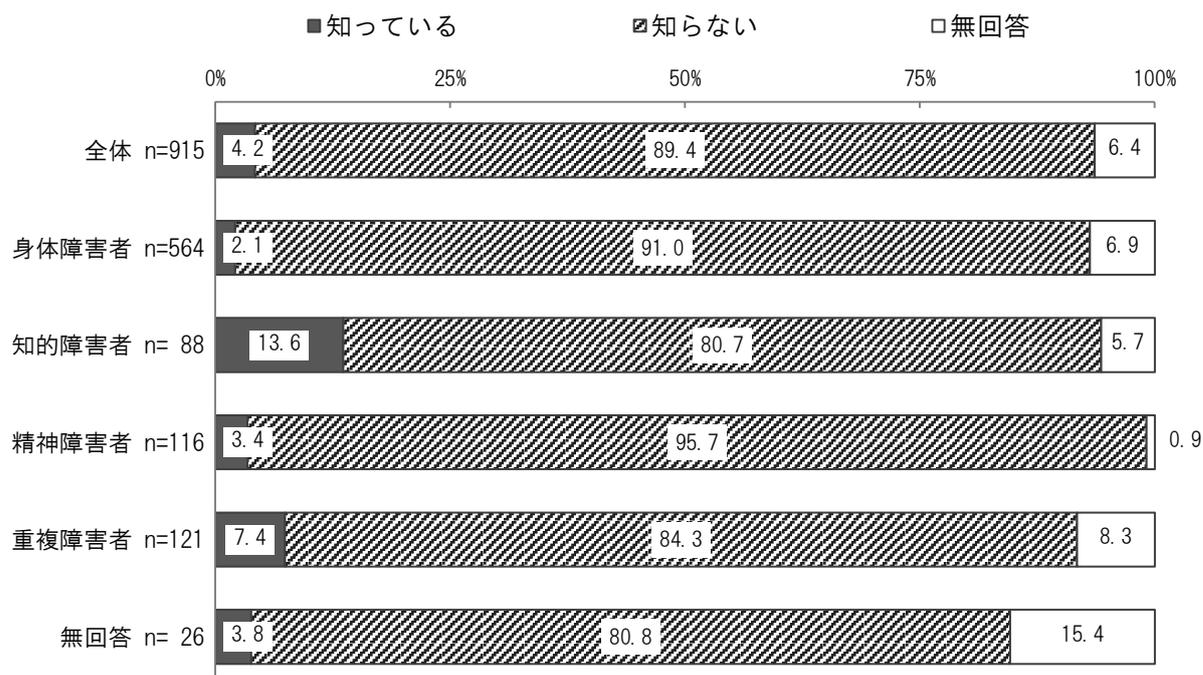
問 松戸市では、平成 28 年度から、身体（相談支援事業所みらい）・知的（相談支援センターエール）・精神（サポートネット松戸）の障害者別相談機関「ハートオン相談室」を障害ごとに1ヶ所ずつ設置しています。
あなたは、「ハートオン相談室」を知っていますか。

障害者では、全体で「知っている」が4.2%、「知らない」が89.4%となっています。
障害児では、全体で「知っている」が3.9%、「知らない」が93.5%となっています。

図表 16.1-1 ハートオン相談室の認知度（障害者） 上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
知っている	38 4.2	12 2.1	12 13.6	4 3.4	9 7.4	1 3.8
知らない	818 89.4	513 91.0	71 80.7	111 95.7	102 84.3	21 80.8
無回答	59 6.4	39 6.9	5 5.7	1 0.9	10 8.3	4 15.4

図表 16.1-2 ハートオン相談室の認知度（障害者）

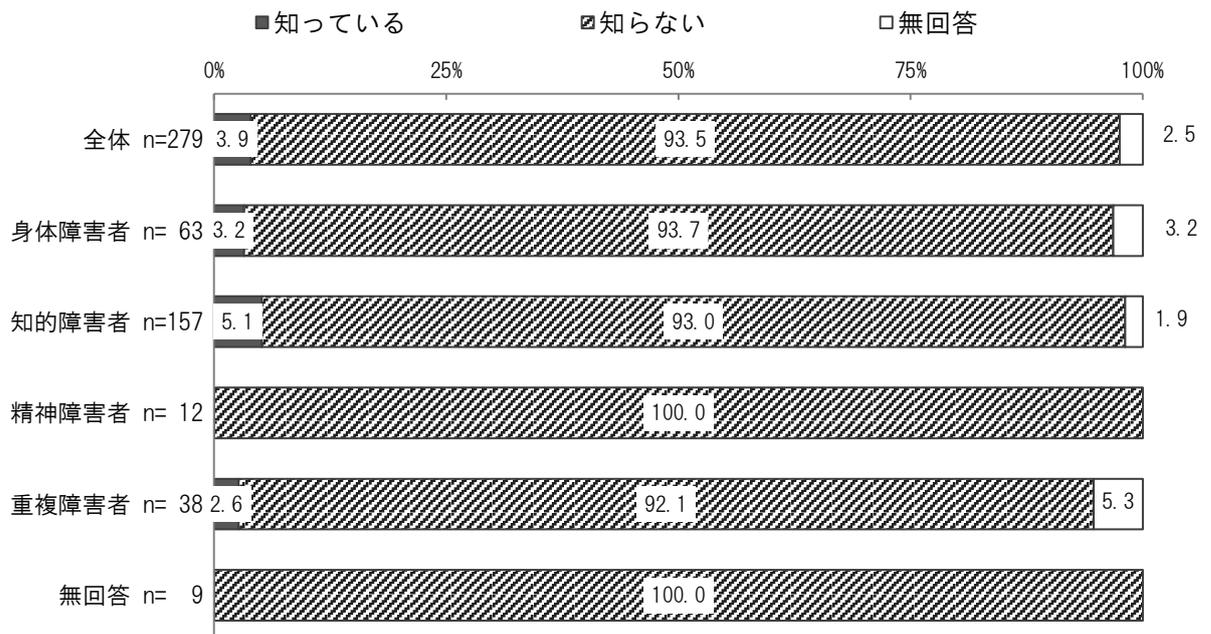


図表 16.2-1 ハートオン相談室の認知度（障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
知っている	11 3.9	2 3.2	8 5.1	0 0.0	1 2.6	0 0.0
知らない	261 93.5	59 93.7	146 93.0	12 100.0	35 92.1	9 100.0
無回答	7 2.5	2 3.2	3 1.9	0 0.0	2 5.3	0 0.0

図表 16.2-2 ハートオン相談室の認知度（障害児）



4 現在や将来の生活について

【障害者調査】 【障害児調査】

問 将来、(おとなになったあと) あなたはどのような生活をしたいと思いますか。

障害者では、「わからない」(21.5%)を除くと、全体で「自宅、アパートや借家などで家族で(または夫婦で)暮らす」が36.3%で最も高く、次いで「自宅や借家で福祉サービスを利用しながらひとりで暮らす」が17.5%となっています。また、身体障害者では「自宅、アパートや借家などで家族で(または夫婦で)暮らす」が40.8%、知的障害者では、「4～5人の仲間と一緒に、食事や身の回りの世話をする人のいる共同住宅など(グループホーム等)で暮らす」が34.1%、精神障害者では「自宅、アパートや借家などで家族で(または夫婦で)暮らす」が39.7%で、それぞれ最も高くなっています。

障害児では、「わからない」(22.9%)を除くと、全体で「自宅、アパートや借家などで家族で(または夫婦で)暮らす」が43.4%で最も高く、次いで「4～5人の仲間と一緒に、食事や身の回りの世話をする人のいる共同住宅など(グループホーム等)で暮らす」が11.8%となっています。また、精神障害者では、「自宅、アパートや借家で福祉サービスを利用しながらひとりで暮らす」が25.0%、知的障害者では、「4～5人の仲間と一緒に、食事や身の回りの世話をする人のいる共同住宅など(グループホーム等)で暮らす」が15.3%となっています。

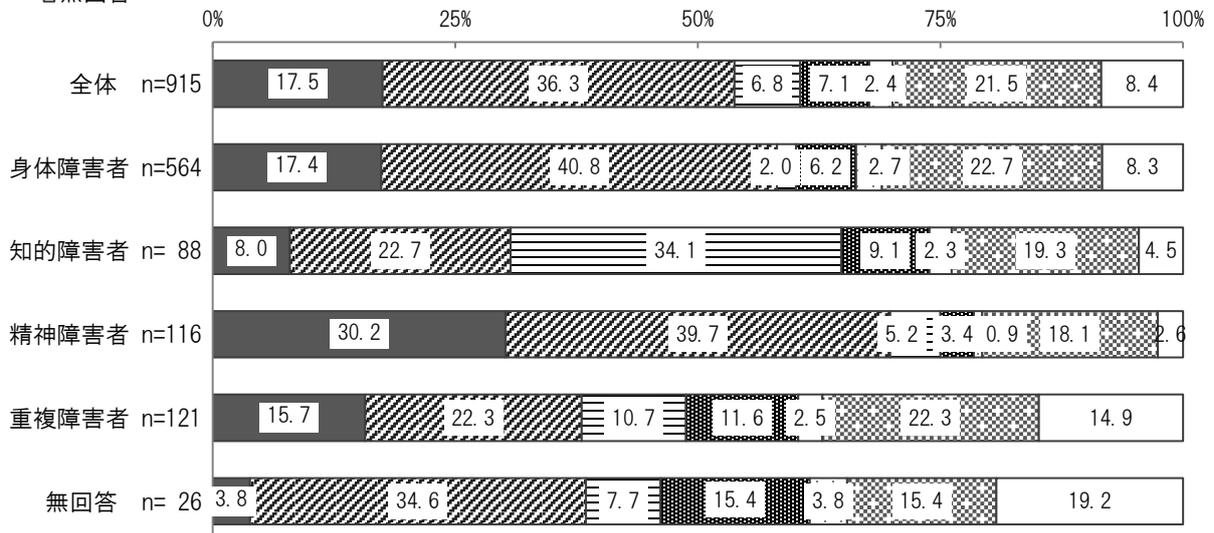
図表 17.1-1 将来の生活についての希望（障害者）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
自宅、アパートや借家で福祉サービスを利用しながらひとりで暮らす	160 17.5	98 17.4	7 8.0	35 30.2	19 15.7	1 3.8
自宅、アパートや借家などで家族で（または夫婦で）暮らす	332 36.3	230 40.8	20 22.7	46 39.7	27 22.3	9 34.6
会社の寮などで暮らす	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4～5人の仲間と一緒に、食事や身の回りの世話をする人のいる共同住宅など（グループホーム等）で暮らす	62 6.8	11 2.0	30 34.1	6 5.2	13 10.7	2 7.7
入所施設で暮らす	65 7.1	35 6.2	8 9.1	4 3.4	14 11.6	4 15.4
その他	22 2.4	15 2.7	2 2.3	1 0.9	3 2.5	1 3.8
わからない	197 21.5	128 22.7	17 19.3	21 18.1	27 22.3	4 15.4
無回答	77 8.4	47 8.3	4 4.5	3 2.6	18 14.9	5 19.2

図表 17.1-2 将来の生活についての希望（障害者；全体）

- 自宅、アパートや借家で福祉サービスを利用しながらひとりで暮らす
- ▨ 自宅、アパートや借家などで家族で（または夫婦で）暮らす
- 会社の寮などで暮らす
- ▤ 4～5人の仲間と一緒に、食事や身の回りの世話をする人のいる共同住宅など（グループホーム等）で暮らす
- 入所施設で暮らす
- その他
- ▨ わからない
- 無回答

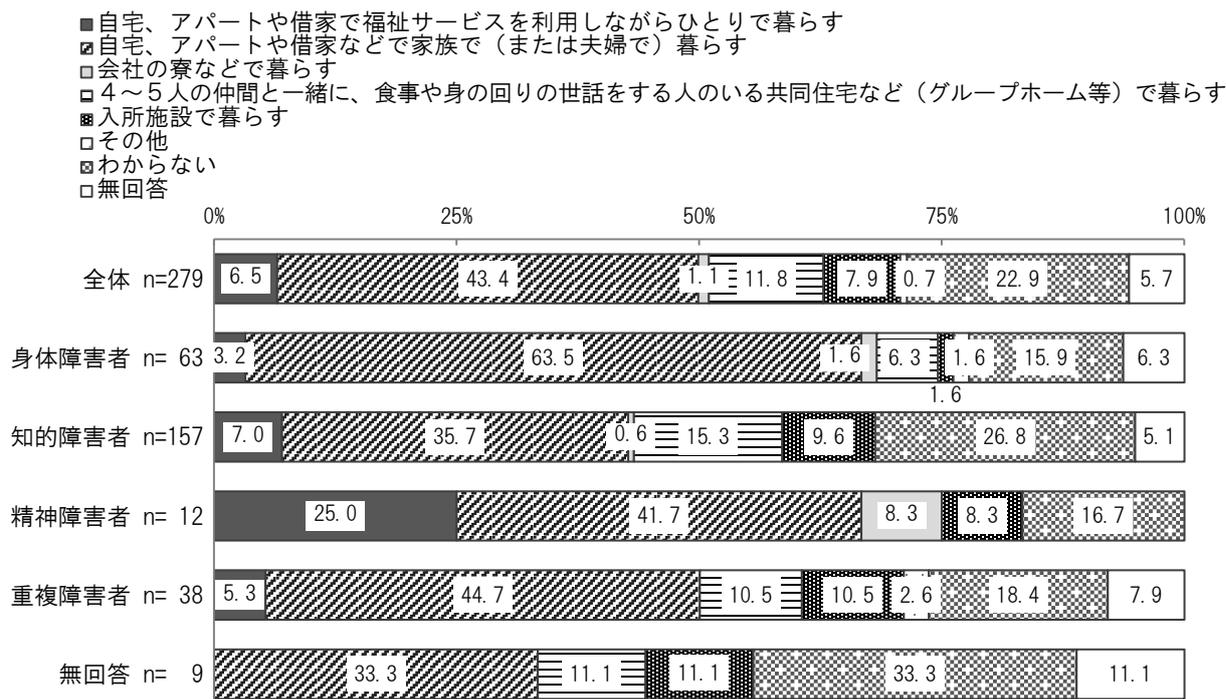


図表 17.2-1 将来の生活についての希望（障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
自宅、アパートや借家で福祉サービス を利用しながらひとりで暮らす	18 6.5	2 3.2	11 7.0	3 25.0	2 5.3	0 0.0
自宅、アパートや借家などで家族で （または夫婦で）暮らす	121 43.4	40 63.5	56 35.7	5 41.7	17 44.7	3 33.3
会社の寮などで暮らす	3 1.1	1 1.6	1 0.6	1 8.3	0 0.0	0 0.0
4～5人の仲間と一緒に、食事や身の回り の世話をする人のいる共同住宅など （グループホーム等）で暮らす	33 11.8	4 6.3	24 15.3	0 0.0	4 10.5	1 11.1
入所施設で暮らす	22 7.9	1 1.6	15 9.6	1 8.3	4 10.5	1 11.1
その他	2 0.7	1 1.6	0 0.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0
わからない	64 22.9	10 15.9	42 26.8	2 16.7	7 18.4	3 33.3
無回答	16 5.7	4 6.3	8 5.1	0 0.0	3 7.9	1 11.1

図表 17.2-2 将来の生活についての希望（障害児；全体）



5 日中の過ごし方（就労）について

【障害者調査】 【障害児調査】

問 現在、あなたは日中をおもにどこで過ごしていますか。

障害者では、全体で「家庭内で過ごしている」が46.2%で最も高く、次いで「正職員以外（アルバイト、パート契約社員、派遣社員、日雇い等）として働いている」が11.9%となっています。また、知的障害者では、「障害者のための通所サービスを利用している（地域活動支援センターや作業所を含む）」（36.4%）及び「正職員以外（アルバイト、パート契約社員、派遣社員、日雇い等）として働いている」（33.0%）が、それぞれ30%を超えています。

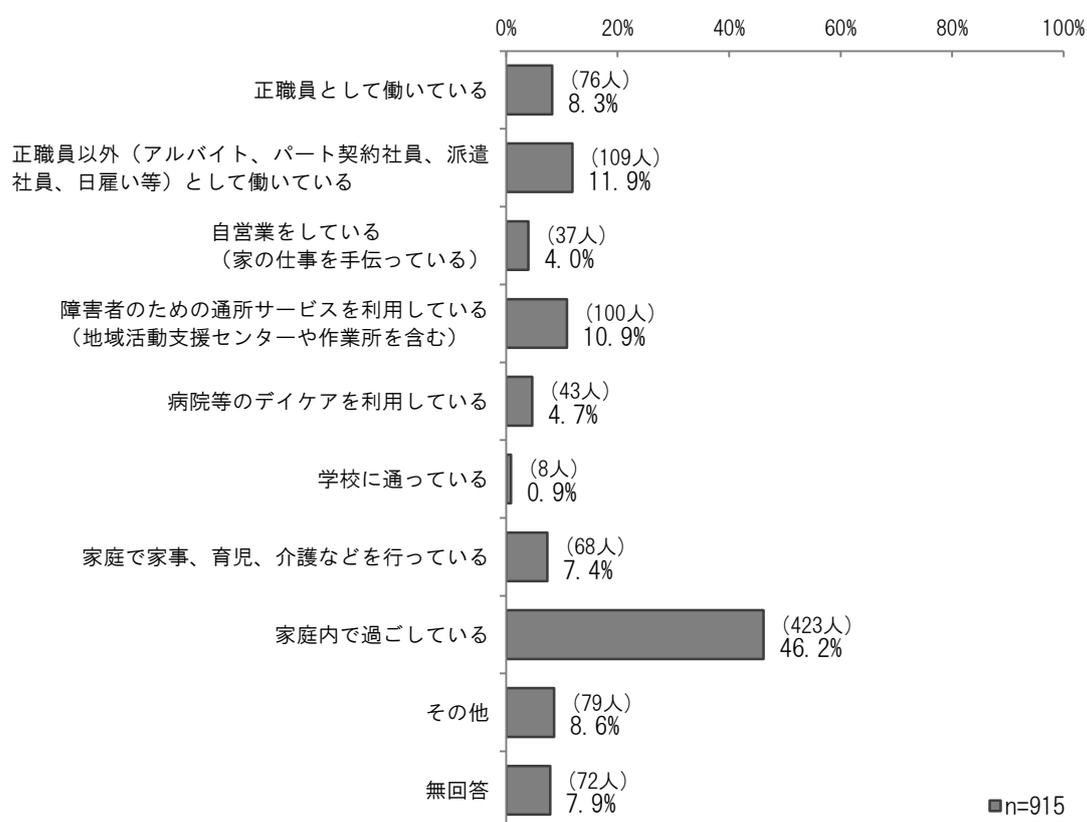
障害児のうち、小学校に入学する前の方については、全体で「幼稚園」が23.1%で最も高く、次いで「児童発達支援」が21.2%、「保育所」が19.2%となっています。学校に通っている方、働いている方（福祉的就労を含む）については、全体で「盲・ろう学校・特別支援学校（小・中・高等部）」が39.6%で最も高く、次いで「小・中学校の特別支援学級」が37.3%となっています。

図表 18.1-1 主な日中の過ごし方（障害者）（複数回答）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
1. 正職員として働いている	76 8.3	62 11.0	6 6.8	7 6.0	1 0.8	0 0.0
2. 正職員以外（アルバイト、パート契約社員、派遣社員、日雇い等）として働いている	109 11.9	44 7.8	29 33.0	17 14.7	17 14.0	2 7.7
3. 自営業をしている（家の仕事を手伝っている）	37 4.0	33 5.9	1 1.1	1 0.9	2 1.7	0 0.0
4. 障害者のための通所サービスを利用している（地域活動支援センターや作業所を含む）	100 10.9	25 4.4	32 36.4	24 20.7	18 14.9	1 3.8
5. 病院等のデイケアを利用している	43 4.7	25 4.4	1 1.1	8 6.9	7 5.8	2 7.7
6. 学校に通っている	8 0.9	4 0.7	0 0.0	2 1.7	1 0.8	1 3.8
7. 家庭で家事、育児、介護などを行っている	68 7.4	46 8.2	3 3.4	13 11.2	4 3.3	2 7.7
8. 家庭内で過ごしている	423 46.2	289 51.2	11 12.5	58 50.0	53 43.8	12 46.2
9. その他	79 8.6	50 8.9	9 10.2	6 5.2	10 8.3	4 15.4
無回答	72 7.9	46 8.2	5 5.7	2 1.7	15 12.4	4 15.4

図表 18.1-2 主な日中の過ごし方（障害者；全体）（複数回答）



図表 18.2-1 主な日中の過ごし方（就学前の障害児）

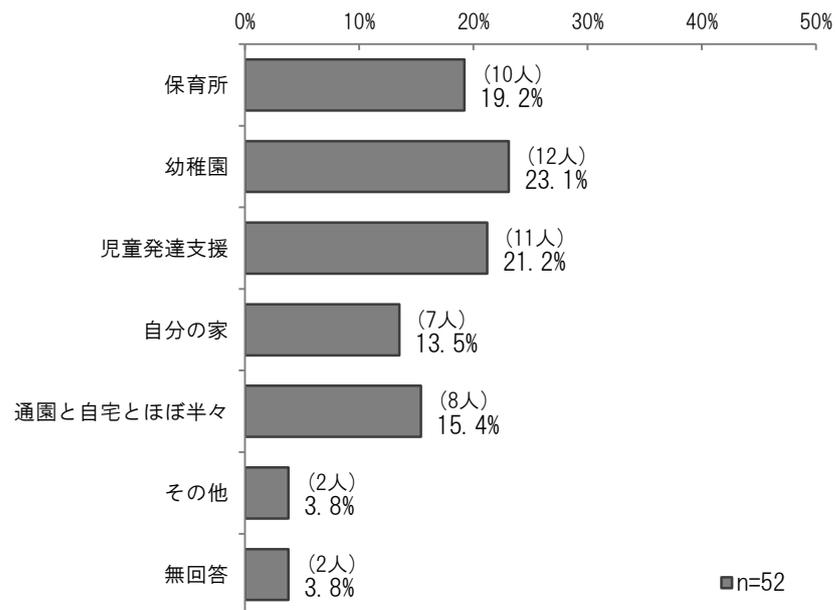
上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	52	20	23	4	5
保育所	10 19.2	2 10.0	7 30.4	0 0.0	1 20.0
幼稚園	12 23.1	6 30.0	4 17.4	0 0.0	2 40.0
児童発達支援	11 21.2	0 0.0	9 39.1	0 0.0	2 40.0
自分の家	7 13.5	4 20.0	1 4.3	2 50.0	0 0.0
通園と自宅とほぼ半々	8 15.4	5 25.0	2 8.7	1 25.0	0 0.0
その他	2 3.8	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	2 3.8	1 5.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0

※対象者は、障害のあるご本人が0～5歳の方、6歳のうち問28・29の回答のある方

※精神障害者の対象者なし

図表 18.2-2 主な日中の過ごし方（就学前の障害児；全体）



※対象者は、障害のあるご本人が0～5歳の方、6歳のうち問28・29の回答のある方

※精神障害者の対象者なし

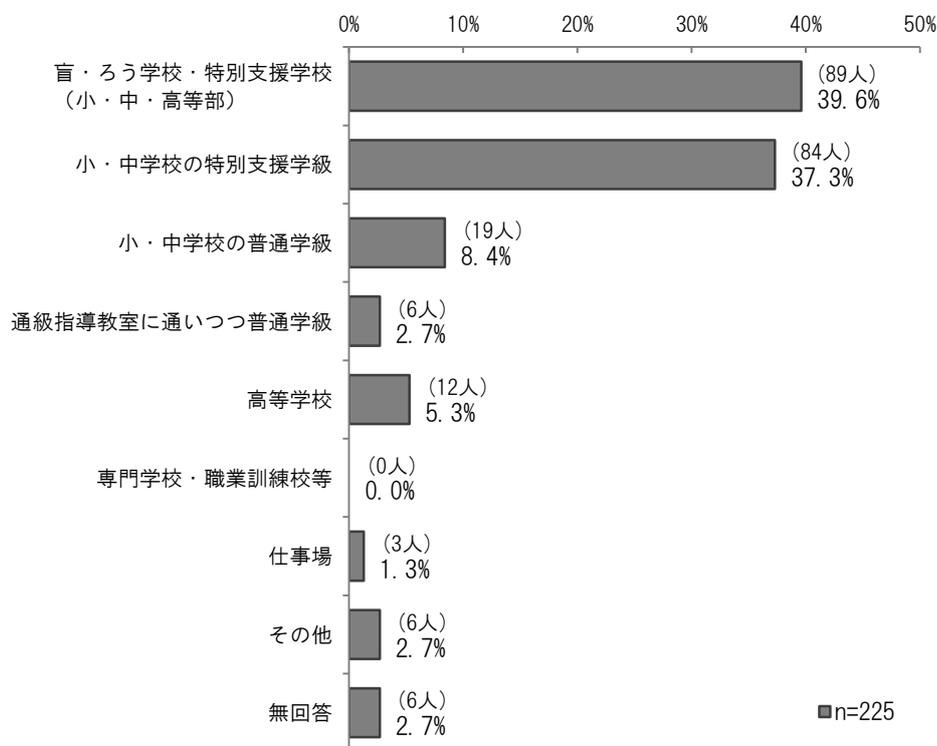
図表 18.3-1 主な日中の過ごし方（通学・通勤をしている障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	225	43	133	12	33	4
盲・ろう学校・特別支援学校 （小・中・高等部）	89 39.6	19 44.2	46 34.6	3 25.0	21 63.6	0 0.0
小・中学校の特別支援学級	84 37.3	5 11.6	65 48.9	3 25.0	8 24.2	3 75.0
小・中学校の普通学級	19 8.4	14 32.6	3 2.3	0 0.0	1 3.0	1 25.0
通級指導教室に通いつつ 普通学級	6 2.7	1 2.3	2 1.5	3 25.0	0 0.0	0 0.0
高等学校	12 5.3	1 2.3	8 6.0	3 25.0	0 0.0	0 0.0
専門学校・職業訓練校等	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
仕事場	3 1.3	1 2.3	1 0.8	0 0.0	1 3.0	0 0.0
その他	6 2.7	0 0.0	6 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	6 2.7	2 4.7	2 1.5	0 0.0	2 6.1	0 0.0

※対象者は、障害のあるご本人が6歳のうち問30・31の回答のある方、7歳以上の方

図表 18.3-2 主な日中の過ごし方（通学・通勤をしている障害児；全体）



※対象者は、障害のあるご本人が6歳のうち問30・31の回答のある方、7歳以上の方

【障害者調査】 【障害児調査】

問 あなたは、将来、日中をどこで（どのように）過ごしたいですか。

障害者では、全体で「家庭内で過ごしたい」が37.0%で最も高く、次いで「正社員として働きたい」が17.3%となっています。また、身体障害者では、「家庭内で過ごしたい」が43.6%、知的障害者では「障害者のための通所サービスを利用したい（地域活動支援センターや作業所含む）」が42.0%、精神障害者では「正職員として働きたい」が37.9%で、それぞれ最も高くなっています。

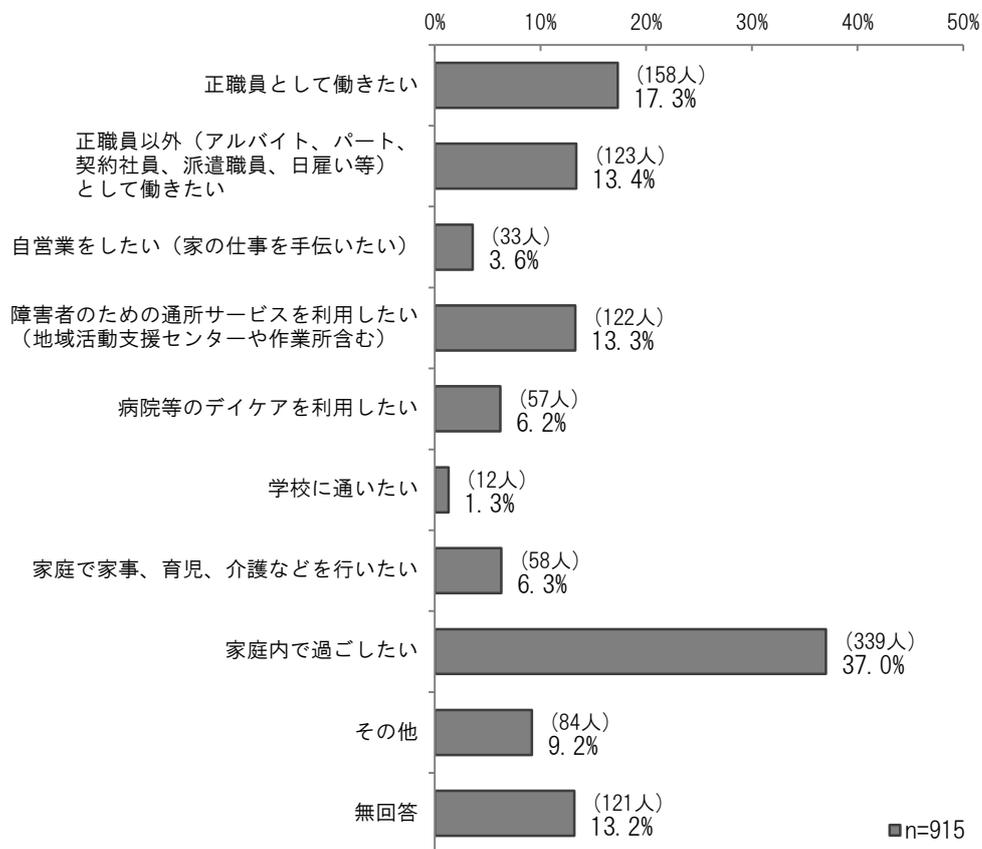
障害児のうち、小学校に入学する前の方については、全体で「小学校の普通学級」が23.1%で最も高く、次いで「盲・ろう学校・特別支援学校（小学部）」及び「小学校の特別支援学級」がそれぞれ17.3%となっています。学校に通っている方、働いている方（福祉的就労を含む）については、全体で「盲・ろう学校・特別支援学校（高等部）」が26.2%で最も高く、次いで「会社等に勤める」が20.4%、「通所入所等の社会福祉施設」が16.0%となっています。

図表 19.1-1 日中の過ごし方の希望（障害者）（複数回答）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
正職員として働きたい	158 17.3	78 13.8	25 28.4	44 37.9	10 8.3	1 3.8
正職員以外（アルバイト、パート、契約社員、派遣職員、日雇い等）として働きたい	123 13.4	60 10.6	16 18.2	29 25.0	14 11.6	4 15.4
自営業をしたい（家の仕事を手伝いたい）	33 3.6	20 3.5	1 1.1	8 6.9	3 2.5	1 3.8
障害者のための通所サービスを利用したい（地域活動支援センターや作業所含む）	122 13.3	41 7.3	37 42.0	19 16.4	22 18.2	3 11.5
病院等のデイケアを利用したい	57 6.2	33 5.9	3 3.4	10 8.6	8 6.6	3 11.5
学校に通いたい	12 1.3	7 1.2	0 0.0	4 3.4	1 0.8	0 0.0
家庭で家事、育児、介護などを行いたい	58 6.3	38 6.7	1 1.1	15 12.9	3 2.5	1 3.8
家庭内で過ごしたい	339 37.0	246 43.6	8 9.1	38 32.8	36 29.8	11 42.3
その他	84 9.2	50 8.9	4 4.5	12 10.3	13 10.7	5 19.2
無回答	121 13.2	83 14.7	9 10.2	3 2.6	23 19.0	3 11.5

図表 19.1-2 日中の過ごし方の希望（障害者；全体）（複数回答）



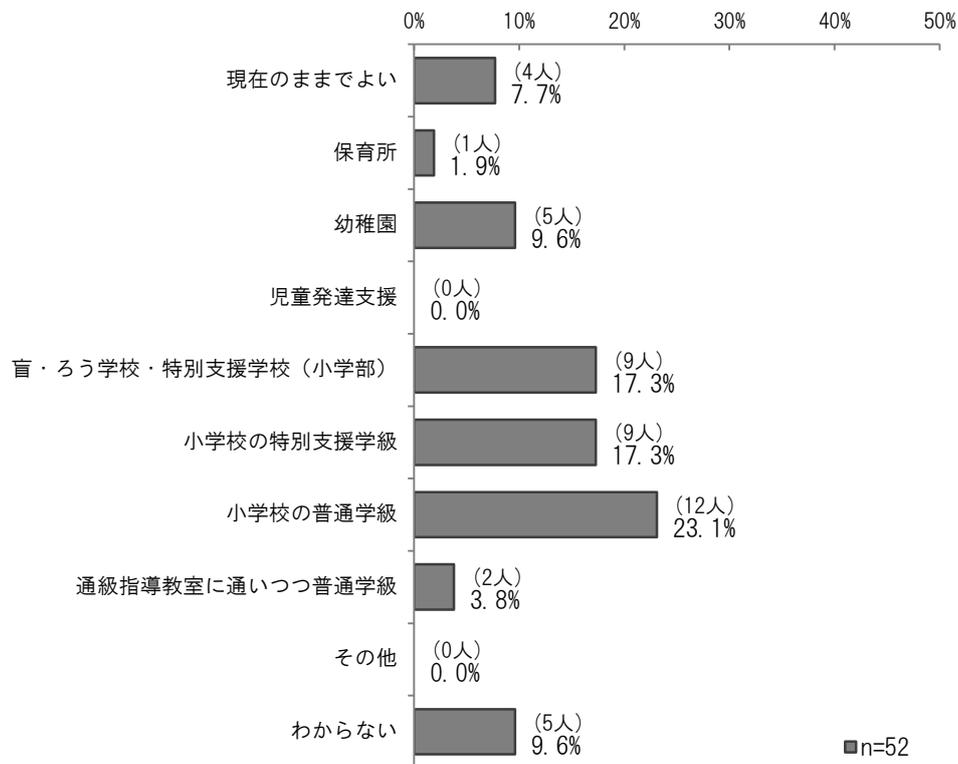
図表 19.2-1 日中の過ごし方の希望（就学前の障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	52	20	23	4	5
現在のままでよい	4 7.7	1 5.0	2 8.7	0 0.0	1 20.0
保育所	1 1.9	0 0.0	1 4.3	0 0.0	0 0.0
幼稚園	5 9.6	2 10.0	2 8.7	1 25.0	0 0.0
児童発達支援	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
盲・ろう学校・特別支援学校（小学部）	9 17.3	3 15.0	4 17.4	1 25.0	1 20.0
小学校の特別支援学級	9 17.3	4 20.0	4 17.4	0 0.0	1 20.0
小学校の普通学級	12 23.1	7 35.0	3 13.0	1 25.0	1 20.0
通級指導教室に通いつつ普通学級	2 3.8	0 0.0	1 4.3	0 0.0	1 20.0
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
わからない	5 9.6	1 5.0	4 17.4	0 0.0	0 0.0
無回答	5 9.6	2 10.0	2 8.7	1 25.0	0 0.0

※対象者は、障害のあるご本人が0～5歳の方、6歳のうち問28・29の回答のある方
 ※精神障害者の対象者なし

図表 19.2-2 日中の過ごし方の希望（就学前の障害児；全体）



※対象者は、障害のあるご本人が0～5歳の方、6歳のうち問28・29の回答のある方
 ※精神障害者の対象者なし

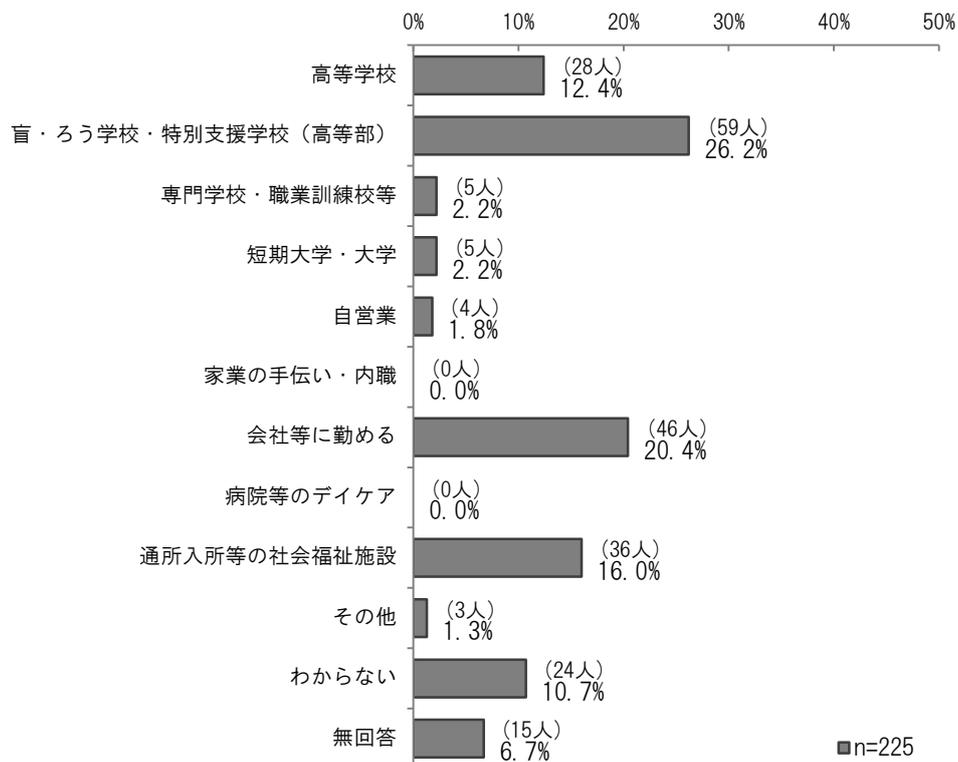
図表 19.3-1 日中の過ごし方の希望（通学・通勤をしている障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	225	43	133	12	33	4
高等学校	28 12.4	5 11.6	16 12.0	2 16.7	3 9.1	2 50.0
盲・ろう学校・特別支援学校（高等部）	59 26.2	8 18.6	39 29.3	0 0.0	12 36.4	0 0.0
専門学校・職業訓練校等	5 2.2	1 2.3	4 3.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
短期大学・大学	5 2.2	4 9.3	1 0.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
自営業	4 1.8	1 2.3	1 0.8	1 8.3	1 3.0	0 0.0
家業の手伝い・内職	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
会社等に勤める	46 20.4	8 18.6	29 21.8	4 33.3	4 12.1	1 25.0
病院等のデイケア	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
通所入所等の社会福祉施設	36 16.0	6 14.0	20 15.0	1 8.3	9 27.3	0 0.0
その他	3 1.3	1 2.3	2 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
わからない	24 10.7	4 9.3	16 12.0	3 25.0	1 3.0	0 0.0
無回答	15 6.7	5 11.6	5 3.8	1 8.3	3 9.1	1 25.0

※対象者は、障害のあるご本人が6歳のうち問30・31の回答のある方、7歳以上の方

図表 19.3-2 日中の過ごし方の希望（通学・通勤をしている障害児；全体）



※対象者は、障害のあるご本人が6歳のうち問30・31の回答のある方、7歳以上の方

【障害者調査】

問 あなたの仕事の内容は次のどれですか。

※主な日中の過ごし方について、「1 正職員として働いている」「2 正職員以外（アルバイト、パート契約社員、派遣社員、日雇い等）」「3 自営業をしている（家の仕事を手伝っている）」「4 障害者のための通所サービスを利用している」の回答者のみ

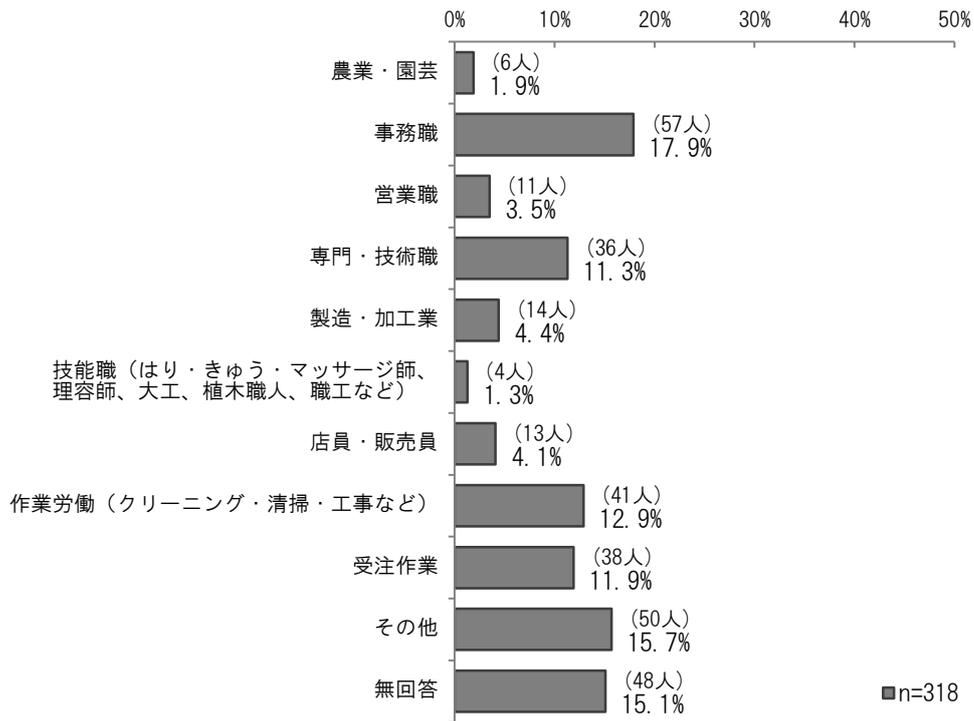
全体で「事務職」が17.9%で最も高く、次いで「作業労働（クリーニング・清掃・工事など）」が12.9%となっています。また、身体障害者では「事務職」が26.5%、「知的障害者では「受注作業」が34.8%、精神障害者では「作業労働（クリーニング・清掃・工事など）」が22.4%で、それぞれ最も高くなっています。

図表 20-1 仕事の内容（障害者）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	318	162	66	49	38	3
農業・園芸	6 1.9	3 1.9	1 1.5	0 0.0	2 5.3	0 0.0
事務職	57 17.9	43 26.5	3 4.5	8 16.3	3 7.9	0 0.0
営業職	11 3.5	8 4.9	0 0.0	1 2.0	2 5.3	0 0.0
専門・技術職	36 11.3	31 19.1	0 0.0	3 6.1	2 5.3	0 0.0
製造・加工業	14 4.4	4 2.5	7 10.6	1 2.0	2 5.3	0 0.0
技能職（はり・きゅう・マッサージ師、理容師、大工、植木職人、職工など）	4 1.3	3 1.9	0 0.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0
店員・販売員	13 4.1	3 1.9	6 9.1	1 2.0	3 7.9	0 0.0
作業労働（クリーニング・清掃・工事など）	41 12.9	11 6.8	15 22.7	11 22.4	3 7.9	1 33.3
受注作業	38 11.9	3 1.9	23 34.8	4 8.2	7 18.4	1 33.3
その他	50 15.7	21 13.0	6 9.1	14 28.6	8 21.1	1 33.3
無回答	48 15.1	32 19.8	5 7.6	6 12.2	5 13.2	0 0.0

図表 20-2 仕事の内容（障害者；全体）



【障害者調査】

問 仕事や作業について、希望することはありますか。

※主な日中の過ごし方について、「1 正職員として働いている」「2 正職員以外（アルバイト、パート契約社員、派遣社員、日雇い等）」「3 自営業をしている（家の仕事を手伝っている）」「4 障害者のための通所サービスを利用している」の回答者のみ

全体で「身近な場所で働きたい」が22.3%、「収入の多い仕事に就きたい」が17.0%となっています。また、「特にない」は19.8%となっています。

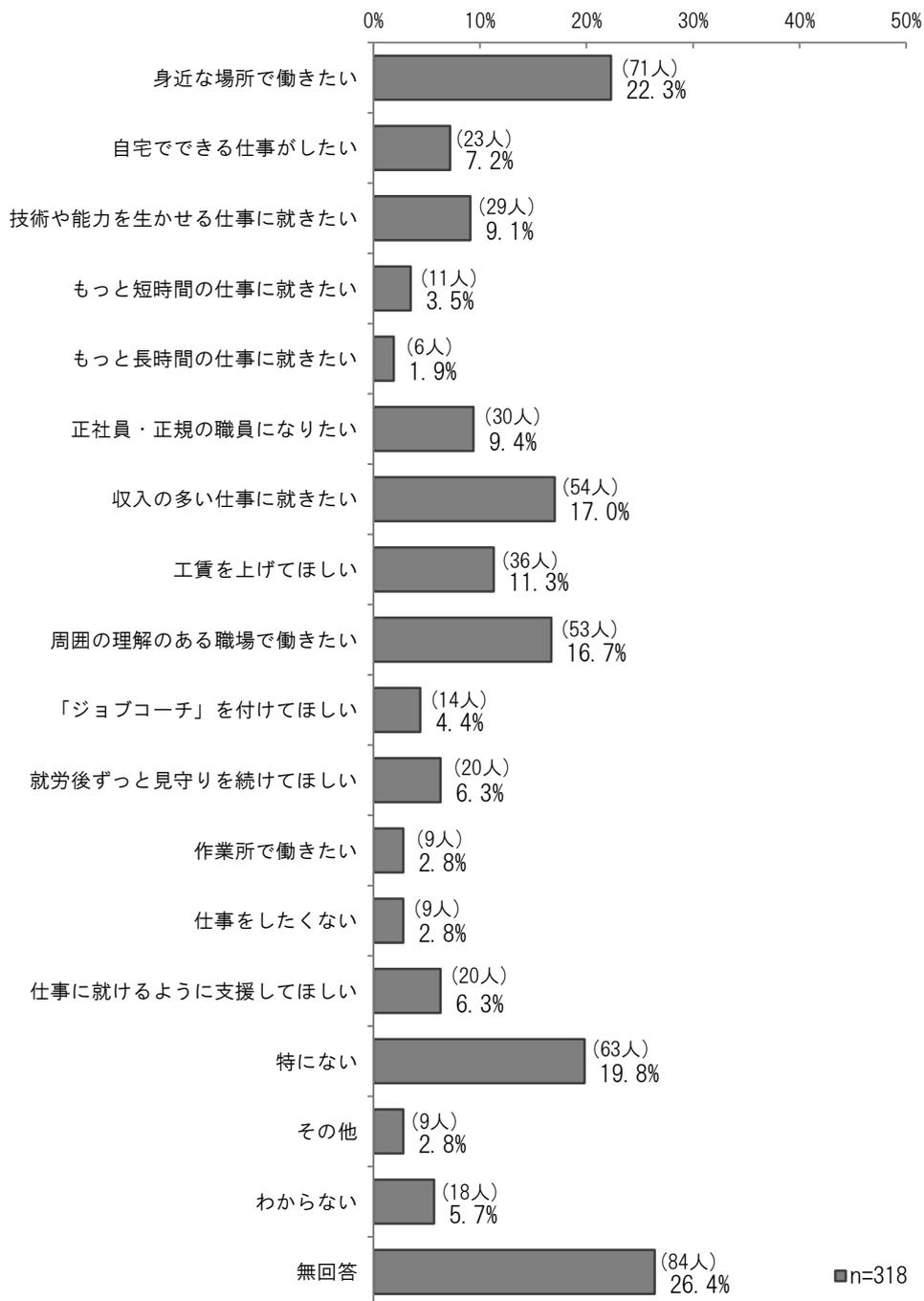
身体障害者では「身近な場所で働きたい」(23.5%)、知的障害者では「工賃を上げてほしい」(21.2%)、精神障害者では「身近な場所で働きたい」(38.8%)、「収入の多い仕事に就きたい」(34.7%)、「周囲の理解のある職場で働きたい」(28.6%)、「技術や能力を生かせる仕事に就きたい」及び「仕事に就けるように支援してほしい」(いずれも22.4%)、「正社員・正規の職員になりたい」及び「就労後ずっと見守りを続けてほしい」(いずれも20.4%)で、それぞれ20%を超えています。

図表 21-1 仕事や作業について希望すること（障害者）（複数回答）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	318	162	66	49	38	3
身近な場所で働きたい	71 22.3	38 23.5	8 12.1	19 38.8	6 15.8	0 0.0
自宅でできる仕事がしたい	23 7.2	15 9.3	0 0.0	7 14.3	1 2.6	0 0.0
技術や能力を生かせる仕事に就きたい	29 9.1	14 8.6	2 3.0	11 22.4	2 5.3	0 0.0
もっと短時間の仕事に就きたい	11 3.5	8 4.9	0 0.0	2 4.1	1 2.6	0 0.0
もっと長時間の仕事に就きたい	6 1.9	2 1.2	1 1.5	3 6.1	0 0.0	0 0.0
正社員・正規の職員になりたい	30 9.4	12 7.4	6 9.1	10 20.4	2 5.3	0 0.0
収入の多い仕事に就きたい	54 17.0	26 16.0	5 7.6	17 34.7	6 15.8	0 0.0
工賃を上げてほしい	36 11.3	11 6.8	14 21.2	9 18.4	2 5.3	0 0.0
周囲の理解のある職場で働きたい	53 16.7	21 13.0	12 18.2	14 28.6	6 15.8	0 0.0
「ジョブコーチ」を付けてほしい	14 4.4	4 2.5	2 3.0	6 12.2	2 5.3	0 0.0
就労後ずっと見守りを続けてほしい	20 6.3	2 1.2	5 7.6	10 20.4	3 7.9	0 0.0
作業所で働きたい	9 2.8	1 0.6	2 3.0	2 4.1	4 10.5	0 0.0
仕事をしたくない	9 2.8	3 1.9	1 1.5	4 8.2	1 2.6	0 0.0
仕事に就けるように支援してほしい	20 6.3	5 3.1	1 1.5	11 22.4	3 7.9	0 0.0
特にない	63 19.8	44 27.2	10 15.2	3 6.1	5 13.2	1 33.3
その他	9 2.8	5 3.1	2 3.0	0 0.0	2 5.3	0 0.0
わからない	18 5.7	5 3.1	9 13.6	0 0.0	3 7.9	1 33.3
無回答	84 26.4	40 24.7	19 28.8	11 22.4	13 34.2	1 33.3

図表 21-2 仕事や作業について希望すること（障害者；全体）（複数回答）



【障害者調査】

問 どれくらいの期間、現在の仕事を継続して行っていますか。また、継続して行えた理由は何ですか。

※主な日中の過ごし方について、「1 正職員として働いている」「2 正職員以外（アルバイト、パート契約社員、派遣社員、日雇い等）」「3 自営業をしている（家の仕事を手伝っている）」「4 障害者のための通所サービスを利用している」の回答者のみ

現在の仕事を継続して行っている期間は、全体で「3年以上」が52.2%で最も高く、次いで、「1年以上2年未満」が7.9%となっています。また、「3ヶ月未満」が最も多いのは精神障害者で18.4%となっています。

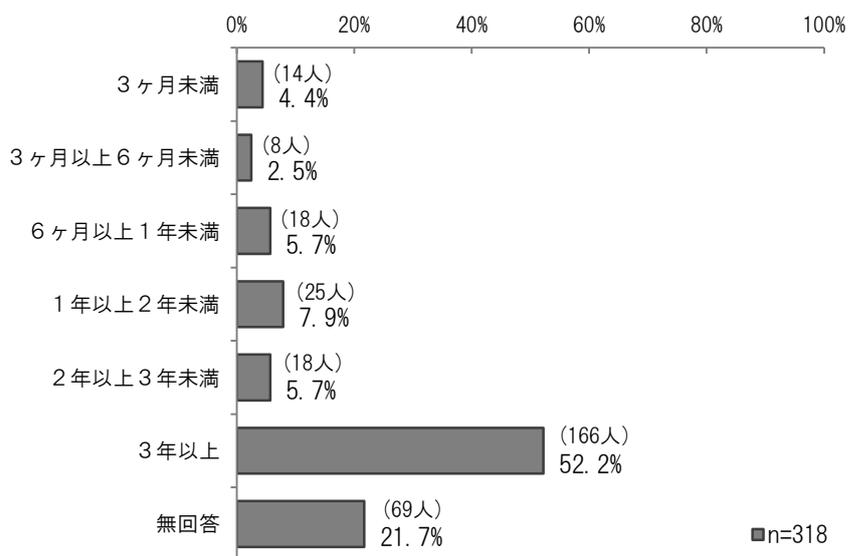
現在の仕事を継続して行えた理由は、全体で「職場の理解がある」が30.8%で最も高く、次いで「自分の技術や能力が生かせる仕事である」が24.8%となっています。また、身体障害者では「自宅でできる仕事である」(9.3%)が他の障害より高く、知的障害者では「職場の理解がある」(36.4%)が30%を超えています。精神障害者では、「職場の理解がある」(49.0%)が約50%となっており、「労働時間が短い」(28.6%)、「自分の技術や能力が生かせる仕事である」(26.5%)、「やりがいのある仕事である」及び「職場の場所が自宅に近い」(いずれも24.5%)が、それぞれ20%を超えています。

図表 22.1-1 現在の仕事を継続して行っている期間（障害者）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	318	162	66	49	38	3
3ヶ月未満	14 4.4	2 1.2	2 3.0	9 18.4	1 2.6	0 0.0
3ヶ月以上6ヶ月未満	8 2.5	3 1.9	1 1.5	3 6.1	1 2.6	0 0.0
6ヶ月以上1年未満	18 5.7	10 6.2	4 6.1	4 8.2	0 0.0	0 0.0
1年以上2年未満	25 7.9	11 6.8	6 9.1	6 12.2	2 5.3	0 0.0
2年以上3年未満	18 5.7	6 3.7	3 4.5	4 8.2	4 10.5	1 33.3
3年以上	166 52.2	100 61.7	32 48.5	15 30.6	18 47.4	1 33.3
無回答	69 21.7	30 18.5	18 27.3	8 16.3	12 31.6	1 33.3

図表 22.1-2 現在の仕事を継続して行っている期間（障害者；全体）

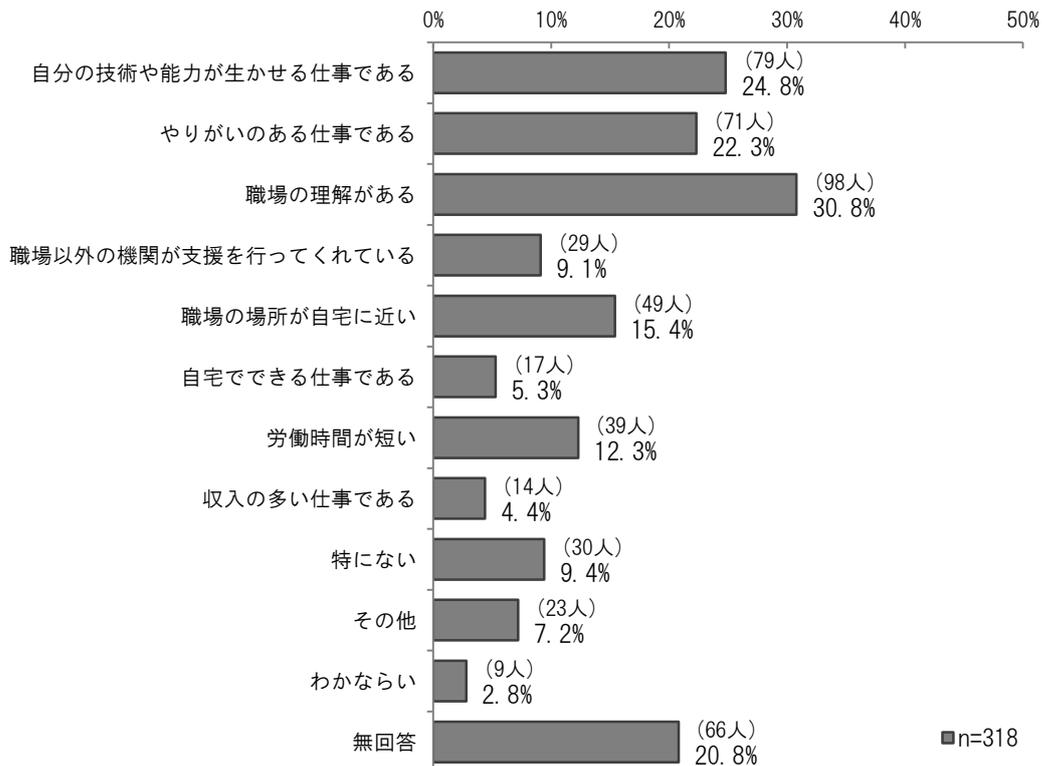


図表 22.2-1 継続して行えた理由（障害者）（複数回答）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	318	162	66	49	38	3
自分の技術や能力が生かせる仕事である	79 24.8	52 32.1	6 9.1	13 26.5	8 21.1	0 0.0
やりがいのある仕事である	71 22.3	40 24.7	9 13.6	12 24.5	9 23.7	1 33.3
職場の理解がある	98 30.8	38 23.5	24 36.4	24 49.0	12 31.6	0 0.0
職場以外の機関が支援を行っている	29 9.1	6 3.7	11 16.7	8 16.3	4 10.5	0 0.0
職場の場所が自宅に近い	49 15.4	22 13.6	8 12.1	12 24.5	6 15.8	1 33.3
自宅でできる仕事である	17 5.3	15 9.3	0 0.0	1 2.0	1 2.6	0 0.0
労働時間が短い	39 12.3	14 8.6	4 6.1	14 28.6	7 18.4	0 0.0
収入の多い仕事である	14 4.4	8 4.9	2 3.0	3 6.1	1 2.6	0 0.0
特にない	30 9.4	19 11.7	6 9.1	3 6.1	1 2.6	1 33.3
その他	23 7.2	10 6.2	6 9.1	4 8.2	3 7.9	0 0.0
わからない	9 2.8	2 1.2	1 1.5	2 4.1	4 10.5	0 0.0
無回答	66 20.8	30 18.5	19 28.8	8 16.3	8 21.1	1 33.3

図表 22.2-2 継続して行えた理由（障害者；全体）（複数回答）



【障害者調査】

問 主に日中を家庭内で過ごしている理由は何ですか。

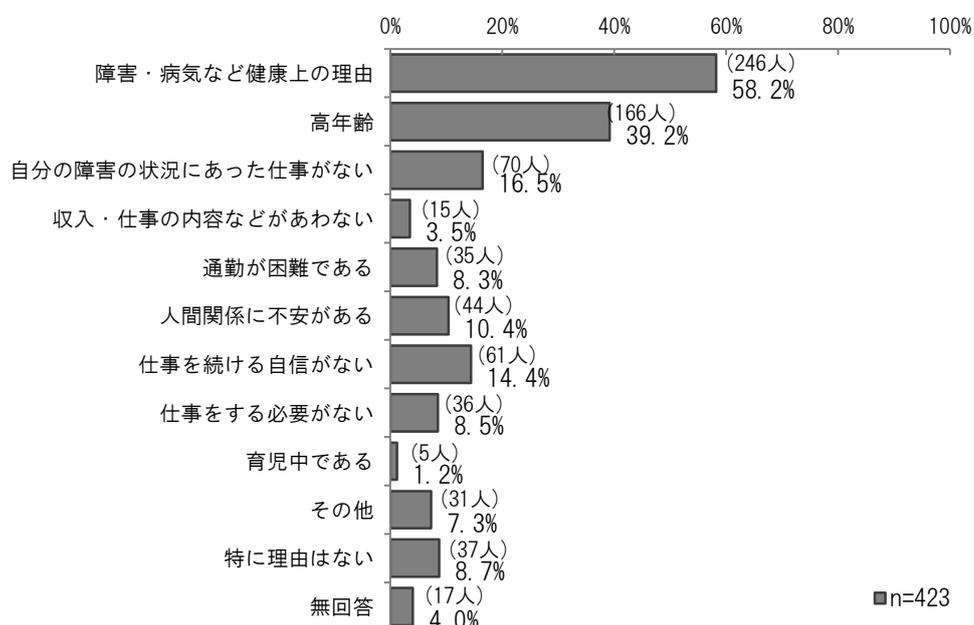
全体で「障害・病気など健康上の理由」が 58.2%で最も高く、次いで「高年齢」が 39.2%となっています。また、身体障害者では「障害・病気など健康上の理由」が 55.4%、知的障害者では、「人間関係に不安がある」が 36.4%、精神障害者では「障害・病気など健康上の理由」が 74.1%で、それぞれ最も高くなっています。

図表 23-1 家庭内で過ごしている理由（障害者）（複数回答）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	423	289	11	58	53	12
障害・病気など健康上の理由	246 58.2	160 55.4	2 18.2	43 74.1	31 58.5	10 83.3
高年齢	166 39.2	136 47.1	0 0.0	9 15.5	17 32.1	4 33.3
自分の障害の状況にあった仕事がない	70 16.5	40 13.8	3 27.3	16 27.6	8 15.1	3 25.0
収入・仕事の内容などがあわない	15 3.5	5 1.7	0 0.0	7 12.1	3 5.7	0 0.0
通勤が困難である	35 8.3	20 6.9	1 9.1	7 12.1	7 13.2	0 0.0
人間関係に不安がある	44 10.4	4 1.4	4 36.4	27 46.6	6 11.3	3 25.0
仕事を続ける自信がない	61 14.4	22 7.6	2 18.2	25 43.1	11 20.8	1 8.3
仕事をする必要がない	36 8.5	29 10.0	0 0.0	5 8.6	2 3.8	0 0.0
育児中である	5 1.2	1 0.3	0 0.0	4 6.9	0 0.0	0 0.0
その他	31 7.3	16 5.5	1 9.1	9 15.5	5 9.4	0 0.0
特に理由はない	37 8.7	27 9.3	2 18.2	1 1.7	7 13.2	0 0.0
無回答	17 4.0	10 3.5	2 18.2	3 5.2	2 3.8	0 0.0

図表 23-2 家庭内で過ごしている理由（障害者；全体）（複数回答）



6 外出について

【障害者調査】 【障害児調査】

問 外出のとき、困ることがありますか。特に市内のことについてお答えください。

障害者では、全体で「駅や建物に階段や段差が多い」が29.7%で最も高く、次いで「道路の段差、路面のでこぼこが多い」が26.3%となっています。また、「特に不便や困ることはない」は、24.0%となっています。身体障害者では、「駅や建物に階段や段差が多い」(37.2%)及び「道路の段差、路面のでこぼこが多い」(31.0%)でいずれも30%を超えており、知的障害者では、「人と話すのがむずかしい」(22.7%)が20%を超えています。

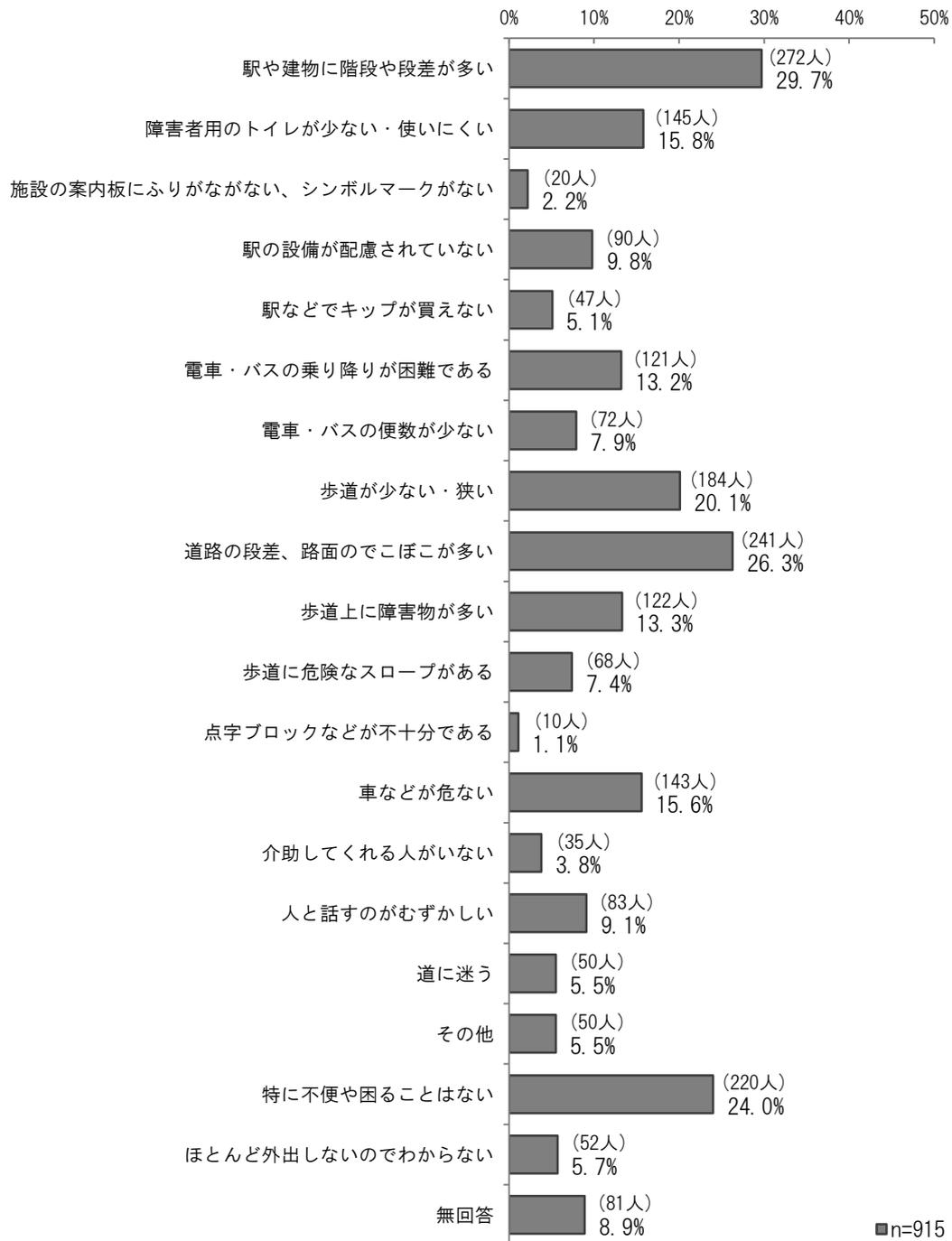
障害児では、全体で「車などが危ない」が39.8%で最も高く、次いで「歩道が少ない・狭い」が29.0%、「人と話すのがむずかしい」が27.2%となっています。

図表 24.1-1 市内を外出する際に困ること（障害者）（複数回答）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
駅や建物に階段や段差が多い	272 29.7	210 37.2	13 14.8	15 12.9	30 24.8	4 15.4
障害者用のトイレが少ない・使いにくい	145 15.8	110 19.5	9 10.2	7 6.0	14 11.6	5 19.2
施設の案内板にふりがながない、シンボルマークがない	20 2.2	10 1.8	5 5.7	2 1.7	3 2.5	0 0.0
駅の設備が配慮されていない	90 9.8	73 12.9	4 4.5	4 3.4	9 7.4	0 0.0
駅などでキップが買えない	47 5.1	22 3.9	12 13.6	2 1.7	7 5.8	4 15.4
電車・バスの乗り降りが困難である	121 13.2	88 15.6	6 6.8	11 9.5	16 13.2	0 0.0
電車・バスの便数が少ない	72 7.9	43 7.6	6 6.8	14 12.1	8 6.6	1 3.8
歩道が少ない・狭い	184 20.1	114 20.2	15 17.0	30 25.9	21 17.4	4 15.4
道路の段差、路面のでこぼこが多い	241 26.3	175 31.0	10 11.4	21 18.1	30 24.8	5 19.2
歩道上に障害物が多い	122 13.3	85 15.1	4 4.5	14 12.1	17 14.0	2 7.7
歩道に危険なスロープがある	68 7.4	51 9.0	4 4.5	4 3.4	6 5.0	3 11.5
点字ブロックなどが不十分である	10 1.1	9 1.6	0 0.0	0 0.0	1 0.8	0 0.0
車などが危ない	143 15.6	79 14.0	17 19.3	26 22.4	20 16.5	1 3.8
介助してくれる人がいない	35 3.8	23 4.1	2 2.3	5 4.3	5 4.1	0 0.0
人と話すのがむずかしい	83 9.1	26 4.6	20 22.7	21 18.1	16 13.2	0 0.0
道に迷う	50 5.5	16 2.8	9 10.2	15 12.9	8 6.6	2 7.7
その他	50 5.5	28 5.0	1 1.1	11 9.5	9 7.4	1 3.8
特に不便や困ることはない	220 24.0	130 23.0	22 25.0	34 29.3	27 22.3	7 26.9
ほとんど外出しないのでわからない	52 5.7	33 5.9	5 5.7	2 1.7	10 8.3	2 7.7
無回答	81 8.9	46 8.2	8 9.1	4 3.4	19 15.7	4 15.4

図表 24.1-2 市内を外出する際に困ること（障害者；全体）（複数回答）

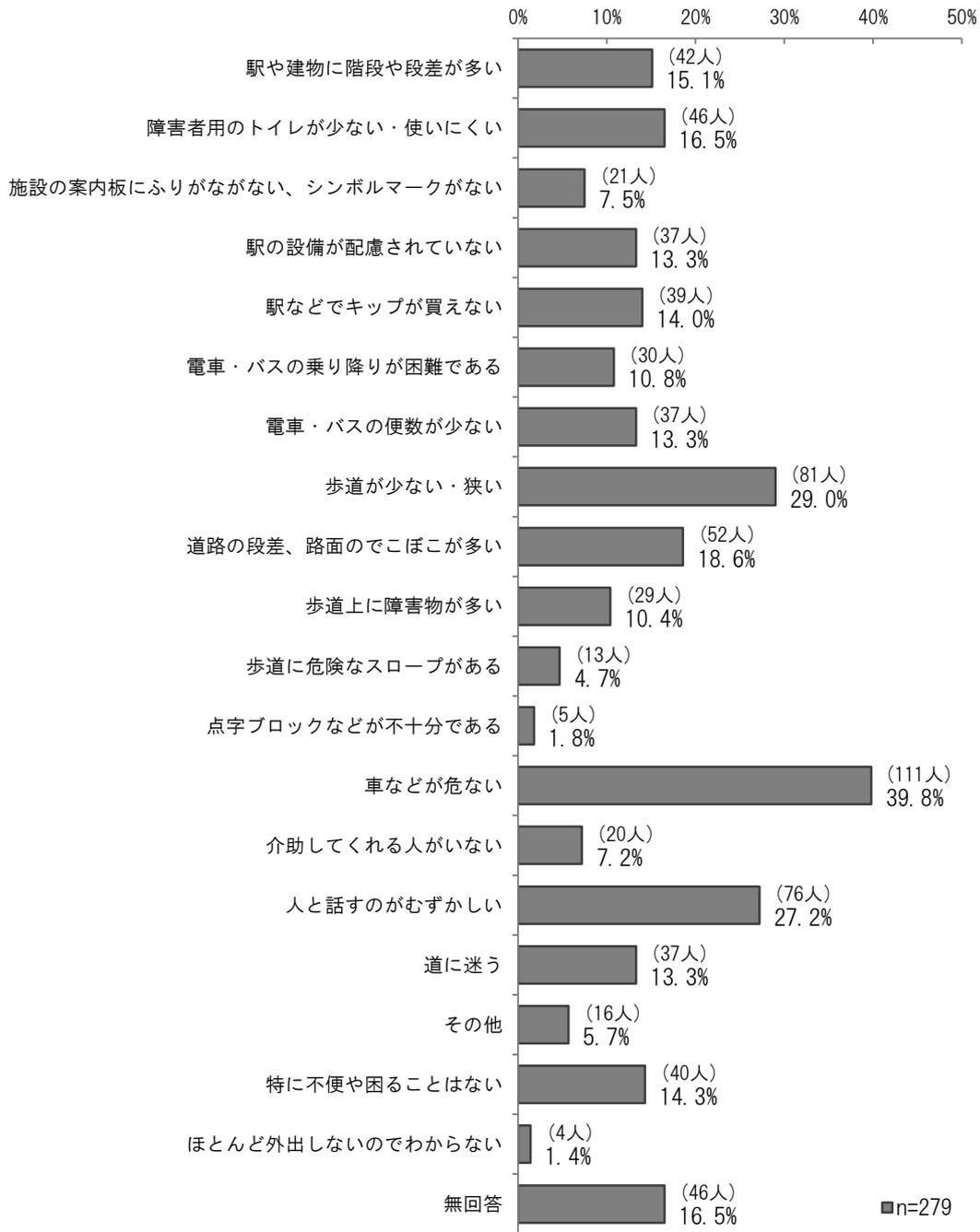


図表 24.2-1 市内を外出する際に困ること（障害児）（複数回答）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
駅や建物に階段や段差が多い	42 15.1	14 22.2	12 7.6	0 0.0	16 42.1	0 0.0
障害者用のトイレが少ない・使いにくい	46 16.5	13 20.6	20 12.7	1 8.3	12 31.6	0 0.0
施設の案内板にふりがながない、シンボルマークがない	21 7.5	4 6.3	12 7.6	1 8.3	3 7.9	1 11.1
駅の設備が配慮されていない	37 13.3	11 17.5	14 8.9	2 16.7	10 26.3	0 0.0
駅などでキップが買えない	39 14.0	2 3.2	28 17.8	0 0.0	8 21.1	1 11.1
電車・バスの乗り降りが困難である	30 10.8	10 15.9	10 6.4	1 8.3	8 21.1	1 11.1
電車・バスの便数が少ない	37 13.3	7 11.1	18 11.5	3 25.0	7 18.4	2 22.2
歩道が少ない・狭い	81 29.0	17 27.0	48 30.6	1 8.3	14 36.8	1 11.1
道路の段差、路面のこぼこが多い	52 18.6	13 20.6	24 15.3	0 0.0	15 39.5	0 0.0
歩道上に障害物が多い	29 10.4	10 15.9	13 8.3	0 0.0	6 15.8	0 0.0
歩道に危険なスロープがある	13 4.7	6 9.5	4 2.5	0 0.0	3 7.9	0 0.0
点字ブロックなどが不十分である	5 1.8	2 3.2	2 1.3	0 0.0	1 2.6	0 0.0
車などが危ない	111 39.8	19 30.2	70 44.6	5 41.7	15 39.5	2 22.2
介助してくれる人がいない	20 7.2	1 1.6	16 10.2	0 0.0	3 7.9	0 0.0
人と話すのがむずかしい	76 27.2	8 12.7	51 32.5	4 33.3	12 31.6	1 11.1
道に迷う	37 13.3	2 3.2	29 18.5	4 33.3	2 5.3	0 0.0
その他	16 5.7	1 1.6	11 7.0	1 8.3	2 5.3	1 11.1
特に不便や困ることはない	40 14.3	11 17.5	24 15.3	3 25.0	0 0.0	2 22.2
ほとんど外出しないのでわからない	4 1.4	1 1.6	2 1.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0
無回答	46 16.5	15 23.8	20 12.7	0 0.0	8 21.1	3 33.3

図表 24. 2-2 市内を外出する際に困ること（障害児；全体）（複数回答）



7 地域活動や文化・スポーツ活動、交流などについて

【障害者調査】 【障害児調査】

問 この1年間に、あなたは、趣味や学習、スポーツなどの活動をしましたか。

障害者では、全体で「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・観戦」が26.8%、「泊まりがけの旅行」が23.8%、「趣味の活動」が22.5%となっています。また、「特にしなかった」は、35.1%となっています。

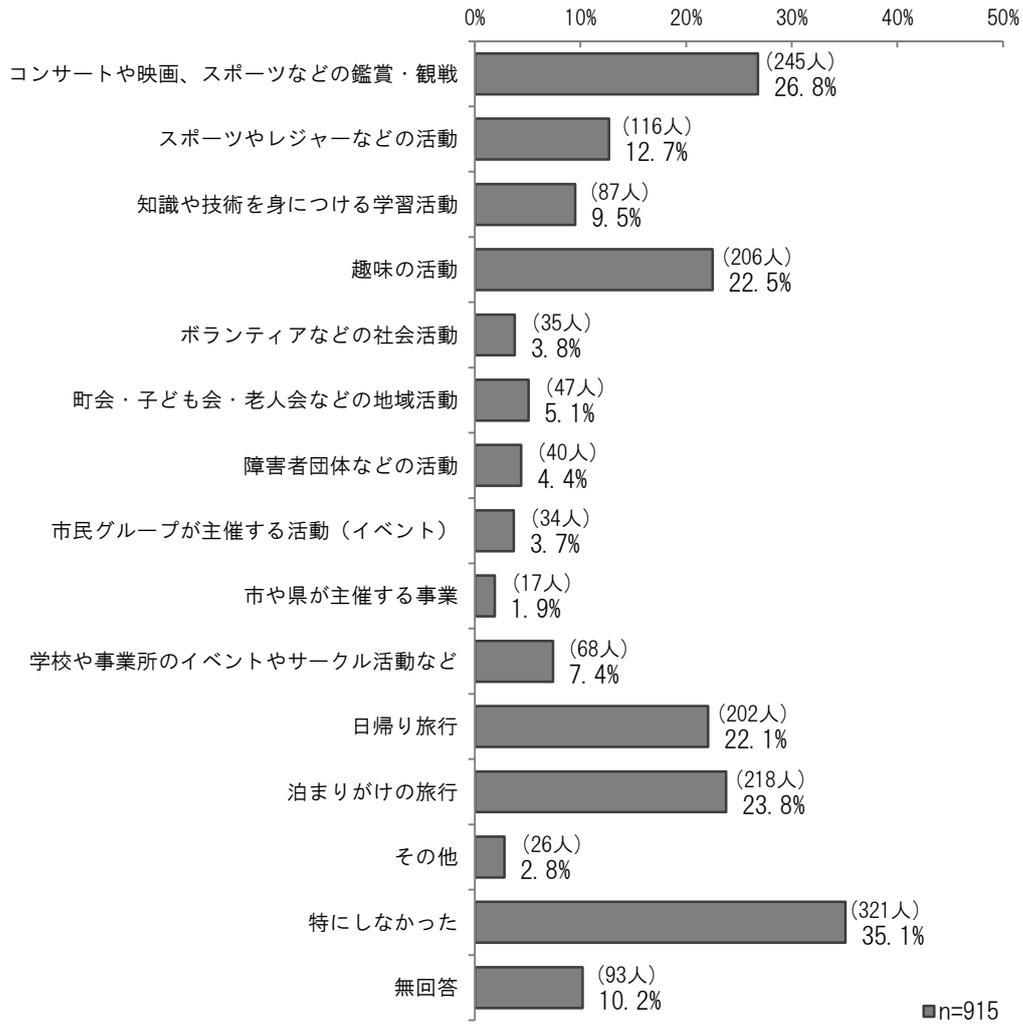
知的障害者では、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・観戦」(36.4%)及び「学校や事業所のイベントやサークル活動など」(26.1%)、精神障害者では、「趣味の活動」(35.3%)、「知識や技術を身につける学習活動」(21.6%)、「障害者団体などの活動」(10.3%)で、それぞれ他の障害より高くなっています。

障害児では、全体で「学校や事業所のイベントやサークル活動など」が57.7%で最も高く、次いで、「泊まりがけの旅行」が51.6%、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・観戦」が38.4%、「スポーツやレジャーなどの活動」が36.6%となっています。また、「特にしなかった」は、11.1%となっています。

図表 25.1-1 1年間に行った趣味や学習、スポーツなどの活動(障害者)(複数回答) 上段:人/下段:%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者(人)	915	564	88	116	121	26
1. コン서트や映画、スポーツなどの鑑賞・観戦	245 26.8	150 26.6	32 36.4	39 33.6	22 18.2	2 7.7
2. スポーツやレジャーなどの活動	116 12.7	70 12.4	13 14.8	23 19.8	8 6.6	2 7.7
3. 知識や技術を身につける学習活動	87 9.5	52 9.2	5 5.7	25 21.6	4 3.3	1 3.8
4. 趣味の活動	206 22.5	126 22.3	19 21.6	41 35.3	17 14.0	3 11.5
5. ボランティアなどの社会活動	35 3.8	22 3.9	4 4.5	7 6.0	2 1.7	0 0.0
6. 町会・子ども会・老人会などの地域活動	47 5.1	37 6.6	3 3.4	3 2.6	4 3.3	0 0.0
7. 障害者団体などの活動	40 4.4	14 2.5	7 8.0	12 10.3	7 5.8	0 0.0
8. 市民グループが主催する活動(イベント)	34 3.7	22 3.9	2 2.3	7 6.0	3 2.5	0 0.0
9. 市や県が主催する事業	17 1.9	14 2.5	0 0.0	2 1.7	1 0.8	0 0.0
10. 学校や事業所のイベントやサークル活動など	68 7.4	25 4.4	23 26.1	8 6.9	11 9.1	1 3.8
11. 日帰り旅行	202 22.1	133 23.6	24 27.3	19 16.4	23 19.0	3 11.5
12. 泊まりがけの旅行	218 23.8	156 27.7	20 22.7	19 16.4	21 17.4	2 7.7
13. その他	26 2.8	17 3.0	0 0.0	6 5.2	2 1.7	1 3.8
14. 特にしなかった	321 35.1	201 35.6	21 23.9	37 31.9	50 41.3	12 46.2
無回答	93 10.2	57 10.1	6 6.8	4 3.4	21 17.4	5 19.2

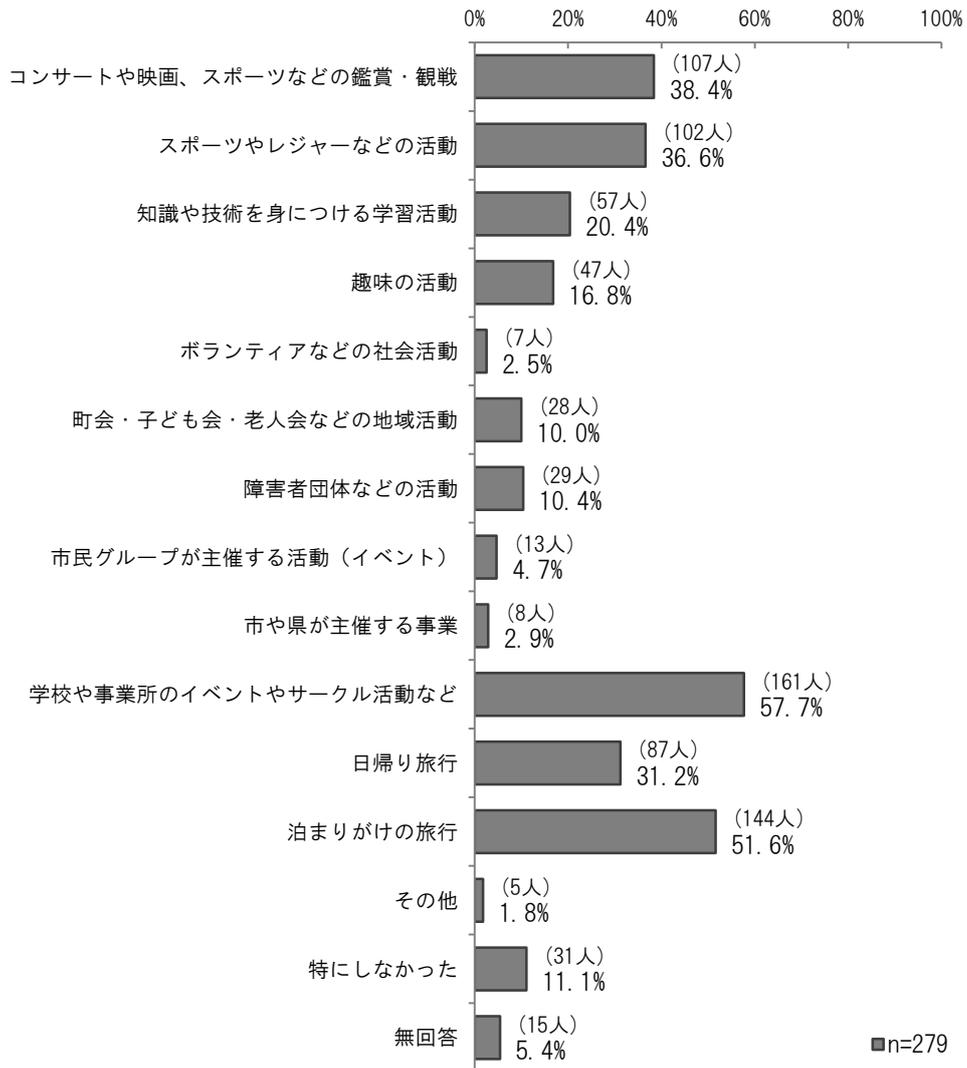
図表 25.1-2 1年間に行った趣味や学習、スポーツなどの活動（障害者；全体）（複数回答）



図表 25.2-1 1年間に行った趣味や学習、スポーツなどの活動（障害児）（複数回答） 上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
1. コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞・観戦	107	36	50	6	11	4
	38.4	57.1	31.8	50.0	28.9	44.4
2. スポーツやレジャーなどの活動	102	28	56	6	9	3
	36.6	44.4	35.7	50.0	23.7	33.3
3. 知識や技術を身につける学習活動	57	17	30	3	6	1
	20.4	27.0	19.1	25.0	15.8	11.1
4. 趣味の活動	47	13	27	2	4	1
	16.8	20.6	17.2	16.7	10.5	11.1
5. ボランティアなどの社会活動	7	2	3	2	0	0
	2.5	3.2	1.9	16.7	0.0	0.0
6. 町会・子ども会・老人会などの地域活動	28	12	14	0	2	0
	10.0	19.0	8.9	0.0	5.3	0.0
7. 障害者団体などの活動	29	5	18	0	6	0
	10.4	7.9	11.5	0.0	15.8	0.0
8. 市民グループが主催する活動（イベント）	13	4	7	0	1	1
	4.7	6.3	4.5	0.0	2.6	11.1
9. 市や県が主催する事業	8	1	6	0	1	0
	2.9	1.6	3.8	0.0	2.6	0.0
10. 学校や事業所のイベントやサークル活動など	161	34	96	8	19	4
	57.7	54.0	61.1	66.7	50.0	44.4
11. 日帰り旅行	87	22	47	4	13	1
	31.2	34.9	29.9	33.3	34.2	11.1
12. 泊まりがけの旅行	144	42	70	7	21	4
	51.6	66.7	44.6	58.3	55.3	44.4
13. その他	5	1	3	0	1	0
	1.8	1.6	1.9	0.0	2.6	0.0
14. 特にしなかった	31	3	20	2	4	2
	11.1	4.8	12.7	16.7	10.5	22.2
無回答	15	3	9	0	3	0
	5.4	4.8	5.7	0.0	7.9	0.0

図表 25.2-2 1年間に行った趣味や学習、スポーツなどの活動（障害児；全体）（複数回答）



8 障害のある人への差別や偏見について

【障害者調査】 【障害児調査】

問 あなたは、障害があることが原因で、日常生活の中で下記のような人権を損なう扱いを受けた経験がありますか。

障害者では、「特にない」(61.7%)を除くと、全体で「希望する仕事に就けなかった」が8.7%で最も高く、次いで「職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い」が6.9%、「障害を理由に退職を迫られた」が5.4%となっています。

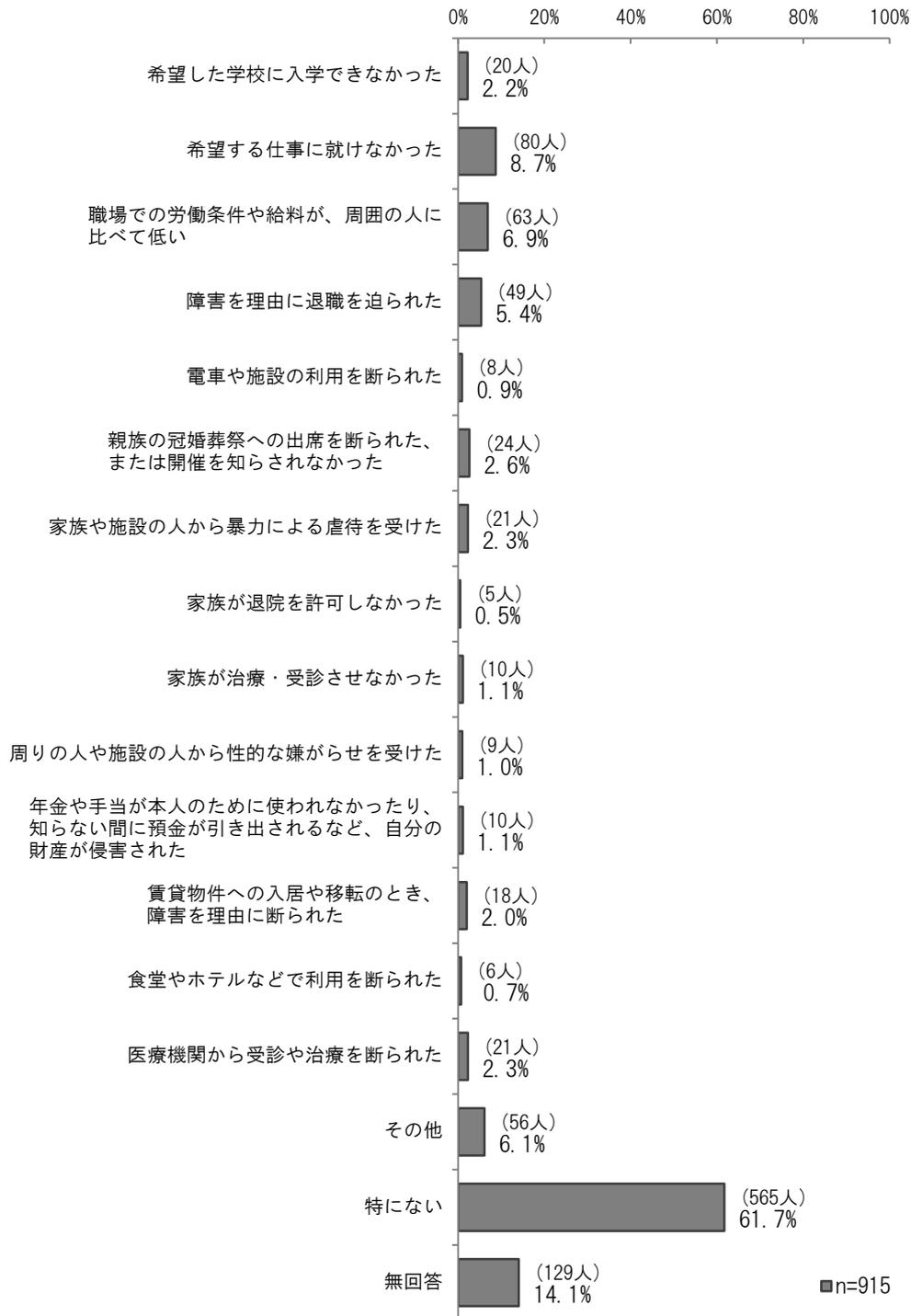
障害児では、全体で「医療機関から受診や治療を断られた」が7.9%、「希望した学校に入学できなかった」が6.1%となっています。また、「特にない」が61.3%となっています。

図表 26.1-1 人権を損なう扱いを受けた経験（障害者）（複数回答）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
希望した学校に入学できなかった	20 2.2	6 1.1	7 8.0	3 2.6	4 3.3	0 0.0
希望する仕事に就けなかった	80 8.7	34 6.0	7 8.0	25 21.6	13 10.7	1 3.8
職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い	63 6.9	31 5.5	9 10.2	12 10.3	11 9.1	0 0.0
障害を理由に退職を迫られた	49 5.4	18 3.2	5 5.7	20 17.2	5 4.1	1 3.8
電車や施設の利用を断られた	8 0.9	3 0.5	0 0.0	2 1.7	3 2.5	0 0.0
親族の冠婚葬祭への出席を断られた、または開催を知らされなかった	24 2.6	6 1.1	4 4.5	11 9.5	3 2.5	0 0.0
家族や施設の人から暴力による虐待を受けた	21 2.3	3 0.5	2 2.3	11 9.5	5 4.1	0 0.0
家族が退院を許可しなかった	5 0.5	1 0.2	0 0.0	4 3.4	0 0.0	0 0.0
家族が治療・受診させなかった	10 1.1	1 0.2	1 1.1	8 6.9	0 0.0	0 0.0
周りの人や施設の人から性的な嫌がらせを受けた	9 1.0	2 0.4	1 1.1	4 3.4	2 1.7	0 0.0
年金や手当が本人のために使われなかったり、知らない間に預金が引き出されるなど、自分の財産が侵害された	10 1.1	3 0.5	0 0.0	6 5.2	1 0.8	0 0.0
賃貸物件への入居や移転のとき、障害を理由に断られた	18 2.0	6 1.1	0 0.0	10 8.6	2 1.7	0 0.0
食堂やホテルなどで利用を断られた	6 0.7	3 0.5	0 0.0	1 0.9	2 1.7	0 0.0
医療機関から受診や治療を断られた	21 2.3	6 1.1	4 4.5	6 5.2	5 4.1	0 0.0
その他	56 6.1	17 3.0	8 9.1	21 18.1	10 8.3	0 0.0
特にない	565 61.7	392 69.5	45 51.1	50 43.1	61 50.4	17 65.4
無回答	129 14.1	79 14.0	11 12.5	6 5.2	26 21.5	7 26.9

図表 26.1-2 人権を損なう扱いを受けた経験（障害者；全体）（複数回答）

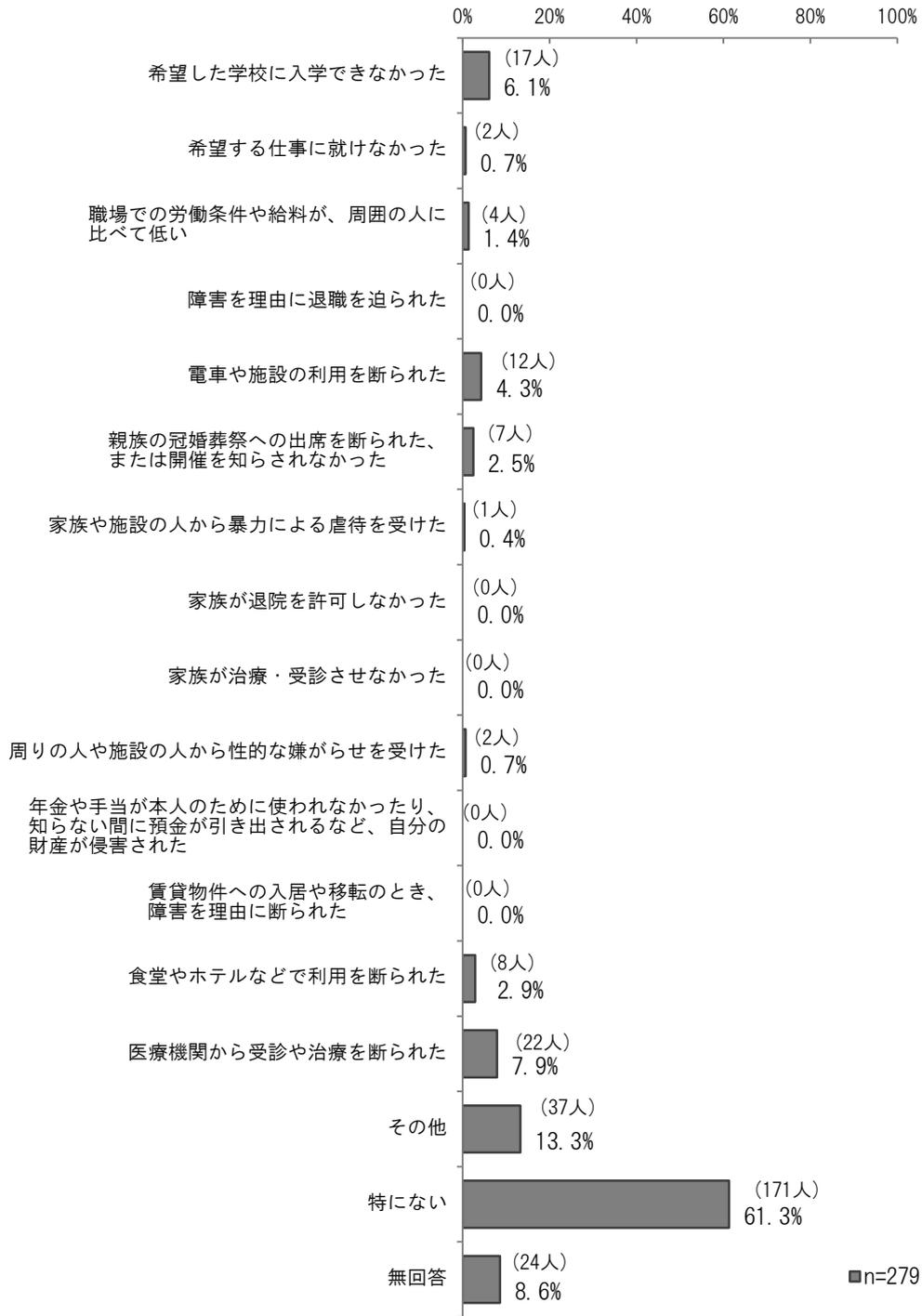


図表 26.2-1 人権を損なう扱いを受けた経験（障害児）（複数回答）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
希望した学校に入学できなかった	17 6.1	4 6.3	9 5.7	1 8.3	3 7.9	0 0.0
希望する仕事に就けなかった	2 0.7	0 0.0	2 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて低い	4 1.4	0 0.0	3 1.9	1 8.3	0 0.0	0 0.0
障害を理由に退職を迫られた	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
電車や施設の利用を断られた	12 4.3	5 7.9	3 1.9	0 0.0	4 10.5	0 0.0
親族の冠婚葬祭への出席を断られた、または開催を知らされなかった	7 2.5	0 0.0	7 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
家族や施設の人から暴力による虐待を受けた	1 0.4	0 0.0	1 0.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
家族が退院を許可しなかった	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
家族が治療・受診させなかった	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
周りの人や施設の人から性的な嫌がらせを受けた	2 0.7	0 0.0	1 0.6	0 0.0	1 2.6	0 0.0
年金や手当が本人のために使われなかったり、知らない間に預金が引き出されるなど、自分の財産が侵害された	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
賃貸物件への入居や移転のとき、障害を理由に断られた	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
食堂やホテルなどで利用を断られた	8 2.9	2 3.2	4 2.5	0 0.0	1 2.6	1 11.1
医療機関から受診や治療を断られた	22 7.9	5 7.9	14 8.9	0 0.0	3 7.9	0 0.0
その他	37 13.3	4 6.3	23 14.6	3 25.0	6 15.8	1 11.1
特にない	171 61.3	45 71.4	92 58.6	8 66.7	20 52.6	6 66.7
無回答	24 8.6	4 6.3	16 10.2	0 0.0	3 7.9	1 11.1

図表 26. 2-2 人権を損なう扱いを受けた経験（障害児；全体）（複数回答）



【障害者調査】 【障害児調査】

問 松戸市では、障害者虐待防止・障害者差別相談センターを設置し、障害者に対する虐待や差別の相談を受け付けています。あなたは、通報・相談窓口※について知っていますか。（どちらかに○）

※障害児の「虐待」に関する通報相談窓口は、柏児童相談所または市の子ども家庭相談課です。

障害者では、全体で「知っている」が18.5%、「知らない」が73.2%となっています。また、知的障害者では、「知っている」が35.2%と、他の障害に比べて高くなっています。

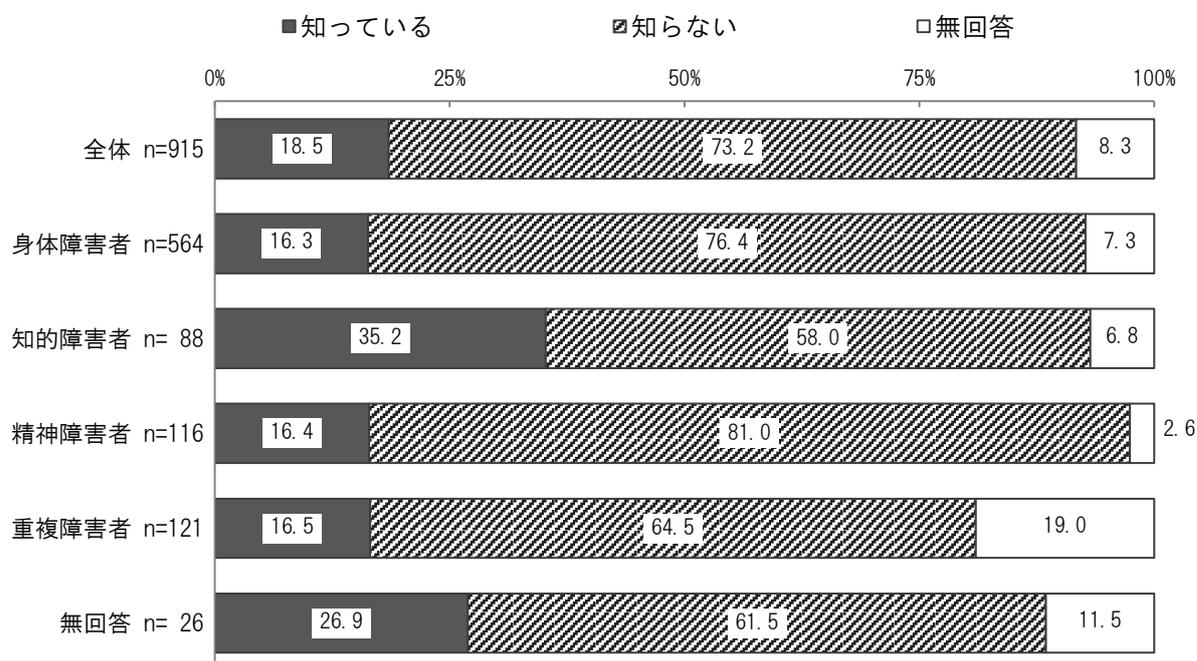
障害児では、全体で「知っている」が36.6%、「知らない」が62.0%となっています。また、重複障害者では、「知っている」が47.4%と、他の障害に比べて高くなっています。

図表 27.1-1 通報・相談窓口についての認知度（障害者）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
知っている	169	92	31	19	20	7
	18.5	16.3	35.2	16.4	16.5	26.9
知らない	670	431	51	94	78	16
	73.2	76.4	58.0	81.0	64.5	61.5
無回答	76	41	6	3	23	3
	8.3	7.3	6.8	2.6	19.0	11.5

図表 27.1-2 通報・相談窓口についての認知度（障害者；全体）

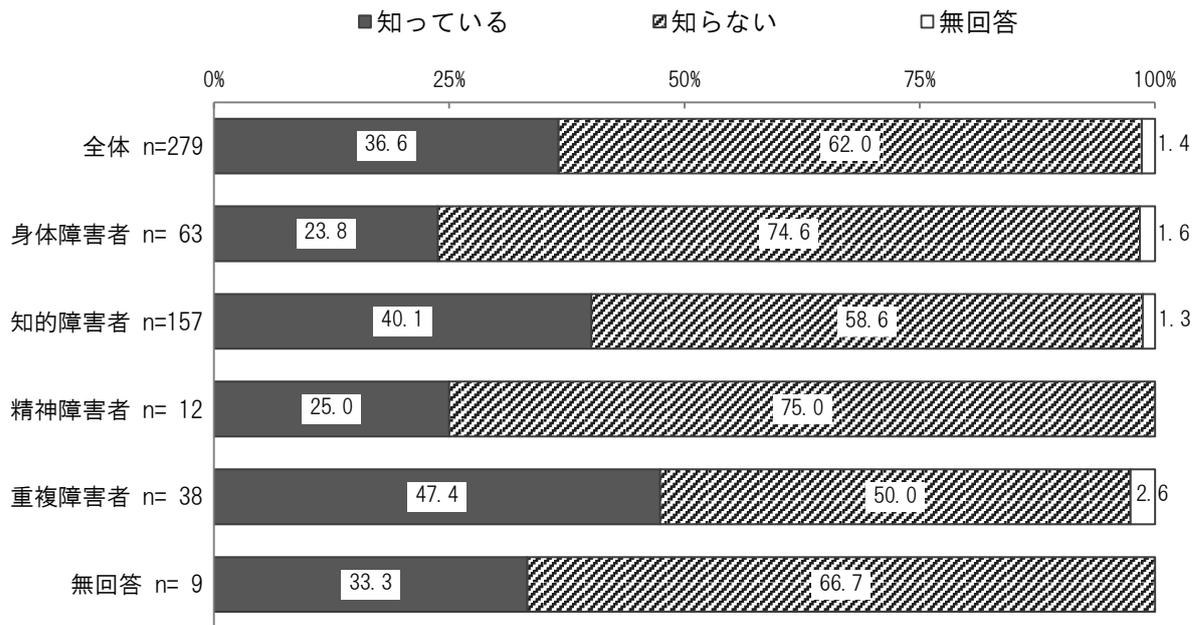


図表 27.2-1 通報・相談窓口についての認知度（障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
知っている	102	15	63	3	18	3
	36.6	23.8	40.1	25.0	47.4	33.3
知らない	173	47	92	9	19	6
	62.0	74.6	58.6	75.0	50.0	66.7
無回答	4	1	2	0	1	0
	1.4	1.6	1.3	0.0	2.6	0.0

図表 27.2-2 通報・相談窓口についての認知度（障害児）



9 災害時の対応について

【障害者調査】 【障害児調査】

問 あなたは、災害時に備えてどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。

障害者では、全体で「避難先での医療・治療体制の整備」が38.8%で最も高く、次いで、「病気・障害の種類ごとの必要に対応した設備やサービス」が27.2%となっています。また、「避難先での医療・治療体制の整備」については、精神障害者（53.4%）及び身体障害者（41.5%）でそれぞれ40%を超えています。知的障害者では、「病気や障害のある人が避難するための地域ぐるみの協力体制の確立」（35.2%）及び「避難先で安心して過ごせる仲間づくりの工夫」（30.7%）が、いずれも他の障害より高くなっています。

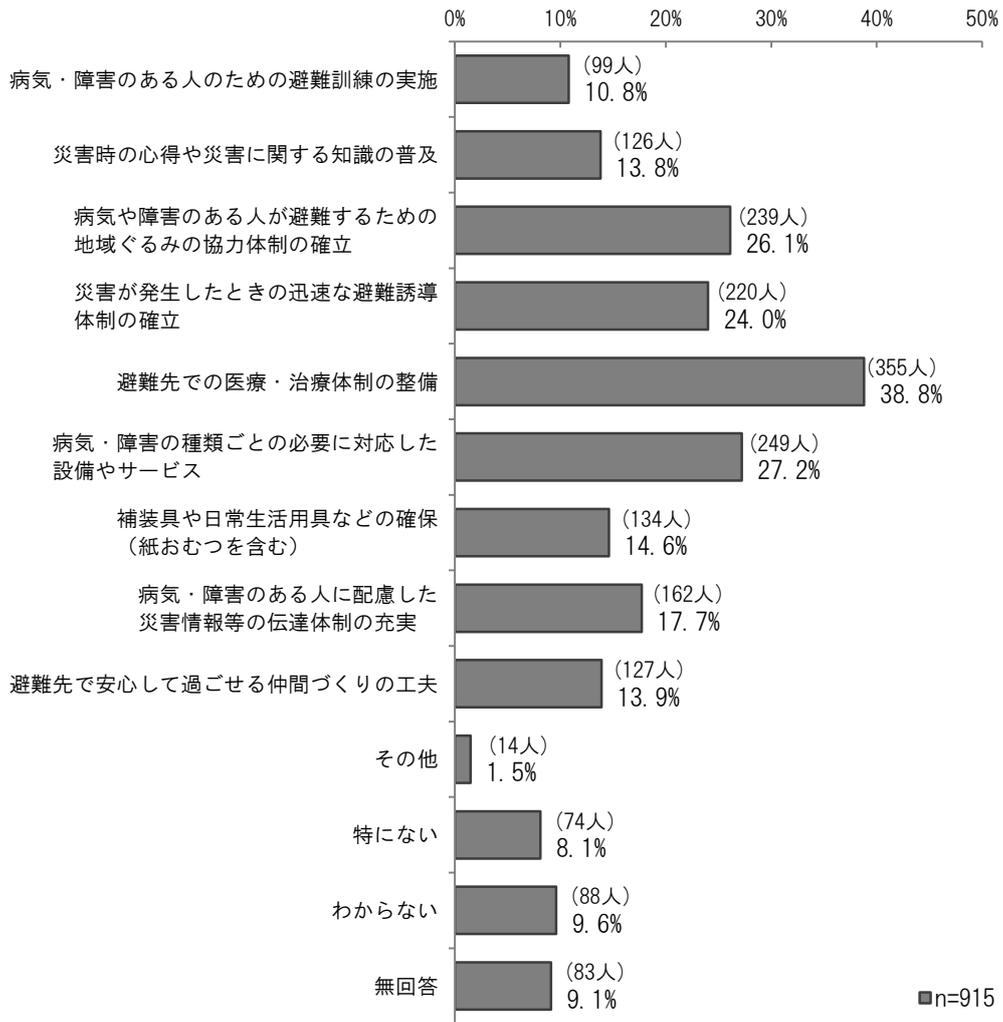
障害児では、全体で「病気・障害の種類ごとの必要に対応した設備やサービス」が49.5%で最も高く、次いで「病気や障害のある人が避難するための地域ぐるみの協力体制の確立」が45.5%、「避難先での医療・治療体制の整備」が41.6%となっています。

図表 28.1-1 災害時に備えて力を入れて欲しいこと（障害者）（複数回答）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
病気・障害のある人のための避難訓練の実施	99 10.8	60 10.6	10 11.4	10 8.6	14 11.6	5 19.2
災害時の心得や災害に関する知識の普及	126 13.8	80 14.2	7 8.0	20 17.2	16 13.2	3 11.5
病気や障害のある人が避難するための地域ぐるみの協力体制の確立	239 26.1	149 26.4	31 35.2	27 23.3	27 22.3	5 19.2
災害が発生したときの迅速な避難誘導体制の確立	220 24.0	136 24.1	20 22.7	38 32.8	18 14.9	8 30.8
避難先での医療・治療体制の整備	355 38.8	234 41.5	21 23.9	62 53.4	33 27.3	5 19.2
病気・障害の種類ごとの必要に対応した設備やサービス	249 27.2	143 25.4	34 38.6	36 31.0	31 25.6	5 19.2
補装具や日常生活用具などの確保（紙おむつを含む）	134 14.6	104 18.4	3 3.4	12 10.3	8 6.6	7 26.9
病気・障害のある人に配慮した災害情報等の伝達体制の充実	162 17.7	98 17.4	21 23.9	24 20.7	15 12.4	4 15.4
避難先で安心して過ごせる仲間づくりの工夫	127 13.9	54 9.6	27 30.7	22 19.0	21 17.4	3 11.5
その他	14 1.5	7 1.2	3 3.4	2 1.7	2 1.7	0 0.0
特にない	74 8.1	51 9.0	2 2.3	7 6.0	12 9.9	2 7.7
わからない	88 9.6	49 8.7	11 12.5	10 8.6	17 14.0	1 3.8
無回答	83 9.1	49 8.7	4 4.5	4 3.4	21 17.4	5 19.2

図表 28.1-2 災害時に備えて力を入れて欲しいこと（障害者；全体）（複数回答）

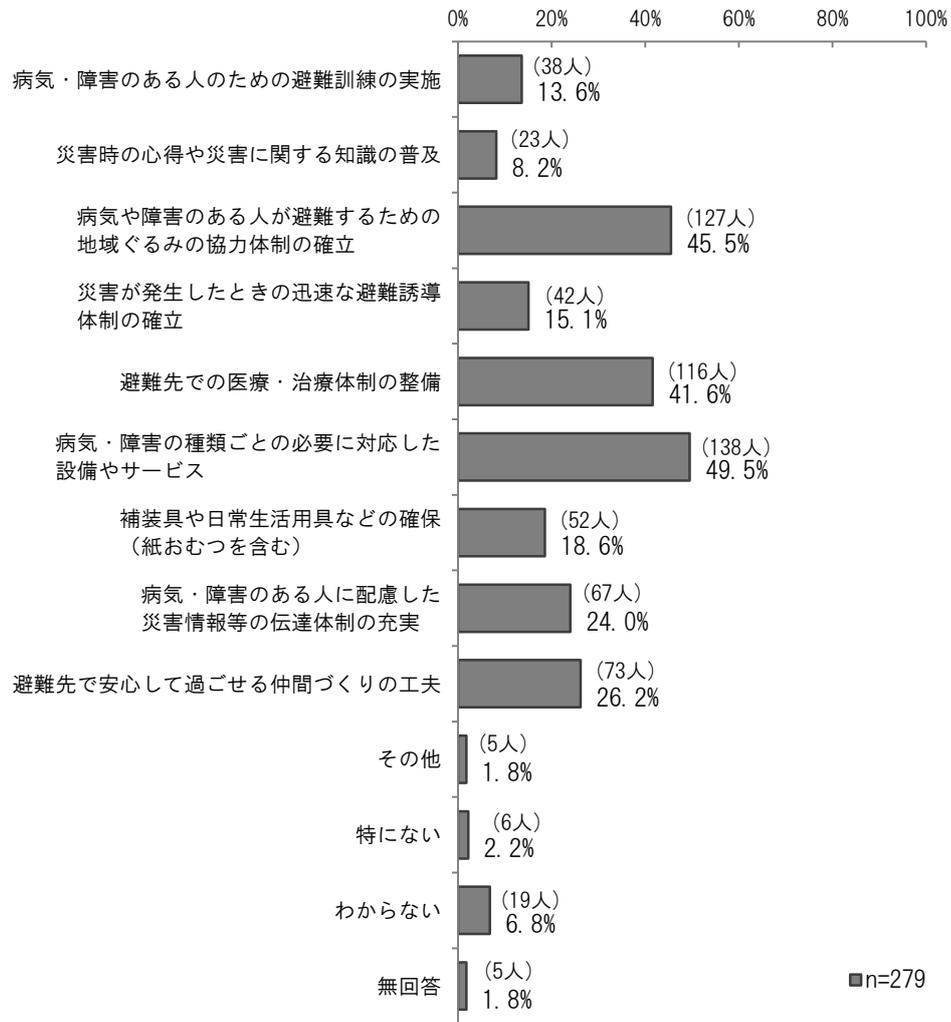


図表 28.2-1 災害時に備えて力を入れて欲しいこと（障害児）（複数回答）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
病気・障害のある人のための避難訓練の実施	38 13.6	10 15.9	20 12.7	2 16.7	5 13.2	1 11.1
災害時の心得や災害に関する知識の普及	23 8.2	5 7.9	12 7.6	3 25.0	2 5.3	1 11.1
病気や障害のある人が避難するための地域ぐるみの協力体制の確立	127 45.5	27 42.9	77 49.0	2 16.7	17 44.7	4 44.4
災害が発生したときの迅速な避難誘導体制の確立	42 15.1	8 12.7	25 15.9	3 25.0	6 15.8	0 0.0
避難先での医療・治療体制の整備	116 41.6	38 60.3	50 31.8	3 25.0	21 55.3	4 44.4
病気・障害の種類ごとの必要に対応した設備やサービス	138 49.5	22 34.9	87 55.4	5 41.7	19 50.0	5 55.6
補装具や日常生活用具などの確保（紙おむつを含む）	52 18.6	21 33.3	16 10.2	0 0.0	15 39.5	0 0.0
病気・障害のある人に配慮した災害情報等の伝達体制の充実	67 24.0	16 25.4	37 23.6	2 16.7	9 23.7	3 33.3
避難先で安心して過ごせる仲間づくりの工夫	73 26.2	9 14.3	49 31.2	4 33.3	9 23.7	2 22.2
その他	5 1.8	3 4.8	1 0.6	1 8.3	0 0.0	0 0.0
特にない	6 2.2	0 0.0	6 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
わからない	19 6.8	1 1.6	12 7.6	1 8.3	3 7.9	2 22.2
無回答	5 1.8	1 1.6	4 2.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0

図表 28. 2-2 災害時に備えて力を入れて欲しいこと（障害児；全体）（複数回答）



【障害者調査】 【障害児調査】

問 あなたは、避難行動要支援者避難支援制度^{*}を知っていますか。

^{*}避難行動要支援者避難制度とは、災害が発生したときに、高齢の方や障害をお持ちの方（避難行動要支援者）で、ひとりで避難することが困難な方に、ご本人の希望に基づき、あらかじめ市の名簿に登録していただき、その名簿を基に災害時等に地域の中で速やかに避難や安否確認等が行われるよう、地域の避難支援等関係者と共有するものです。

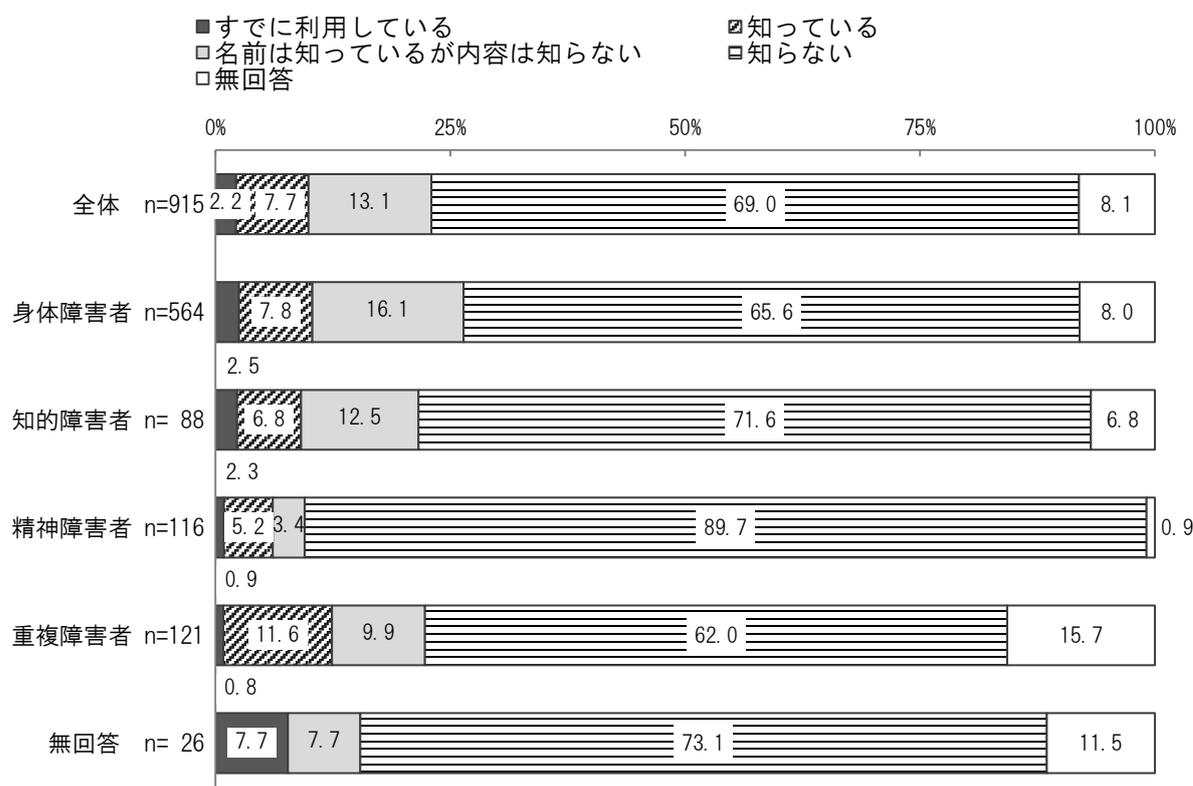
障害者では、全体で「知っている」が7.7%、「名前は知っているが内容は知らない」が13.1%、「知らない」が69.0%となっています。

障害児では、全体で「知っている」が7.5%、「名前は知っているが内容は知らない」が15.8%、「知らない」が65.9%となっています。

図表 29.1-1 避難行動要支援者避難支援制度の認知度（障害者） 上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
すでに利用している	20 2.2	14 2.5	2 2.3	1 0.9	1 0.8	2 7.7
知っている	70 7.7	44 7.8	6 6.8	6 5.2	14 11.6	0 0.0
名前は知っているが内容は知らない	120 13.1	91 16.1	11 12.5	4 3.4	12 9.9	2 7.7
知らない	631 69.0	370 65.6	63 71.6	104 89.7	75 62.0	19 73.1
無回答	74 8.1	45 8.0	6 6.8	1 0.9	19 15.7	3 11.5

図表 29.1-2 避難行動要支援者避難支援制度の認知度（障害者）

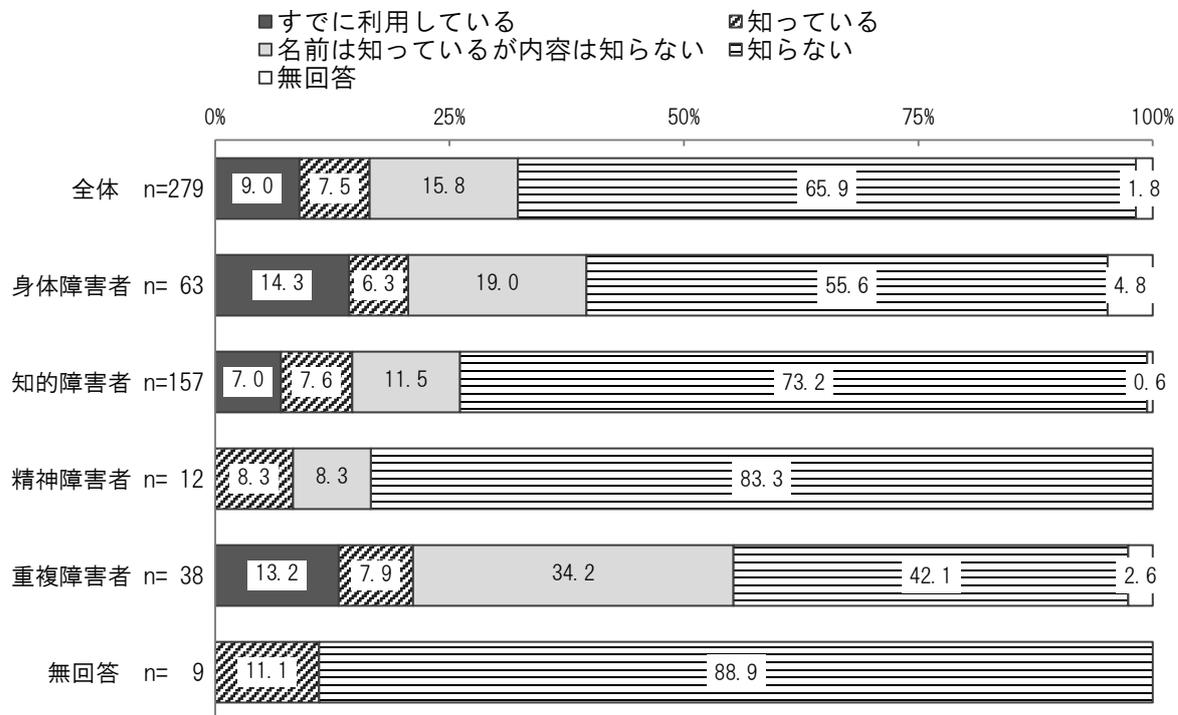


図表 29.2-1 避難行動要支援者避難支援制度の認知度（障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
すでに利用している	25 9.0	9 14.3	11 7.0	0 0.0	5 13.2	0 0.0
知っている	21 7.5	4 6.3	12 7.6	1 8.3	3 7.9	1 11.1
名前は知っているが内容は知らない	44 15.8	12 19.0	18 11.5	1 8.3	13 34.2	0 0.0
知らない	184 65.9	35 55.6	115 73.2	10 83.3	16 42.1	8 88.9
無回答	5 1.8	3 4.8	1 0.6	0 0.0	1 2.6	0 0.0

図表 29.2-2 避難行動要支援者避難支援制度の認知度（障害児）



10 相談、情報提供や今後望まれる施策などについて

【障害者調査】 【障害児調査】

問 これから特に力を入れてほしい（優先的に実施してほしい）障害者福祉施策はどのようなことですか。

障害者では、全体で「手当等の経済的支援の充実」が26.1%で最も高く、次いで「保護者等がいなくなった後の生活の保障」が23.1%となっています。また、身体障害者では、「手当等の経済的支援の充実」が24.6%、知的障害者では、「保護者等がいなくなった後の生活の保障」が58.0%、「グループホーム等の整備」が36.4%、精神障害者では、「精神障害者施策の重点的推進」が44.0%、「手当等の経済的支援の充実」が39.7%となっています。

障害児では、全体で「保護者等がいなくなった後の生活の保障」が57.7%で最も高く、次いで「手当等の経済的支援の充実」が36.9%、「就労の援助や雇用の促進」が33.7%、「障害児保育・障害児教育の充実」が33.0%となっています。

図表 30.1 障害者福祉施策で特に力を入れてほしいこと（障害者）（複数回答） 上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
障害の予防・早期発見・保健指導体制の充実	98 10.7	66 11.7	3 3.4	12 10.3	16 13.2	1 3.8
早期療育体制の充実	24 2.6	18 3.2	3 3.4	1 0.9	2 1.7	0 0.0
障害児保育・障害児教育の充実	34 3.7	24 4.3	6 6.8	2 1.7	1 0.8	1 3.8
放課後児童クラブの障害児受入の推進	16 1.7	11 2.0	2 2.3	0 0.0	1 0.8	2 7.7
ホームヘルプ・ショートステイ等在宅福祉サービス	126 13.8	86 15.2	20 22.7	8 6.9	10 8.3	2 7.7
通所施設の整備や施設運営の改善	69 7.5	38 6.7	9 10.2	12 10.3	8 6.6	2 7.7
地域活動支援センターへの送迎	33 3.6	23 4.1	2 2.3	4 3.4	3 2.5	1 3.8
入所施設の整備や施設運営の改善	66 7.2	42 7.4	11 12.5	3 2.6	8 6.6	2 7.7
福祉用具の利用のための助成	82 9.0	75 13.3	3 3.4	2 1.7	2 1.7	0 0.0
地域リハビリテーション体制の充実	67 7.3	56 9.9	0 0.0	5 4.3	6 5.0	0 0.0
福祉に関する情報提供や相談の充実	87 9.5	47 8.3	12 13.6	18 15.5	9 7.4	1 3.8
手当等の経済的支援の充実	239 26.1	139 24.6	21 23.9	46 39.7	27 22.3	6 23.1
就労の援助や雇用の促進	123 13.4	53 9.4	19 21.6	36 31.0	14 11.6	1 3.8
生涯学習や文化活動の充実	41 4.5	33 5.9	1 1.1	4 3.4	2 1.7	1 3.8
スポーツ・レクリエーション活動の充実	38 4.2	25 4.4	6 6.8	1 0.9	5 4.1	1 3.8
グループホーム等の整備	79 8.6	27 4.8	32 36.4	15 12.9	5 4.1	0 0.0
中核地域生活支援センターの充実	9 1.0	3 0.5	3 3.4	3 2.6	0 0.0	0 0.0
指定特定相談支援事業所の整備	9 1.0	3 0.5	3 3.4	3 2.6	0 0.0	0 0.0

第2章 障害者調査及び障害児調査結果の概要

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
障害者の権利を擁護するための施策の推進	68 7.4	28 5.0	9 10.2	16 13.8	11 9.1	4 15.4
障害者が住みやすい住宅の確保や居住環境の改善・整備	164 17.9	101 17.9	16 18.2	19 16.4	25 20.7	3 11.5
賃貸物件に入居する際、保証人の役目を公的に行ってくれる制度	105 11.5	50 8.9	9 10.2	27 23.3	12 9.9	7 26.9
障害者の利用に配慮した公共施設の整備	128 14.0	93 16.5	4 4.5	12 10.3	19 15.7	0 0.0
障害者の利用に配慮した道路や交通機関の整備	169 18.5	136 24.1	7 8.0	10 8.6	14 11.6	2 7.7
障害者のコミュニケーション支援施策（手話通訳、要約筆記など）	24 2.6	18 3.2	2 2.3	0 0.0	4 3.3	0 0.0
障害者のための防災体制の確立	59 6.4	41 7.3	4 4.5	5 4.3	9 7.4	0 0.0
救急医療・小児医療体制の充実	38 4.2	26 4.6	2 2.3	5 4.3	1 0.8	4 15.4
成年後見制度の周知・促進	27 3.0	10 1.8	7 8.0	4 3.4	5 4.1	1 3.8
金銭管理の支援	42 4.6	15 2.7	9 10.2	8 6.9	8 6.6	2 7.7
保護者等がいなくなった後の生活の保障	211 23.1	90 16.0	51 58.0	34 29.3	30 24.8	6 23.1
ボランティア活動の推進	13 1.4	9 1.6	0 0.0	2 1.7	1 0.8	1 3.8
障害者理解への啓発や交流促進	50 5.5	22 3.9	4 4.5	17 14.7	6 5.0	1 3.8
市職員の障害への理解の促進	86 9.4	51 9.0	10 11.4	13 11.2	8 6.6	4 15.4
障害者団体等の育成支援の充実	13 1.4	8 1.4	0 0.0	3 2.6	1 0.8	1 3.8
訪問型相談・サービスの充実	37 4.0	22 3.9	4 4.5	5 4.3	5 4.1	1 3.8
精神障害者施策の重点的推進	73 8.0	6 1.1	3 3.4	51 44.0	12 9.9	1 3.8
総合的な相談体制の整備、充実	57 6.2	36 6.4	4 4.5	9 7.8	7 5.8	1 3.8
放課後等デイサービスの充実	7 0.8	5 0.9	1 1.1	0 0.0	1 0.8	0 0.0
その他	36 3.9	19 3.4	1 1.1	11 9.5	4 3.3	1 3.8
特にない	100 10.9	60 10.6	9 10.2	6 5.2	20 16.5	5 19.2
無回答	107 11.7	71 12.6	8 9.1	4 3.4	19 15.7	5 19.2

図表 30.2 障害者福祉施策で特に力を入れてほしいこと（障害児）（複数回答）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
障害の予防・早期発見・保健指導体制の充実	27 9.7	6 9.5	17 10.8	1 8.3	2 5.3	1 11.1
早期療育体制の充実	46 16.5	4 6.3	31 19.7	2 16.7	4 10.5	5 55.6
障害児保育・障害児教育の充実	92 33.0	21 33.3	57 36.3	4 33.3	7 18.4	3 33.3
放課後児童クラブの障害児受入の推進	37 13.3	10 15.9	21 13.4	1 8.3	3 7.9	2 22.2
ホームヘルプ・ショートステイ等在宅福祉サービス	39 14.0	8 12.7	17 10.8	1 8.3	13 34.2	0 0.0
通所施設の整備や施設運営の改善	38 13.6	6 9.5	22 14.0	1 8.3	8 21.1	1 11.1
地域活動支援センターへの送迎	9 3.2	1 1.6	7 4.5	0 0.0	1 2.6	0 0.0
入所施設の整備や施設運営の改善	36 12.9	6 9.5	23 14.6	0 0.0	7 18.4	0 0.0
福祉用具の利用のための助成	16 5.7	9 14.3	1 0.6	0 0.0	6 15.8	0 0.0
地域リハビリテーション体制の充実	13 4.7	8 12.7	2 1.3	0 0.0	3 7.9	0 0.0
福祉に関する情報提供や相談の充実	24 8.6	5 7.9	15 9.6	1 8.3	2 5.3	1 11.1
手当等の経済的支援の充実	103 36.9	20 31.7	59 37.6	5 41.7	17 44.7	2 22.2
就労の援助や雇用の促進	94 33.7	9 14.3	68 43.3	3 25.0	11 28.9	3 33.3
生涯学習や文化活動の充実	9 3.2	0 0.0	7 4.5	1 8.3	1 2.6	0 0.0
スポーツ・レクリエーション活動の充実	14 5.0	3 4.8	8 5.1	0 0.0	2 5.3	1 11.1
グループホーム等の整備	49 17.6	2 3.2	35 22.3	2 16.7	8 21.1	2 22.2
中核地域生活支援センターの充実	2 0.7	0 0.0	2 1.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
指定特定相談支援事業所の整備	4 1.4	1 1.6	3 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障害者の権利を擁護するための施策の推進	15 5.4	3 4.8	8 5.1	1 8.3	3 7.9	0 0.0

第2章 障害者調査及び障害児調査結果の概要

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	279	63	157	12	38	9
障害者が住みやすい住宅の確保や居住環境の改善・整備	44 15.8	12 19.0	30 19.1	0 0.0	1 2.6	1 11.1
賃貸物件に入居する際、保証人の役目を公的に行ってくれる制度	16 5.7	3 4.8	10 6.4	1 8.3	1 2.6	1 11.1
障害者の利用に配慮した公共施設の整備	35 12.5	13 20.6	17 10.8	2 16.7	3 7.9	0 0.0
障害者の利用に配慮した道路や交通機関の整備	28 10.0	9 14.3	11 7.0	0 0.0	7 18.4	1 11.1
障害者のコミュニケーション支援施策（手話通訳、要約筆記など）	9 3.2	5 7.9	3 1.9	1 8.3	0 0.0	0 0.0
障害者のための防災体制の確立	32 11.5	9 14.3	15 9.6	1 8.3	6 15.8	1 11.1
救急医療・小児医療体制の充実	38 13.6	18 28.6	15 9.6	1 8.3	4 10.5	0 0.0
成年後見制度の周知・促進	22 7.9	3 4.8	13 8.3	1 8.3	4 10.5	1 11.1
金銭管理の支援	24 8.6	2 3.2	16 10.2	2 16.7	4 10.5	0 0.0
保護者等がいなくなった後の生活の保障	161 57.7	25 39.7	102 65.0	3 25.0	27 71.1	4 44.4
ボランティア活動の推進	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
障害者理解への啓発や交流促進	27 9.7	9 14.3	9 5.7	3 25.0	4 10.5	2 22.2
市職員の障害への理解の促進	27 9.7	9 14.3	13 8.3	0 0.0	5 13.2	0 0.0
障害者団体等の育成支援の充実	4 1.4	1 1.6	3 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
訪問型相談・サービスの充実	3 1.1	0 0.0	2 1.3	0 0.0	1 2.6	0 0.0
精神障害者施策の重点的推進	4 1.4	0 0.0	2 1.3	1 8.3	1 2.6	0 0.0
総合的な相談体制の整備、充実	24 8.6	3 4.8	16 10.2	1 8.3	2 5.3	2 22.2
放課後等デイサービスの充実	54 19.4	7 11.1	32 20.4	3 25.0	8 21.1	4 44.4
その他	15 5.4	1 1.6	10 6.4	1 8.3	2 5.3	1 11.1
特にない	11 3.9	3 4.8	4 2.5	2 16.7	1 2.6	1 11.1
無回答	8 2.9	2 3.2	6 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0

【障害者調査】 【障害児調査】 【障害者手帳を所持していない方】

問 あなたは、「障害者」という表記についてどのように思いますか。

<説明>

障害の「害」の字体については様々な議論があり、現在統一された表記とはなっていません。

国の見解では、「様々な主体が、それぞれの考えに基づき、障害について様々な表記を用いており、新たに特定のものに決定することは困難である。」としており、国の法令においても「障害」というこれまでどおりの漢字表記となっています。

また、一方では、「害」という漢字がマイナスイメージであることから、「がい」というひらがな表記をしている自治体もあります。

本市の考え方では、仮に表記方法の見直しをしても、「障害者総合支援法」といった法律名や、「障害者手帳」など法定の用語・固有名詞とは別の表記をすることで誤解や混乱が生じるおそれがあり、当事者や関係者の中にはひらがな表記をすると余計に表記がきわだち、かえって差別を意識させるものであると否定的な見解をお持ちになる方もいらっしゃることから、「障害」という表記を用いているのが現状です。

障害者では、全体で「そのまま『障害者』でいいと思う」が51.3%で最も高く、次いで「わからない」が20.4%、「『障がい者』がいいと思う」が14.0%となっています。

障害児では、全体で「そのまま『障害者』でいいと思う」が34.1%で最も高く、次いで「『障がい者』がいいと思う」が28.0%となっています。

障害者手帳を所持していない方では、「そのまま『障害者』でいいと思う」が40.7%で最も高く、次いで「わからない」が25.8%となっています。

図表 31.1 障害の表記についての考え（障害者）

上段：人/下段：%

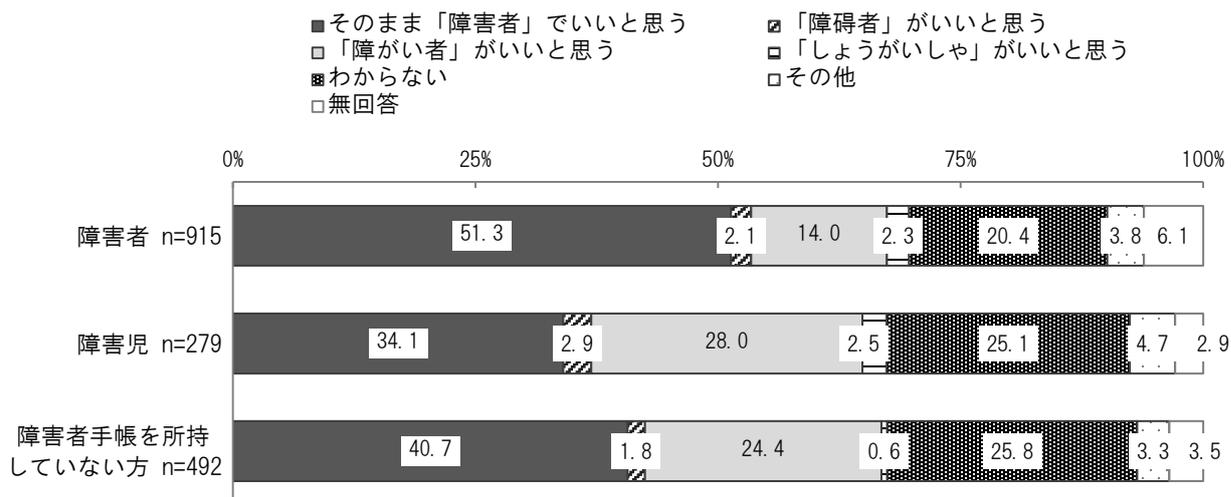
	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者（人）	915	564	88	116	121	26
そのまま「障害者」でいいと思う	469 51.3	325 57.6	28 31.8	48 41.4	57 47.1	11 42.3
「障害者」がいいと思う	19 2.1	10 1.8	1 1.1	4 3.4	3 2.5	1 3.8
「障がい者」がいいと思う	128 14.0	74 13.1	20 22.7	20 17.2	13 10.7	1 3.8
「しょうがいしゃ」がいいと思う	21 2.3	14 2.5	1 1.1	4 3.4	2 1.7	0 0.0
わからない	187 20.4	92 16.3	32 36.4	27 23.3	30 24.8	6 23.1
その他	35 3.8	14 2.5	3 3.4	10 8.6	6 5.0	2 7.7
無回答	56 6.1	35 6.2	3 3.4	3 2.6	10 8.3	5 19.2

図表 31.2 障害の表記についての考え（障害児）

上段：人/下段：%

	全体	身体障害者	知的障害者	精神障害者	重複障害者	無回答
対象者	279	63	157	12	38	9
そのまま「障害者」でいいと思う	95 34.1	24 38.1	44 28.0	5 41.7	18 47.4	4 44.4
「障害者」がいいと思う	8 2.9	0 0.0	6 3.8	0 0.0	1 2.6	1 11.1
「障がい者」がいいと思う	78 28.0	15 23.8	49 31.2	1 8.3	11 28.9	2 22.2
「しょうがいしゃ」がいいと思う	7 2.5	3 4.8	3 1.9	1 8.3	0 0.0	0 0.0
わからない	70 25.1	17 27.0	43 27.4	4 33.3	5 13.2	1 11.1
その他	13 4.7	4 6.3	6 3.8	1 8.3	2 5.3	0 0.0
無回答	8 2.9	0 0.0	6 3.8	0 0.0	1 2.6	1 11.1

図表 31.3 障害の表記についての考え（全体）



第3章 障害者手帳を所持していない方調査結果の概要

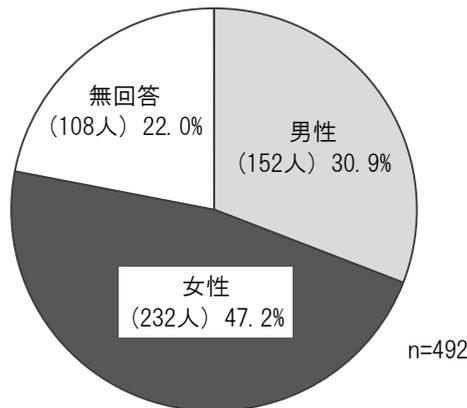
1 回答者の属性

問 あなたご自身のことについてお伺いします。

①性別

「男性」が30.9%、「女性」が47.2%となっています。

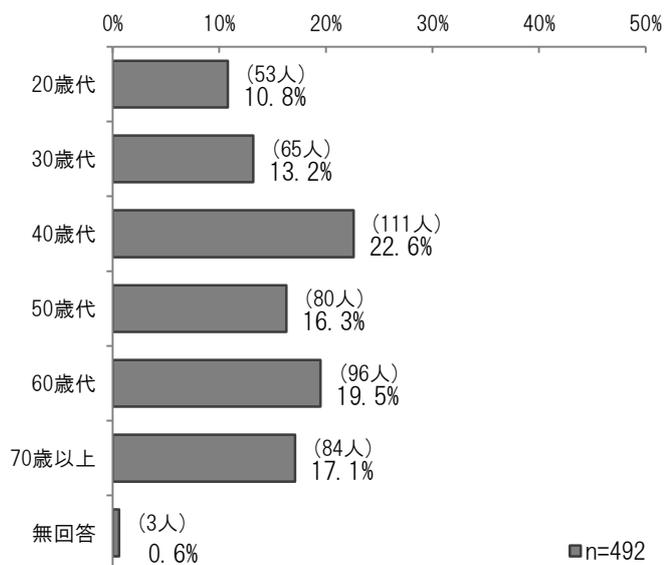
図表 3.1 性別



②年齢

「40歳代」が22.6%で最も高く、次いで「60歳代」が19.5%、「70歳以上」が17.1%となっています。

図表 3.2 年齢（平成28年10月17日現在）

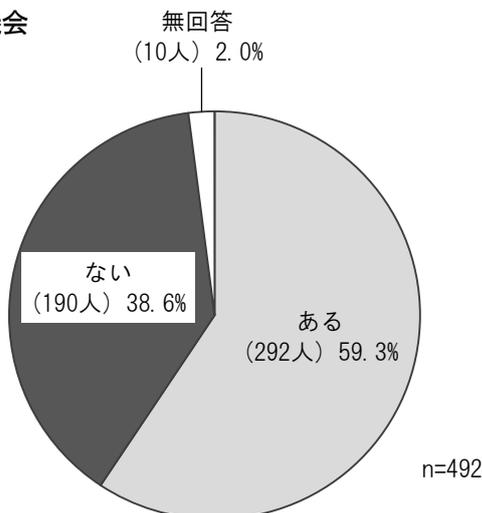


2 障害のある人との交流などについて

問 あなたは、今までに障害のある人と日常生活の中でふれあう機会がありましたか。
 ※ここで「障害のある人」とは、身体に障害のある身体障害者、知的発達に障害のある知的障害者、精神疾患のある精神障害者のことを言います。

障害のある人とふれあう機会について、「ある」が59.3%、「ない」が38.6%となっています。

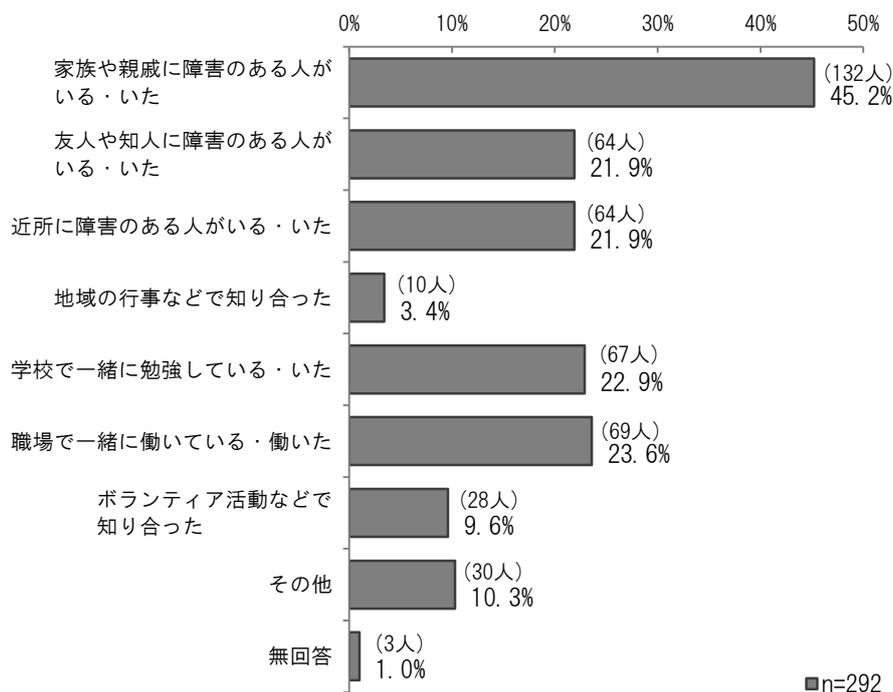
図表 3.3 障害のある人とふれあう機会



問 【今までに障害のある人と日常生活の中でふれあう機会が「ある」と回答した方】
 そのきっかけはどのようなことですか。

「家族や親戚に障害のある人がいる・いた」が45.2%、「職場で一緒に働いている・働いた」が23.6%、「学校で一緒に勉強している・いた」が22.9%、「友人や知人に障害のある人がいる・いた」及び「近所に障害のある人がいる・いた」がそれぞれ21.9%となっています。

図 3.3-1 障害のある人とふれあう機会のきっかけ（複数回答）



問 あなたは、地域社会の中に障害のある人への差別・偏見があると思いますか。

身体障害者に対する差別・偏見が「ある」は49.2%、知的障害者に対して「ある」は59.6%、精神障害者に対して「ある」は62.0%となっています。

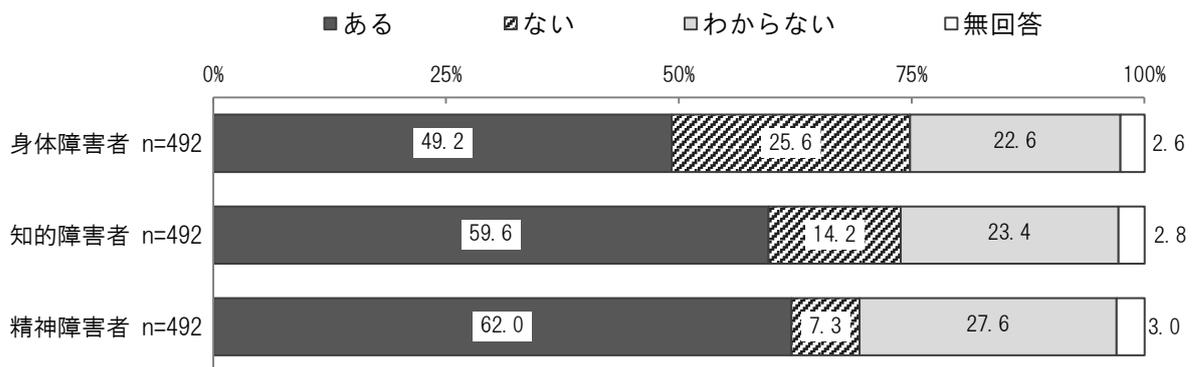
20歳代の回答をみると、身体障害者に対する差別・偏見が「ある」は52.8%、知的障害者に対して「ある」は64.2%、精神障害者に対して「ある」は69.8%となっています。

図表 3.4-1 障害のある人への差別・偏見（全体）

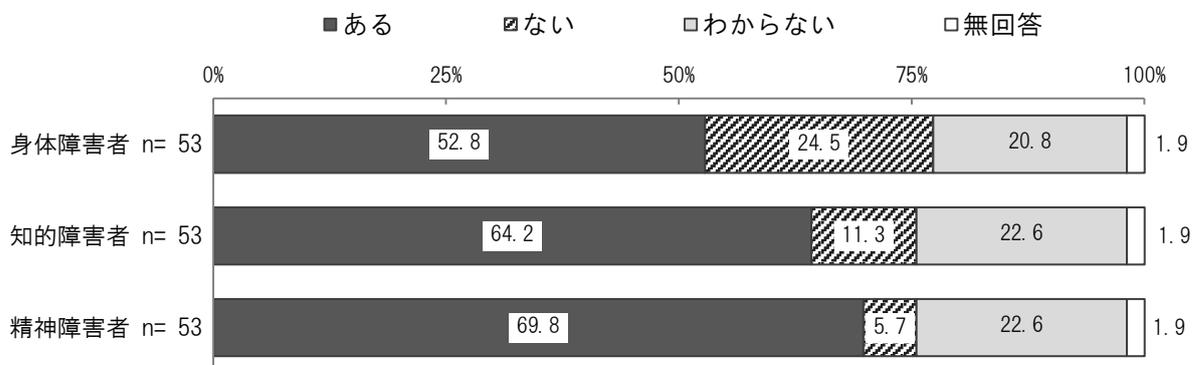
上段：人/下段：%

	身体障害者に対する差別・偏見	知的障害者に対する差別・偏見	精神障害者に対する差別・偏見
対象者	492	492	492
ある	242	293	305
	49.2	59.6	62.0
ない	126	70	36
	25.6	14.2	7.3
わからない	111	115	136
	22.6	23.4	27.6
無回答	13	14	15
	2.6	2.8	3.0

図表 3.4-2 障害のある人への差別・偏見（全体）



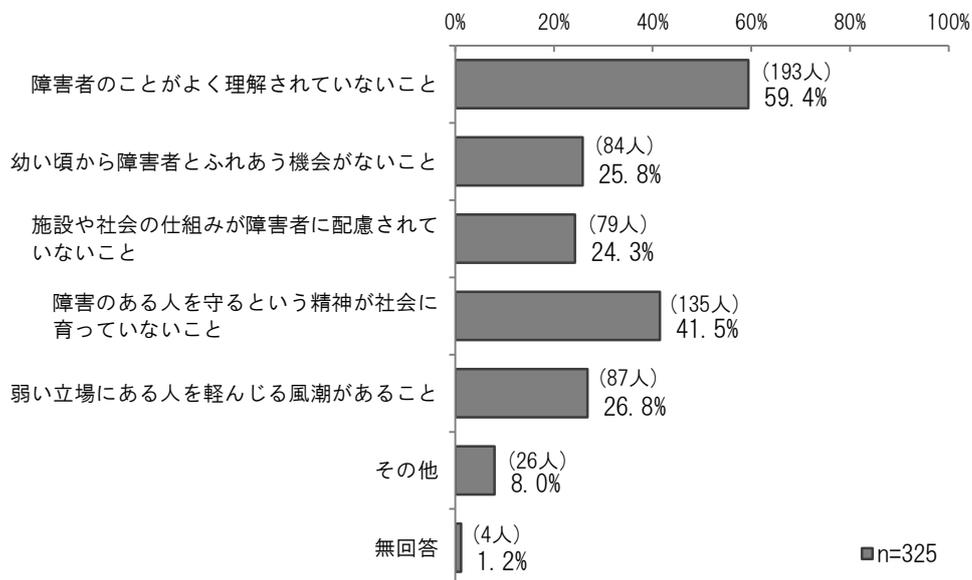
図表 3.4-3 障害のある人への差別・偏見（20歳代）



問 【障害のある人への差別・偏見が「ある」と回答した方】
差別・偏見の生まれる理由は何だと思いますか。

「障害者のことがよく理解されていないこと」が59.4%で最も高く、次いで「障害のある人を守るという精神が社会に育っていないこと」が41.5%となっています。

図表 3.5 差別・偏見の生まれる理由（複数回答）

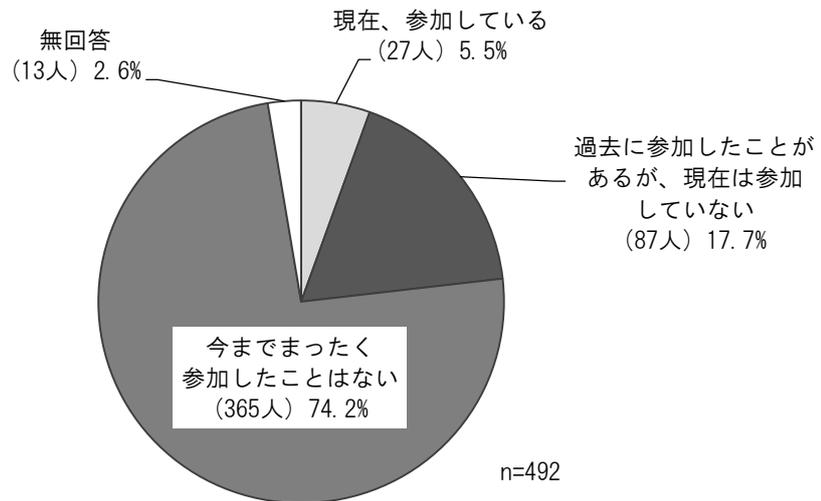


3 地域での福祉活動について

問 現在、あなたは障害のある人やお年寄りなどのためのボランティア活動に参加していますか、または、参加したことがありますか。

「今までまったく参加したことはない」が 74.2%、「過去に参加したことがあるが、現在は参加していない」が 17.7%、「現在参加している」が 5.5%となっています。

図表 3.6 ボランティア活動への参加経験



問 【障害のある人やお年寄りなどのためのボランティア活動について、「過去に参加したことがあるが、現在は参加していない」または「今までまったく参加したことはない」と回答した方】
 あなたが参加していない主な理由は何ですか。

「仕事や家事などが忙しく、時間がないから」が51.5%で最も高く、次いで「参加するきっかけがないから」が40.7%となっています。

図表 3.7 ボランティア活動に参加しない理由（複数回答）

